Panasonic



取扱説明書

SD ステレオシステム

品番 SC-SX950

ここを見れば使えます

さらにこんな楽しみかたもできます

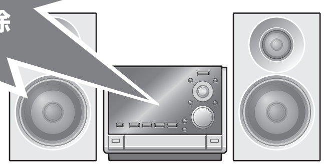
保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（84 ～ 85 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

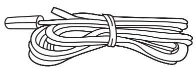
4 ページ

電源を切っても表示部が光る !?
「デモ機能」を解除してください。

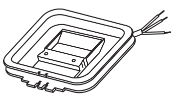


付属品

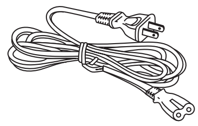
付属品を確認してください



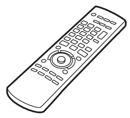
□ FM 簡易型アンテナ（1 本）
【RSA0039】



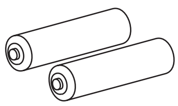
□ AM ループアンテナ（1 本）
【N1DAAAA00002】



□ 電源コード（1 本）
【K2CA2CA00019】



□ リモコン（1 コ）
【N2QAYB000180】



□ リモコン用乾電池
（単 3 形：2 本）

お知らせ

- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 電源コードキャップ及び包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- カッコ【　　】内は、買い替え時の品番です。
  (2007 年 7 月現在のものです)

本機以外に当社製のハードディスク内蔵 SD ステレオシステム※をお持ちのお客様へ

録音データを本機に移動させることができます。

- 録音データの移動は、本機購入後すぐに行ってください。本機の HDD に登録データがあると、録音データの移動ができません。
- くわしくは 58 ページをご覧ください。

※ SC-SX800/SC-SX400
SC-SX850/SC-SX450
SC-SX950

もくじ

準備

基本操作

再生

HDD 録音

HDD 再生

SD 転送

SD 再生

編集

Bluetooth®/D-snap/iPod

時計 / タイマー

取り込み / バックアップなど

便利機能など

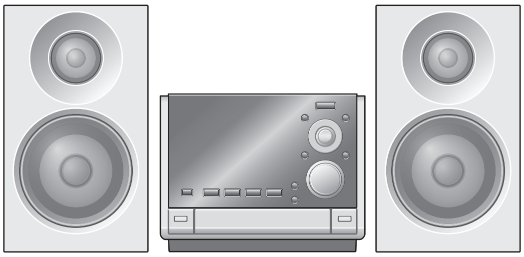
本書の説明について

- 14 ページ以降では､リモコンでの操作を中心に説明します。
- 表示部の画面は説明のための例です。また、画面の一部を省略している場合があります。

設置とリモコンの準備

本機の設置

■ 置きかた



スピーカーは左右とも同じ形です。どちら側にも設置できます。

- **SD ステレオシステム**： SC-SX950
  センターユニット： SA-SX950
  スピーカー： SB-SX950
- センターユニットとスピーカーは、1 cm 以上離す。

■ スピーカーについて

- **本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。**
- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**

お願い

- 大きな音量で連続使用しないでください。
  スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも、以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります）
  ・音がひずんだとき
  ・音質を調整するとき

よりよい音響効果を得るために

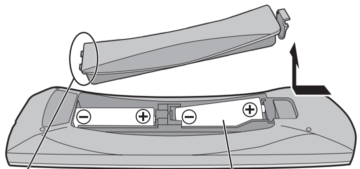
音はスピーカーの置く場所によって変化します。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また、周りの反射をできるだけ少なくする。
  例）左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する。

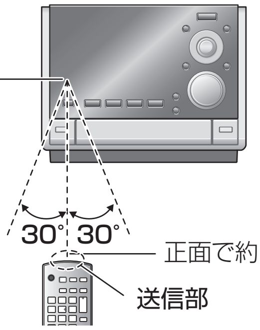
リモコンの準備

■ 乾電池（付属）の入れかた

リモコンの裏面



■ リモコンの使いかた



■ 使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

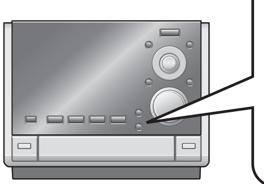
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■ 他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき

リモコンモードを変更してください。（☞ 61 ページ）

デモ機能（デモンストレーション機能）

本機と電源コンセントを電源コードで接続し、しばらくすると画面にアニメーションが流れ、表示部が点灯します。
電源を切った状態でも働きますので、デモ機能を解除する場合は下記の操作を行ってください。



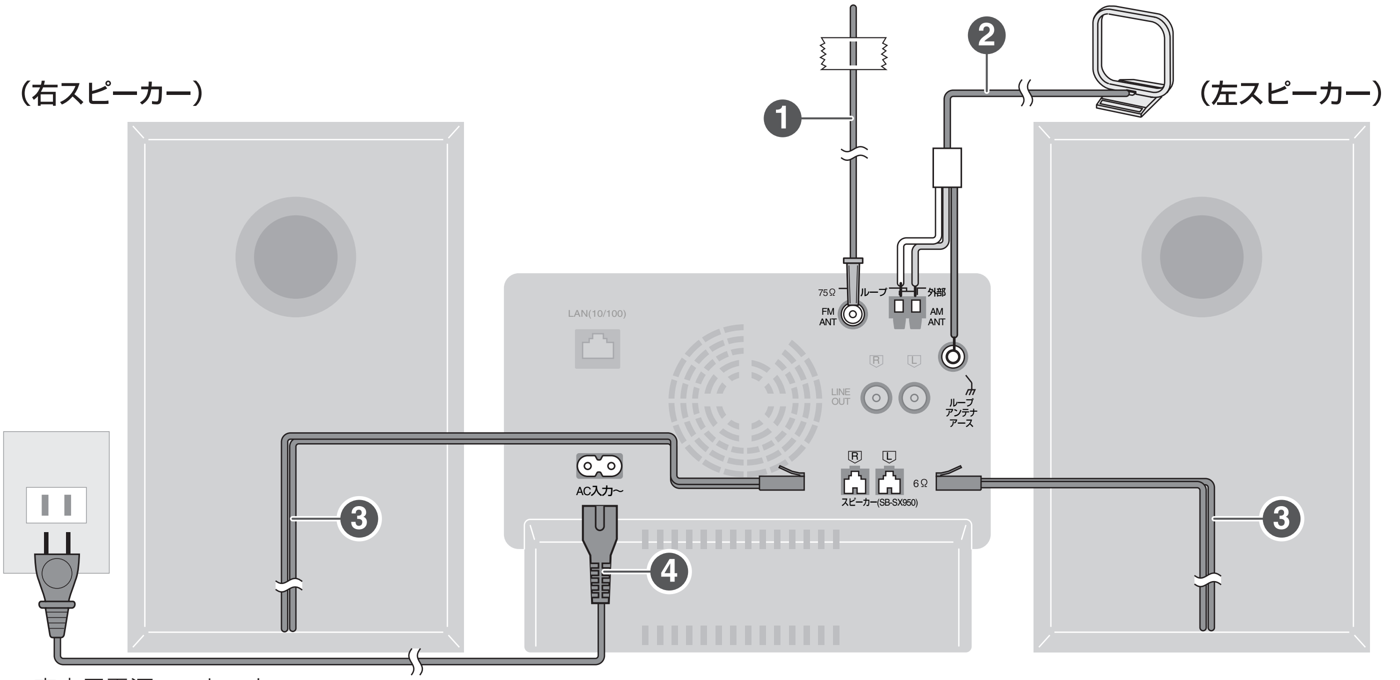
デモ機能動作中に
“デモ解除”と表示するまで押したままにする

上記操作をするたびに
デモ解除 ⇄ デモ開始

お知らせ

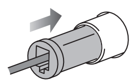
- 本機の時計を合わせる（☞ 49 ページ）とデモ機能は自動では働かなくなります。
- 設定メニュー（☞ 63 ページ）でもデモ機能の設定ができます。

スピーカーやアンテナを接続する



1 FM 簡易型アンテナを接続する

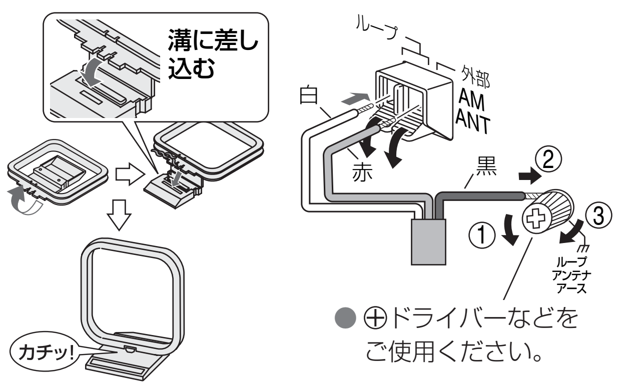
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 15 ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。



● 電源コードおよびスピーカーコードからできるだけ遠ざけてください。

2 AM ループアンテナを接続する

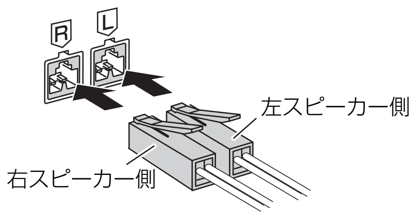
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 15 ページ）、雑音の少ない位置に置きます。



● ⊕ドライバーなどをご使用ください。

3 スピーカーコードを接続する

● カチッと音がするまで差し込んでください。



4 電源コードを接続する

● 電源コードは最後に接続します。

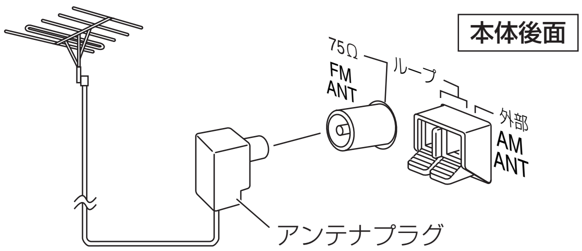
■ 屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

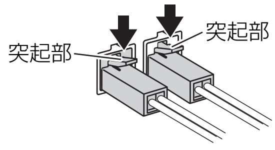
アンテナ線（同軸ケーブル）をアンテナプラグ（市販）に取り付けて、本機に接続します。

● FM 簡易型アンテナ（付属）は取り外します。



■ スピーカーコードを外すとき

突起部を押しながら引き抜く。



■ 電源コードを抜くとき

① [⏻/I **電源**] を押す。
② "Goodbye!" 表示が消えたあと、2 分以内、または変換・解析処理（☞ 8 ページ）が終わってから抜く。



■ 長期間使用しないとき

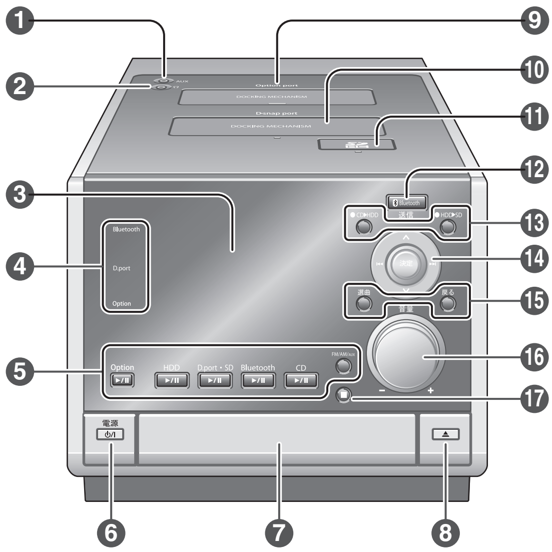
節電のため、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

電源「切」（スタンバイ）時の消費電力

省電力モード時（☞ 63 ページ）	**：約 0.1 W**
通常モード時	**：約 7 W**
変換・解析処理時（☞ 8 ページ）	**：約 14 W**

各部のはたらき

本体

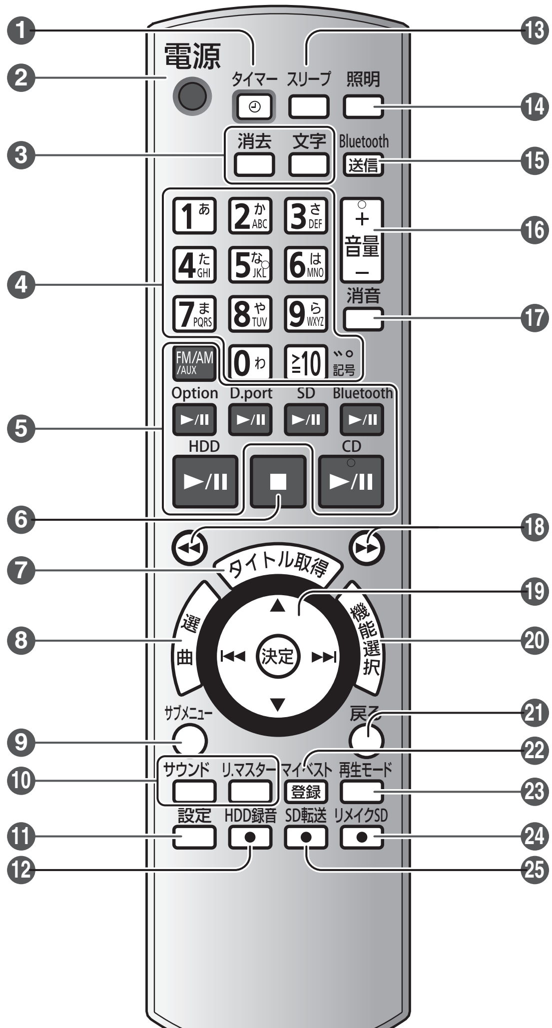


電源ランプの点灯について
電源「入」時：**緑**
電源「切」（スタンバイ）時
・省電力モード：　**消灯**※2
・通常モード：　**オレンジ**
・変換・解析処理中（☞ 8 ページ）：**オレンジ点滅**
※2　D-snap、iPod 充電中は赤色で点灯

	はたらき	参照ページ
①	AUX（外部入力）端子	16
②	ヘッドホン端子	61
③	表示部	7
④	Bluetooth ランプ	43
	D.port ランプ	45
	Option ランプ	46
⑤	iPod を再生/一時停止	47
	HDD を再生/一時停止	11、13
	D-snap※1 または 本機の SD を再生/一時停止	12 46
	Bluetooth® 接続機器からの音声を再生/一時停止	43
	CD を再生/一時停止	10、13
	ラジオ/外部機器を聴く	15、16
⑥	電源の入/切	9、10
	電源ランプ	左記
⑦	CD トレイ	9
⑧	CD トレイの開閉	9

	はたらき	参照ページ
⑨	Option port 差し込み部	46
⑩	D-snap port 差し込み部	45
	D-snap port ランプ	45
⑪	SD 挿入部	9
	SD ランプ	9
⑫	Bluetooth® 信号の送信	43
⑬	CD から HDD に録音	11
	HDD から SDに転送	12、45
⑭	項目を選び、決定	11
	曲を飛ばす	13
	放送局を切り換える	15
⑮	選曲メニューを表示	14、22 29、47
	前の画面に戻る	11
⑯	音量の調節	10
⑰	停止/デモ機能解除	4、10

リモコン



	はたらき	参照ページ
①	タイマーの設定	50
②	電源の入/切	51
③	文字を消去	37
	文字種の変更	36
④	数字、文字を入力	13、36
⑤	ラジオ/外部機器を聴く	15、16
	iPod を再生/一時停止	47
	D-snap の再生/一時停止※1	46
	本機 の SD を再生/一時停止	12、13
	Bluetooth® 接続機器からの音声を再生/一時停止	43
	HDD を再生/一時停止	11、13
	CD を再生/一時停止	10、13
⑥	停止	10
⑦	曲タイトルの取得	35、61
⑧	選曲メニューを表示	14、22 29、47
⑨	サブメニューを表示	20、26
⑩	音質/音場効果の設定	60
	リ. マスターの設定	60
⑪	設定の変更	42、49 62
⑫	HDD に録音	18

	はたらき	参照ページ
⑬	おやすみタイマーの設定	52
⑭	表示部の明るさを設定	61
⑮	Bluetooth® 信号の送信	43
⑯	音量の調節	10
⑰	音を消す	61
⑱	早送り、早戻し	13
⑲	項目を選び、決定	11
	曲を飛ばす	13
	放送局を切り換える	15
⑳	機能選択メニューを表示	15、17 26、32
㉑	前の画面に戻る	11
㉒	マイベストに登録	34
㉓	再生モードの設定	14、25 30、48
㉔	設定した内容を SD に転送	28
㉕	SD に転送	12、45

※1　D-snap の機種や設定モードなどによっては一時停止できない場合があります。（☞ 46 ページ）

お願い

SD 挿入部、D-snap port 差し込み部や Option port 差し込み部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしないようご注意ください。故障の原因になります。

表示部

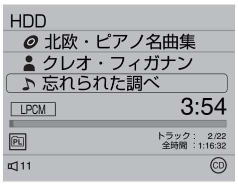
例）HDD の再生中（1 曲表示画面※）



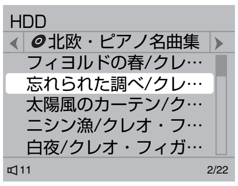
※ 画面表示について

本機では操作や再生・録音などの状態によりさまざまな画面が表示されます。
本書では下記のように表記しています。

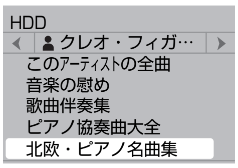
● **1曲表示画面：** 再生や停止中の標準画面
アルバム名、アーティスト名や再生経過時間などの情報を表示。



● **曲リスト画面：** ディスクやプレイリスト内の曲名を一覧で表示。



● **～選択画面：** アルバムやプレイリストなどの選択画面。



他にもいろいろな画面が表示されます。
くわしくは本書内の各ページをご覧ください。

① セレクター表示
・CD ・HDD ・SD ・FM
・AM ・AUX ・D.port
・Option ・Bluetooth

② タイトル表示など
再生しているアルバム、プレイリストやフォルダの名前を表示

③ 曲の情報表示
アーティスト名や曲名を表示

④ 記録データの形式表示
・LPCM ・AAC(XP)
・AAC(SP) ・AAC(LP)
・AAC ・WMA ・MP3

⑤ 再生状況表示
再生の経過度合いをバーで表示

⑥ 再生エリア表示
1♪ ：1曲だけを再生
HDD/SDの場合：
PL ：プレイリストを再生
PL ：プレイリストを連続で再生
CDの場合：
□ ：フォルダを再生
（WMA/MP3のみ）
◎ ：ディスクを再生

⑦ 音量表示
・Bluetooth® 送信時は " ✱ " が表示されます。

⑧ 再生モード表示
↻ ：くり返し再生
⤨ ：順不同に再生
⩘ ：サビだけを少しずつ連続で再生
iPod のみ
↻1 ：1曲だけくり返し再生
⤨ ：全曲を順不同に再生
⤨ ：アルバム単位で順不同に再生

⑨ 動作状態表示
▶： 再生中
❚❚： 一時停止中
◀◀/▶▶： サーチ中
表示なし： 停止中

⑩ 再生経過時間表示

⑪ 曲番/曲数、全時間表示

⑫ CD 表示
ディスクが入っていると表示

⑬ タイマー 表示
SLEEP：おやすみタイマー設定
◴PLAY：おめざめタイマー設定
◴REC：留守録タイマー設定

■ スクリーンセーバー（焼き付け防止用の表示）について

自動電源オフ機能（☞ 49 ページ）を設定していないとき、操作のない状態が約 10 分以上続くと、表示がスクリーンセーバーに切り換わります。この状態で何かボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。（HDD の録音データ移動時（☞ 58 ページ）は、スクリーンセーバーは働きません。）

■ 表示部について

液晶画面は、精密度の高い技術で作られていますが、液晶画面の画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。

はじめて電源を入れると表示部に ...

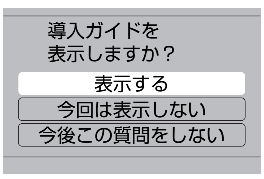
■「ご使用の前に」文が表示されます。

本機のお取り扱いに関する重要な情報をお知らせしています。
よくお読みいただいた上で、本機をご使用ください。

● **表示を次へ進めるには：** [▶▶❘] を押す

■「導入ガイド」が表示されます。

本機の基本的な使いかた（HDD への録音方法や選曲メニューの利用方法など）を説明します。（約 5 分半）
導入ガイドのご利用についてのメッセージが表示されますので、[▲、▼] で項目を選び、[**決定**] を押してください。



表示する： 導入ガイドを表示する。
今回は表示しない： 今回は表示させず、通常の操作画面にする。
● 次回電源「入」時に同じメッセージを表示します。
今後この質問をしない： 次回電源「入」時から、このメッセージを表示しない。

■ **表示中の導入ガイドを止める：**[■（停止）] を押す
● "Hello!" 表示後、通常の操作画面になります。

● **導入ガイドは「設定メニュー」からも起動できます**
63 ページ「導入ガイドを起動する」をご覧ください。

まずはここをご覧ください

本機でできる再生・録音・転送

再生できる音源	HDD への録音	HDD から SD へ転送
音楽 CD	◎※1	●HDD に録音した曲を、本機に挿入した SD カードや D-snap port 差し込み部に接続した D-snap※2 に高速転送※3
WMA/MP3 ディスク	○	
SD メモリーカード	×	
ラジオ放送	○	
MD やテープ（外部接続）	○	
携帯電話（Bluetooth®）※4	○	
D-snap（Bluetooth®）※4	○	
D-snap（本機に接続）	×	
iPod（本機に接続）※5	○	

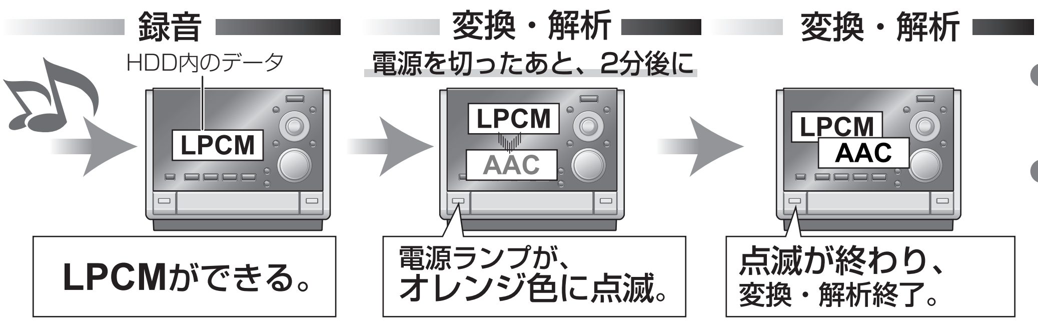
◎：録音可
（高速録音可 / デジタル録音）
○：録音可
（通常速度で録音 / アナログ録音）
×：録音不可
※1 **HDD に高速（最大 12 倍速）で録音します。**
※2 機種や設定モードなどによってはできないものもあります。（☞ 45 ページ）
※3 **HDD から SD に、最大 16 倍速で高速転送します。**
変換・解析が終了している場合の速度です。（変換・解析については ☞ 下記、40 ページ）
※4 Bluetooth® 機能搭載機のみ
※5 別売の iPod 用ユニバーサルドック「SH-PD9」を使用した場合のみ

ネットワークにつなげば ...

- Gracenote® データベースにアクセス。最新タイトルを取得。
- パソコンに録音した、WMA/MP3/AAC(MPEG4) を HDD に取り込める。
- HDD に録音した音楽データをパソコンにバックアップ。
- すでにお持ちの当社製HDD内蔵SDステレオシステムに録音した音楽データを、本機に移動。

録音のしくみ / 印象選曲登録のしくみ

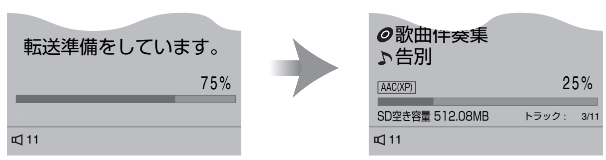
本機では、下図のとおり録音モード（☞ 17 ページ）にかかわらず **LPCM で録音**してから **AAC に変換**します。
LPCM で録音： 音声信号を圧縮せずにそのまま録音
AAC に変換： 音声信号を圧縮する
また、印象選曲（☞ 24 ページ）への登録は、AAC 変換と同時に行われます。
本機では、この一連の作業を「変換・解析」と称しています。



- **録音モードが LPCM の場合**
SD 転送用のデータとして AAC を保有します。
- **録音モードが AAC の場合**
変換の終了後、LPCM は削除され、HDD の空き容量が増えます。

- **SD 転送時の変換作業**
AAC への変換が終了していない曲は、変換後 SD へ転送します。

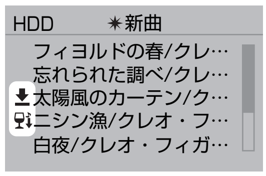
AAC 変換を行ってから **転送開始。**



変換・解析が終了していない曲は

- 曲リスト画面に下記のマークが付きます。

⬇：AAC 変換および印象選曲の曲解析がまだ終わっていません。
🍷：印象選曲の曲解析がまだ終わっていません。



■ 変換・解析についてのお知らせ

- **変換･解析は､電源｢切｣(スタンバイ)時に行われます。**
電源を切ったあと、約 2 分経過すると変換・解析が始まり、電源ランプが点滅します。
通常は、電源コードを接続しておいてください。
- **本体の電源ランプがオレンジ色で点滅しているときは、変換・解析中です。**
変換・解析中は、電源コードを抜かないでください。
- **変換・解析が終了していなくても再生できます。**
ただしAACで録音した場合、録音直後と変換・解析後では再生音質が異なって聴こえることがあります。
- **変換・解析には、録音元の約 3 分の 1 の時間がかかります。**
例えば 60 分の音楽 CD を録音した場合、変換・解析には約 20 分かかります。
※パソコンから取り込んだ WMA/MP3/AAC（MPEG4）の場合は、解析のみのため、処理時間は短くなります。

本機で使えるディスクと SD カード

名　称	本書でのマーク※1	できること	説　明
CD ● 市販の音楽 CD	CD-DA	**再生** HDD ※2 **に録音**	● 音楽 CD が再生できます。 ● コピーコントロール付き CD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。 ● DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。
CD-R/CD-RW ● パソコンなどで作ったディスク	CD-DA WMA/MP3	**再生** HDD ※2 **に録音**	● CD-DA、WMA、MP3 のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ※したCD-R と CD-RW が再生できます。 ※ 再生対応機器で再生できるように処理すること
SD/ SDHC/ miniSD/ microSD	SD	**再生** HDD ※2 **から転送**	● SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、miniSD/microSD カード（専用アダプターが必要です）が使えます。 ● SD-Audio（SD オーディオフォーマット ☞ 68 ページ）に対応した音楽データ（AAC/MP3/WMA）の再生ができます。 ● 本機の HDD に録音された音楽を、「SD オーディオフォーマット」対応のデータとして、SD に転送（記録）できます。

※ 1 使える機能の説明箇所に、各マークを表示しています。
※ 2 ハードディスクを表しています。使える機能の説明箇所に、このマークを表示しています。

● **本書では：**
- CD（音楽 CD）、CD-R、CD-RW を総称して **CD** または **ディスク** と表記しています。
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、miniSD カード、microSD カード を総称して **SD** または **SD カード** と表記しています。

● 音楽 CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。
● 「HDD（ハードディスク）の取り扱い」（☞ 66 ページ）、「CD について」（☞ 67 ページ）、「SD について」（☞ 68 ページ）もご覧ください。

■ 使用可能な SD カードの容量について

SD メモリーカード	8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
SDHC メモリーカード	4 GB まで

ディスクと SD カードの入れかた

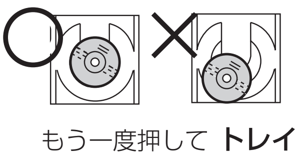
ディスクの入れかた CD-DA WMA/MP3



① 電源 [⏻/I] 押して **電源を入れる**

② [▲] 押して **トレイを開き、ディスクを入れる**

● **ディスクの置きかた**
- ラベル面を上にして置く。
- 8 cm CD は図のように正しく置く。



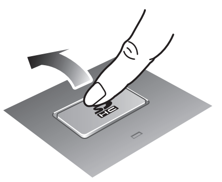
もう一度押して **トレイを閉じる**

● **トレイを手で押して閉めない**

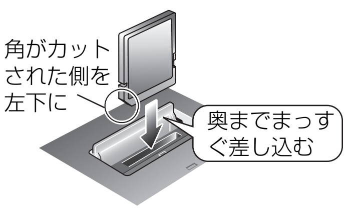
■ **CD を取り出す：** [▲] を押す

SD カードの入れかた SD

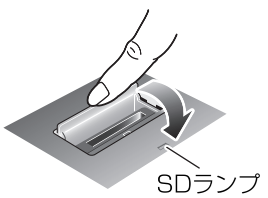
① ○ 部を押して **ふたを開ける**



② **SD を入れる**

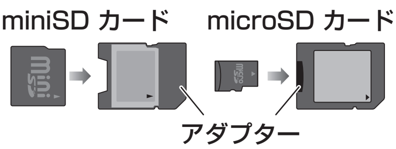


③ 上端を押して **ふたを閉じる**

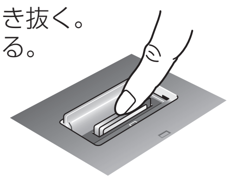


● SD ランプが点灯。

● miniSD カード /microSD カードの場合、専用のアダプターが必要です。



■ SD を取り出す
① 停止中にふたを開ける。
② SD の中央部を指で押す。（指でつまめるくらい SD が出る）
③ まっすぐ引き抜く。
④ ふたを閉める。



絶対にしないでください

● SD ランプの点滅中（転送、記録中）は、絶対に **SD 挿入部のふたを開けたり、SD を取り出さない** でください。SD が使えなくなることがあります。

CDの曲を聴く　CD-DA　WMA/MP3

1

電源 [⏻/I]

① 押して **電源を入れる**

CD [▶/II]

② 押して **セレクターを "CD" にする**

● すでに CD が入っている場合は、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
→ CD を入れ換える場合は、[■（停止）] を押す。

2 **CD を入れる**（☞ 9 ページ「ディスクの入れかた」）

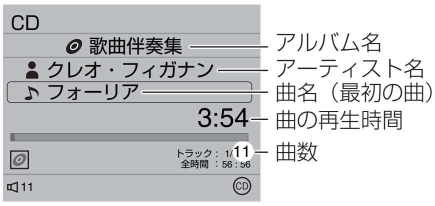
CD-DA

Gracenote® データベース（☞ 13 ページ）で、CD タイトルを自動検索します。（ヒント①）

タイトル検索中

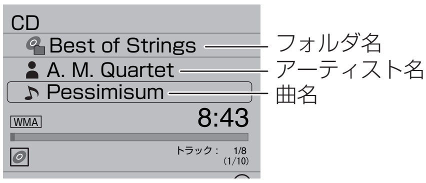


検索後



WMA/MP3

タグを使用している場合は、アーティスト名、曲名などが表示されます。（ヒント②）

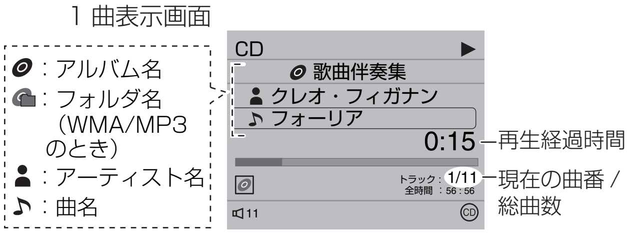


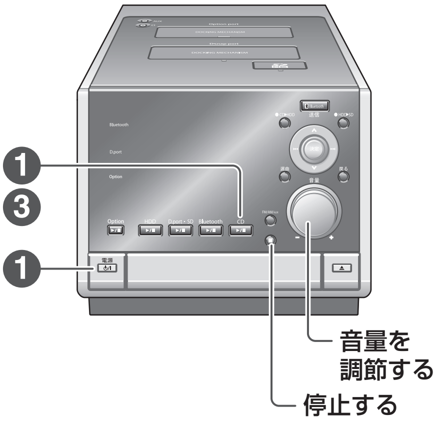
3

CD [▶/II]

押して **再生を始める**
再生が始まります。

1 曲表示画面







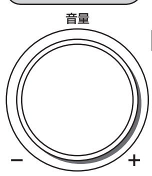
■ **停止する**

本体で：■ 押す

リモコンで：■ 押す

■ **音量を調節する**

本体で：



回す

リモコンで：[+ 音量 −] 押す

[+]：音を大きくする
[−]：音を小さくする



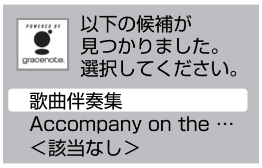
● 0（最小）～ 50（最大）

■ **CD を取り出す**

☞ 9 ページ「ディスクの入れかた」

ヒント① Gracenote® データベースの検索の結果、複数のタイトルが見つかったら

[▲、▼] でタイトルを選び、[**決定**] を押す。
● どの候補にも当てはまらないときは、" **該当なし** " を選んでください。



ヒント② WMA/MP3 ディスクでタグを使用していないとき

パソコンなどで付けたファイル名が、曲名として表示されます。

HDDに音楽CDを録音して、聴く

まず、音楽 CD を HDD に録音する CD-DA

1 セレクターを “CD” にして、音楽 CD を入れる

☞ 9 ページ「ディスクの入れかた」/ ☞ 10 ページ、手順❶、❷

2 本体のみ

●CD▶HDD

① 押す

② “ 高速録音 ” を選び、決定

選び
決定

CD 録音確認
⊘歌曲伴奏集
録音方法を
選択してください。
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

● 高速録音 +SD 転送 (☞ 18 ページ)
● 聴きながら録音（☞ 18 ページ）

録音が始まり、CD 内の全曲を高速録音します。

■ **録音前にキャンセルする：** 録音確認画面で [**戻る**] を押す

録音中の画面

CD ●高速録音
⊘歌曲伴奏集
クレオ・フィガナン
♪フォーリア
LPCM 10%
再生時間： 2:53 トラック： 1/11
11

録音状況表示

● “ **●高速録音** ” の表示が消えたら録音終了です。

HDD に録音した曲を聴く

3 押して **再生を始める**

HDD ►/II

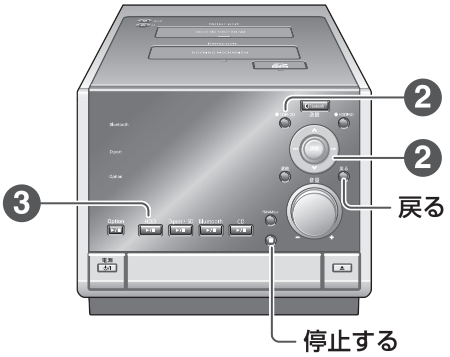
直前に録音した曲の再生が始まり、プレイリスト（☞ 22 ページ）の最終曲まで再生して、停止します。

1 曲表示画面

HDD ►
⊘ 歌曲伴奏集
クレオ・フィガナン
♪ フォーリア
LPCM 0:00
PL トラック 1/11 全時間 ：56 : 56
11

プレイリスト名
: アーティスト名
⊘: アルバム名
♪: 曲名
再生経過時間
現在の曲番 / 総曲数

■ **曲を探して聴くには:“HDD の曲を探して聴く ”**（☞ 22 ページ）





■ **停止する**

本体で：◉ 押す

リモコンで：■ 押す

● **録音を曲の途中で停止した場合：**
録音が完了していない曲は、HDD に保存されません。

(お知らせ)

● 高速録音中は、音が聴こえません。
● CD と同じタイトルが付きます。
● CD の再生エリア（☞ 14 ページ）を “**1 曲** ” に設定している場合、現在の 1 曲だけを録音します。全曲を録音するときは再生エリアを “ **ディスク** ” に設定してください。

SDに曲を転送して、聴く

まず、SD に HDD の曲を転送する

1 SD カードを入れる

☞ 9 ページ「SD カードの入れかた」

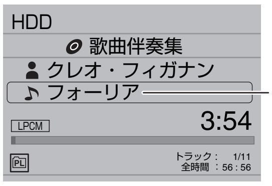
ここでは新品の SD カードを使用した場合を例に説明しています。

- SD ランプが点灯。
- ふたが開いていると転送できません。

2 HDD ▶/II ▼ ■

HDD の曲を再生したあと停止し、転送する曲を確認する

HDD の停止中の画面



■ **プレイリストや曲を指定して転送するには**

26 ページ「SD へのいろいろな転送」をご覧ください。

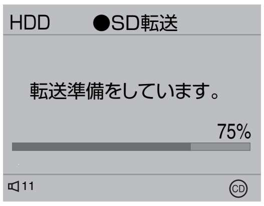
3 ●HDD▶SD

押して **転送を始める**

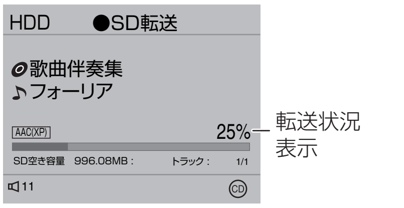
転送準備の終了後、転送が始まります。

- 転送中は SD ランプが点滅します。

転送準備の画面



転送中の画面



- “ ● SD 転送 ” の表示が消えたら転送終了です。

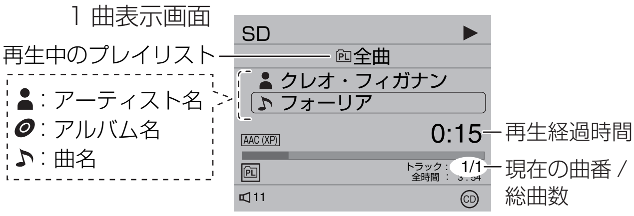
SD に転送した曲を聴く

4 D.port・SD ▶/II

押して **再生を始める**

再生が始まります。

1 曲表示画面



■ **すでに記録済の SD カードを使用した場合は**

最後に聴いていたプレイリスト（☞ 29 ページ）を再生します。

■ **曲を探して聴くには：“SD の曲を探して聴く ”**（☞ 29 ページ）

■ **停止する**

本体で ■ 押す　リモコンで ■ 押す

- **転送を曲の途中で停止した場合：**
  転送が完了していない曲は、SD に保存されません。

■ **SD を取り出す**

☞ 9 ページ「SD カードの入れかた」

さらに 転送した SD は、D-snap、SD オーディオプレーヤー、携帯電話などで再生できます。（くわしくは、☞ 31 ページ）





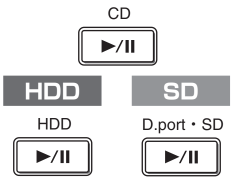
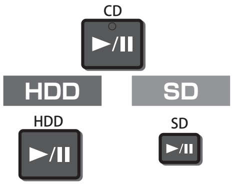
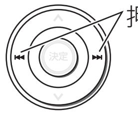
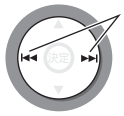
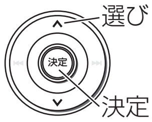
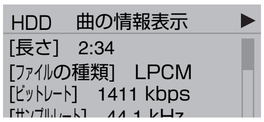
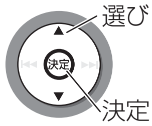
お願い

転送中はSD挿入部のふたを開けないでください。転送が停止します。

お知らせ

- SD への転送中は、音声は聴こえません。
- プレイリストを転送したときは、プレイリスト情報も SD に記録されます。SD内に同名のプレイリストがあれば、同名のプレイリストができます。
- SD1 枚への記録は、収録時間内で最大 999 曲までです。ただし、1 曲の最大管理時間が約 8 分 30 秒であるため、それを越えて記録された場合、表示は 1 曲でも複数の管理領域を使用することになり、最大曲数が 999 よりも少なくなります。（管理領域も最大 999 のため）また、実際に記録できる時間が少なくなる場合があります。
- SD についてくわしくは「SD について」（☞ 68 ページ）をご覧ください。

CD、HDD、SD の再生時の操作

	本体	リモコン
一時停止する	CD-DA　WMA/MP3　HDD　SD  ● 再開するには、もう一度押す。	CD-DA　WMA/MP3　HDD　SD 
曲を飛ばす（スキップ）	 ● **1 曲表示画面**で操作してください。	
曲の情報を見る（ヒント 1）	 停止 / 再生中に **3 行目の "♪" にカーソルを合わせ、決定** 曲の詳細情報が表示されます。 例）HDD  ● 元の画面に戻るには [**戻る**] を押す。	

	リモコンのみ
早送り / 早戻しする（サーチ）※	 **再生**または**一時停止中**に、聴きたい位置まで押したままにする。 ● **1 曲表示画面**で操作してください。
曲を番号で選ぶ（トラック番号）	CD-DA のみ  押す **2 ケタ以上を選ぶには** 例）25：[≧10] → [2] → [5]

※ ● サーチ中は音が聴こえません。
　● サーチ後、音が出るまでに時間がかかることがあります。

こんなときは

■ **長いタイトルを確認する**
[▲、▼] を押して、確認したいタイトルを選ぶと、タイトルがスクロールします。

■ **リモコンのボタンで録音するには**
18 ページ「音楽 CD の録音方法を変えて録音する」をご覧ください。

■ **録音・転送した曲を探して聴くには**
選曲メニューから、アーティスト名やアルバム名などで探すことができます。（☞ 22、29 ページ）

■ **録音・転送した曲を好きな曲順で再生するには**
ユーザープレイリストを作ってください。（☞ 32ページ）

■ **転送時に次の画面が表示されるとき**
● **" 転送準備をしています。" と表示されたら**
転送前に AAC 変換や印象選曲の曲解析（☞ 8 ページ）を行っています。変換･解析終了後に転送が始まります。
● **" プレイリストを作成しています。" と表示されたら**
同じ曲がすでに SD 内にあるため、プレイリスト情報のみを転送しています。

プレイリストとは ...
一定の条件にしたがって分類された曲の集まりです。
例えば音楽 CD から録音した曲は、アルバムごとにプレイリストになっています。
本機では、プレイリストを切り換えることで、そのプレイリスト内の曲を再生できます。（☞ 22、29 ページ）

SD 転送時のデータ形式について
録音モード（☞ 17 ページ）の設定によりデータ形式が決まります。
LPCM のとき： SD 転送用のデータとして AAC を作成し、転送します。
● AAC の圧縮方式については「LPCM 曲を SD に転送するときのデータ形式を変更する」（☞ 27 ページ）で設定します。
AAC のとき： 「録音モード（録音時の音質）を設定する」（☞ 17 ページ）で選んだ AAC と同じ形式で転送します。

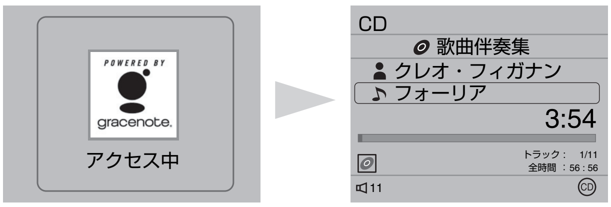
ヒント 1 [機能選択] を使って操作できます
機能選択から操作するときは、[**機能選択**] を押し、" **曲の情報表示** "（HDD の場合は " **曲管理** " → " **曲の情報表示** "）を選びます。

Gracenote® データベースについて

Gracenote® データベースとは CD のタイトル情報を検索するためのデータベースです。
本機には Gracenote® データベースの一部が内蔵※されています。
※ 本機には、Gracenote® データベースから抜粋した、約 35 万アルバムのタイトル情報が登録されています。（2007 年 5 月現在）ただし、新発売の CD などは内蔵の Gracenote® データベースにタイトルが登録されていないことがあります。

■ **Gracenote® データベースの使いかた**
CD を入れたときや、CD の録音を始めたときなどに、**自動的にタイトルを検索しますので、特別な操作は必要ありません。**

検索中　　検索後



■ **最新の CD タイトルを取得するには、ネットワークの接続（☞ 53 ページ）が必要です。**
インターネットを通じて最新の Gracenote® サーバーにアクセスし、CD のタイトルやアーティスト情報などを取得することができます。

■ **CD 以外の曲のタイトルを検索するには**
Gracenote® データベースを利用して、HDD に録音済みの曲のタイトルを取得することもできます。
（☞ 35 ページ「曲名、アルバム名、アーティスト名を自動入力する」）

● 本機の画面上では、Gracenote® データベースを "CD データベース" と省略表記しています。

CD のいろいろな再生 CD-DA WMA/MP3

14 ページ以降では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

準備 セレクターを CD に切り換える。
[▶/❚❚ CD] → [■（停止）]

曲を選んで聴く CD-DA

1 停止 / 再生中に

選曲

押す
曲リスト画面が表示されます。

2 選び 決定

曲を選び、決定

曲リスト画面

CD
フォーリア
白鳥の歌
告別
アヴェ・マリア
ヴェニスの舟歌
11 4/11

選んだ曲からディスクの最後までを再生します。

WMA/MP3 のフォルダや曲を探す WMA/MP3

1 停止 / 再生中に

選曲

押す
フォルダ選択画面が表示されます。

2 選び 決定

フォルダを選び、決定

フォルダ選択画面

CD
Instrumental 003
Best of Strings
Piano concerto
第七芸術の世界
Game music mix

3 選び 決定

曲を選び、決定

曲リスト画面

ヒント 1

CD
Piano concerto
1st. movement
2nd. movement
3rd. movement
Paganini Rhapsody
Fauvism in 1905

選んだ曲から順に再生対象曲を再生します。

- 再生エリア（☞ 右記）の設定により再生範囲が異なります。

  1 曲： 1 曲だけ再生
  フォルダ： フォルダの最後まで再生
  ディスク： ディスクの最後まで再生

ヒント 1 フォルダを切り換えることができます
選択タブ（“◀”、“▶”）が表示されている画面で、[|◀◀、▶▶|] を押すとフォルダを切り換えることができます。

くり返し聴く / 順不同に聴く / 再生範囲を変える

再生モードの種類	内容	画面表示
リピート再生	設定した再生エリアをくり返し再生します。	⟲
ランダム再生	設定した再生エリアを順不同に再生します。	⤨
再生エリア	再生する範囲を設定します。	
	1 曲： 1 曲だけ再生	1♪
	フォルダ： 現在のフォルダだけを再生（WMA/MP3）	📁
	ディスク： ディスク全体を再生（お買い上げ時の設定）	◎

1 停止 / 再生中に

再生モード

押す

選び 決定

項目を選び、決定

CD 再生モード設定
リピート再生 しない
ランダム再生 しない
再生エリア ディスク

2 選び 決定

設定を選び、決定

例）リピート再生

CD リピート再生
しない
する

リピート再生
- **しない：** 解除
- **する：** 再生エリア内をくり返し再生

ランダム再生
- **しない：** 解除
- **する：** ディスク、フォルダ内の曲を順不同に再生

再生エリア
- **1 曲：** 1 曲だけ再生
- **フォルダ：** 現在のフォルダだけを再生
- **ディスク：** ディスク全体を再生

■ **1 曲だけをくり返し聴くとき**
リピート再生を “**する**”、再生エリアを “**1 曲**” に設定します。

■ **停止時に設定した場合：** [▶/❚❚ CD] を押す

お知らせ
再生モードの設定は、CD を取り出すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

共通の操作
- ■ **元の画面に戻る：** [**戻る**] を数回押す
- ■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

ラジオを聴く

準備 FM 簡易型アンテナ、AM ループアンテナを接続する。
(☞ 5 ページ)
接続しないと、放送局を受信できません。

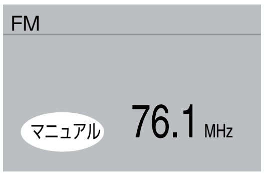
手動で放送局を選んで聴く マニュアルチューニング

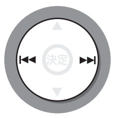
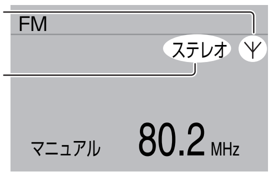
1 

押して **"FM"** または **"AM" を選ぶ**
押すたびに： **FM** → **AM** → AUX

例）FM の場合


2 

押して **" マニュアル "**（マニュアルチューニング）**を選ぶ**
押すたびに： **マニュアル** ⇄ プリセット


3 
押して **好みの放送局を受信する**
放送を受信すると点灯
FM ステレオ放送の受信時に点灯


自動選局する（オートチューニング）

① [|◀◀、▶▶|] を周波数が動き始めるまで押したままにする。
② 動き始めたら指を離す。
● 放送を受信すると、周波数が止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

雑音が気になるときは

■ **FM ステレオ放送で雑音が多いとき**
① [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] を押して " **音声モード** " を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲､▼] を押して " **モノラル** " を選び､[**決定**] を押す。
④ [**戻る**] を押す。
● " **モノラル** " が表示されます。
● 通常は " **オート（ステレオ）** " にしておきます。

■ **AM 放送受信中に雑音が多いとき（BP：ビートプルーフ）**
① [**サブメニュー**] を押す。
② [▲、▼] で "**BP1**" から "**BP4**" のうち、雑音の少ない設定を選び、[**決定**] を押す。

■ エリアバンクの「〜圏」について

東京圏： 東京、横浜、千葉、さいたま
名古屋圏：名古屋、岐阜
大阪圏： 大阪、神戸、京都
● エリアバンクは、2007 年 7 月現在のものです。

放送局を記憶させる

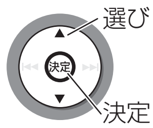
放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で選局できます。（FM/AM 各 15 局まで）

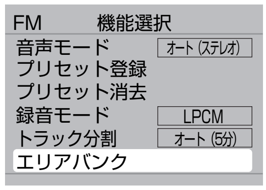
お住まいの地域の放送局を記憶させる エリアバンク

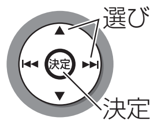
エリアを指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

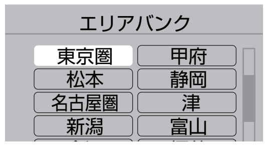
1 ラジオ受信中に


押す

2 

" エリアバンク " を選び、決定


3 

エリアを選び、決定


エリア内の最初のチャンネルを受信します。
● FM と AM の放送局が各チャンネルに記憶されます。
● 選局方法はプリセットになります。(☞ 16 ページ)

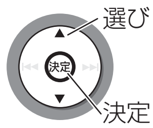
好みの放送局をチャンネルに登録する マニュアルメモリー

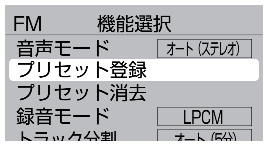
エリアバンクで記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。

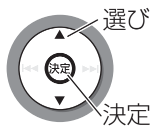
1 **放送局を選ぶ** (☞ 左記)

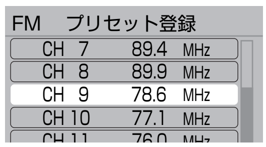
2 

押す

3 

" プリセット登録 " を選び、決定


4 

チャンネルを選び、決定


メッセージを表示して、元の画面に戻ります。
● 続けて登録するには：手順❶〜❹をくり返す。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：[戻る] を押す**

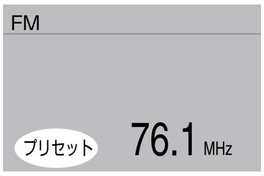
記憶させた放送局を聴く　プリセットチューニング

1 FM/AM /AUX　押して **“FM”** または **“AM” を選ぶ**

押すたびに：FM → AM → AUX

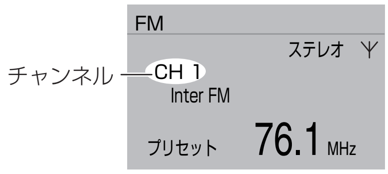
2 再生モード　押して **“ プリセット ”**（プリセットチューニング）**を選ぶ**

押すたびに： マニュアル ⇄ **プリセット**



3 押して **チャンネルを選ぶ**





■ **2 ケタ以上を選ぶには**

例）12：　[≧10] → [1] → [2]

お知らせ

- [|◀◀、▶▶|] でもチャンネルを選ぶことができます。
- エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと、放送局名が表示されます。

不要なプリセットチャンネルを消去する

① FM または AM 受信中に [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] で “ **プリセット消去** ” を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲、▼] で不要なチャンネルを選び、[**決定**] を押す。
（メッセージを表示して、元の画面に戻ります。）
消去しておくと、[|◀◀、▶▶|] で選局するときに表示されなくなります。

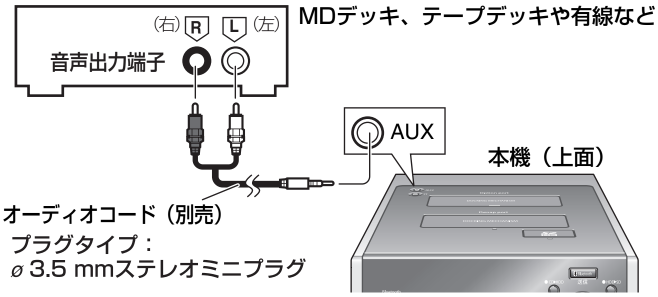
MD やテープなどを聴く

MD やテープなどの外部機器を接続する

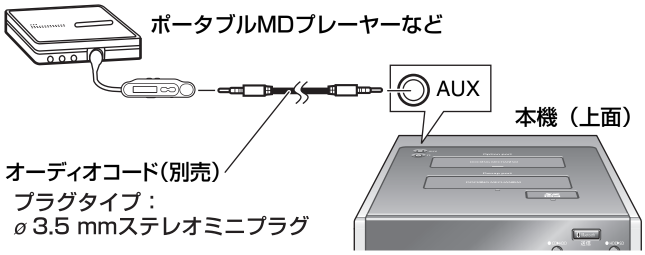
- 別売品については、86 ページをご覧ください。
- 電源を切った状態で接続してください。
- 接続した機器の説明書もご覧ください。

外部機器の音を本機で再生・録音するとき

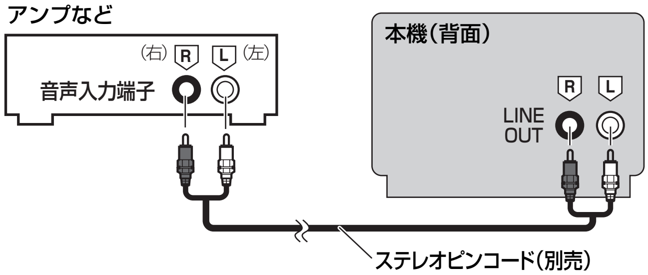
■ **音声出力端子のある機器につなぐ**



■ **ポータブル MD プレーヤーなどにつなぐ**



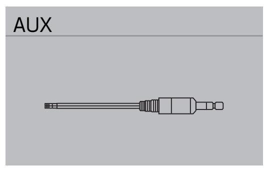
本機の音を外部機器で再生するとき



外部機器の音を本機のスピーカーで聴く

1 FM/AM /AUX　押して **“AUX” を選ぶ**

押すたびに：FM → AM → **AUX**



2 **外部機器で再生を始める**

- 接続した機器の入力レベルが低い場合は、調整してください。(☞ 52 ページ「入力レベルを調整する」)

外部機器で再生するには

① 外部機器側の入力切り換えを、接続した端子に合わせる。
② 本機で再生を始める。

HDD への録音方法を設定する

録音モード（録音時の音質）を設定する

HDD に録音するときの音質を設定します。

録音モード	録音可能時間	説明	重視
LPCM（お買い上げ時）	約 104 時間	音声信号を圧縮せずにそのままデジタル化して録音します。	音質
AAC(XP) 128 kbps	約 1,230 時間	AAC は、音楽データを小さくするための圧縮方式の一つです。ビットレートの違いにより、音質と録音できる曲数が変わります。	↕
AAC(SP) 96 kbps	約 1,640 時間		
AAC(LP) 64 kbps	約 2,460 時間		曲数

準備 **電源を入れる。**［**電源**］を押す

1 CD ▶/II / FM/AM AUX / Option ▶/II / Bluetooth ▶/II

押して **設定したい音源に切り換える**

2 音楽 CD、WMA/MP3 ディスクの場合は
ディスクを入れる（☞ 9 ページ）
● ディスクの種類別に録音モードを設定します。
iPod の場合は
iPod を接続する（☞ 46 ページ）

3 機能選択 **押す**

4 選び／決定 **“ 録音モード ” を選び、決定**

例）音楽 CD の録音モードを設定する場合

CD　機能選択
曲の情報表示
録音方法　高速録音
録音モード　LPCM
曲を録音
アルバムを録音

5 選び／決定 **録音モードを選び、決定**

CD　録音モード
LPCM
AAC（XP）
AAC（SP）
AAC（LP）

手順❹の画面に戻ります。

● 手順❶～❺をくり返して、各セレクター（CD の場合はディスクの種類）ごとに録音モードを設定してください。

■ SD 転送時のデータ形式について

LPCM で録音した音楽データは、AAC（XP）に変換して転送します。（この設定は変更可能です。☞ 27 ページ）
LPCM 以外で録音した音楽データは、HDD 録音時の録音モードと同じ形式で転送されます。

■ 録音モードを AAC(XP/SP/LP) に設定した場合

本機での録音は、録音モードにかかわらず、まず LPCM で録音してから AAC に変換するしくみになっています。そのため、AAC への変換を行わずに連続して多くの曲を録音した場合には、上表の LPCM の録音可能時間しか録音できません。その場合は、AAC に変換後、録音してください。
（8 ページ「録音のしくみ / 印象選曲登録のしくみ」を参照ください。）

新曲プレイリストへの登録設定

録音時に新曲プレイリストへ登録する音源を設定します。

新曲プレイリストとは ...
新しく録音した楽曲を集めたものです。
● 新しく録音した順に並んでいますので、簡単に探して再生することができます。（☞ 22、24 ページ）
● D-snap を本機に接続したとき、自動で新曲を転送できます。（☞ 45 ページ）

準備 **セレクターを HDD に切り換える。**
［▶/II HDD］→［■（停止）］

1 機能選択 **押す**

2 選び／決定
① **“ プレイリスト編集 ” を選び、決定**
② **“ 新曲への登録設定 ” を選び、決定**

HDD　プレイリスト編集
プレイリストの名前変更
プレイリストの解除
マイベストから曲を除外
よく聴く履歴クリア
新曲履歴クリア
新曲への登録設定

3 **新曲に登録しておきたい音源を指定する**
［▲、▼］で音源を選び、［⏮、⏭］でチェックを付ける

HDD　新曲への登録設定
☑ CD
☐ FM/AM
☐ AUX
☐ Option
☐ Bluetooth
☐ PCからのインポート

● お買い上げ時の設定は、CD のみが登録対象となっています。

4 決定 **押す**

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：**［**戻る**］を押す
■ **元の画面に戻る：**［**戻る**］を数回押す

■ 機能選択メニューとサブメニューについて

機能選択	現在のセレクターで操作できるいろいろな機能がまとめられています。 ● 再生 / 停止中の画面から使えます。（曲リスト画面などでは使えません。） ● 機能選択の効果は、ボタンを押した時点での曲やプレイリストを対象とします。
サブメニュー	機能選択の一部を簡単に呼び出して使えます。 ● 本書では、機能選択からの操作を中心に説明しています。サブメニューから選択できる機能は ヒント のマークでお知らせしています。

● 64 ページ「機能選択 / サブメニュー機能一覧」も参照ください。

音楽 CD の録音方法を変えて録音する CD-DA

音楽 CD を録音する場合は、高速録音（☞ 11 ページ）のほか、下記の方法があります。

録音の種類	内容
高速録音+SD転送	HDD へ高速録音したあと、録音した曲を続けて SD へ転送します。
聴きながら録音	録音中の曲を聴きながら録音します。 ● 通常速度の録音になります。

準備
1. セレクターを CD に切り換える。
   [▶/II CD] → [■ (停止)]
2. 録音したい音楽 CD を入れる。(☞ 9 ページ)
3. 録音モードを設定する。(☞ 17 ページ)

本体で操作するとき

高速録音後、続けて SD に転送する

1 記録可能な SD を入れる (☞ 9 ページ)

2 ●CD▶HDD

押す

選び / 決定

“ 高速録音 +SD 転送 ” を選び、決定

CD　録音確認
歌曲伴奏集
録音方法を
選択してください。
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

録音が始まります。
● “ **●高速録音→ SD 転送** ” の表示が消えたら録音・転送終了です。

■ **録音前にキャンセルする：**
録音確認画面で [**戻る**] を押す

お知らせ
- 変換・解析(☞ 8ページ)を行ってからSDへ転送するため、通常よりも長く時間がかかります。
- SD への転送が終わるまで、CD トレイを開くことはできません。
- HDD への録音・SD への転送中、SD 挿入部のふたを開けないでください。録音・転送が停止します。

録音中の音を聴きながら録音する

●CD▶HDD

押す

選び / 決定

“ 聴きながら録音 ” を選び、決定

CD　録音確認
歌曲伴奏集
録音方法を
選択してください。
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

録音が始まります。
● “ **●聴きながら録音** ” の表示が消えたら録音終了です。

■ **録音前にキャンセルする：**
録音確認画面で [**戻る**] を押す

リモコンで操作するとき

● リモコンボタンで録音を始めるときの録音方法を、あらかじめ機能選択で設定しておきます。

リモコンボタンで録音するときの方法を設定する

1 機能選択

押す

2 選び / 決定

“ 録音方法 ” を選び、決定

CD　機能選択
曲の情報表示
録音方法　高速録音
録音モード　LPCM
曲を録音
アルバムを録音
曲を選んで録音

3 選び / 決定

録音方法を選び、決定

CD　録音方法
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

[**戻る**] を数回押すと、元の画面に戻ります。

リモコンボタンで録音を始める

1 曲表示画面の停止中に

HDD録音 ●

押す

1 曲表示画面

CD
歌曲伴奏集
クレオ・フィガナン
フォーリア
3:54
トラック：1/11
全時間：56 : 56
11

機能選択で設定した録音方法で、CD の 1 曲目から録音が始まります。

ディスクの途中から録音する

① [**選曲**] を押して、曲リスト画面を表示させる。
② [▲、▼] で録音を始める曲を選ぶ。

CD
フォーリア
白鳥の歌
告別
アヴェ・マリア ← この曲から録音
ヴェニスの舟歌

③ [● **HDD 録音**] を押す。
選んだ曲から最後まで録音します。

共通の操作

■ **録音を止める：**[■ (停止)] を押す
● 録音途中の（録音が完了していない）曲は、HDD に保存されません。

お知らせ

リピート / ランダム再生を設定していると録音できません。解除してください。(☞ 14 ページ)
本体操作で録音した場合は、自動的に解除されます。

WMA/MP3 ディスクを録音する WMA/MP3

WMA/MP3 ディスクの録音には下記の録音方法があります。

再生モードの種類	内容	画面表示
ディスクモード	ディスク内の全曲を録音します。	(ディスク)
フォルダモード	フォルダ単位で、フォルダ内の全曲を録音します。	(フォルダ)

● 高速録音はできません。

準備
1. セレクターを CD に切り換える。
 [▶/❚❚ CD] → [■ (停止)]
2. 録音したい WMA/MP3 ディスクを入れる。
 (☞ 9 ページ)
3. 録音モードを設定する。(☞ 17 ページ)

WMA/MP3 ディスク内の曲を録音する

1 再生モード **押す**

選び “ 再生エリア ” を選び、決定 決定

2 選び “ ディスク ” または “ フォルダ ” を選び、決定 決定

CD 再生エリア
1曲
フォルダ
ディスク

3 戻る **押す**

CD
Best of Strings
A. M. Quartet
Pessimisum
WMA 8:43
モード表示 トラック： 1/8 (1/10)

ディスクモードの場合は手順❺へ。

4 フォルダモードのみ

選曲 **押す**
フォルダ選択画面が表示されます。

録音したいフォルダを選ぶ

CD
Instrumental 003
Best of Strings
録音したいフォルダ — Piano concerto
第七芸術の世界
Game music mix

5 HDD録音 **押す**

録音が始まります。

■ 曲やアルバムのタイトルについて

WMA/MP3 ディスクの作成時にタグを使用しているときは、アーティスト名、アルバム名、曲名がタイトルとして付きます。タグ情報がない場合は、各トラックのファイル名が曲名となります。(アルバム名にはフォルダ名が付き、アーティスト名は “ _ **不明なアーティスト** ” のようになります)

ディスクやフォルダの途中から録音する

選んだ曲やフォルダから最後まで録音します。

1 選曲 **押す**
フォルダ選択画面が表示されます。

フォルダを選ぶ

CD
Instrumental 003
Best of Strings
録音したいフォルダ — Piano concerto
第七芸術の世界
Game music mix

このフォルダの先頭から録音を始める場合は手順❸へ。

2 ディスクの途中から録音する場合のみ

決定 **押す**
曲リスト画面になります。

曲を選ぶ
曲リスト画面

CD
Piano concerto
1st. movement
2nd. movement
3rd. movement
Paganini Rhapsody
Fauvism in 1905

3 HDD録音 **押す**

録音が始まります。

● **ディスクモードのとき：** 選んだ曲やフォルダからディスクの最後まで録音。
● **フォルダモードのとき：** 選んだ曲やフォルダからフォルダの最後まで録音。

■ 本体の［● CD ▶ HDD］で録音を始めると ...

ディスクモードのときはディスク全体、フォルダモードのときはフォルダ全体の録音になります。

WMA/MP3 ディスクの情報を見る

1 曲表示画面で：
① [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] で “ **ディスク情報** ” を選び、[**決定**] を押す。
ボリュームラベルや曲数などの情報が表示されます。

共通の操作

■ **録音を止める：** [■ (停止)] を押す
● 録音途中の (録音が完了していない) 曲は、HDD に保存されません。
■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **元の画面に戻る：** [**戻る**] を数回押す

お知らせ
リピート / ランダム再生が設定されている場合は、録音できません。解除してください。(☞ 14 ページ)

CDのいろいろな録音

CD-DA　WMA/MP3

準備
1. セレクターを CD に切り換える。
   [▶/❚❚ CD] → [■（停止）]
2. 録音したいディスクを入れる。（☞ 9 ページ）
3. 録音モードを設定する。（☞ 17 ページ）

曲を選んで録音する

好きな曲だけを選んで録音します。

1 停止 / 再生中に

機能選択 **押す**

"曲を選んで録音"を選び、決定

選び　決定

例）CD-DA

CD　機能選択
曲の情報表示
録音方法　高速録音
録音モード　LPCM
曲を録音
アルバムを録音
曲を選んで録音

2 **録音する曲を指定する**
[▲、▼] で曲を選び、[⏮、⏭] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [**サブメニュー**] を押す。
② "**全ての曲にマーク**" または "**全てのマークを解除**" を選び、決定。

CD　曲を選んで録音
歌曲伴奏集
☐フォーリア
☑白鳥の歌
☐告別
☑アヴェ・マリア
☑ヴェニスの舟歌

3 決定 **押す**

4 選び　決定
① **"この設定で録音する"を選び、決定**

CD　録音設定の確認
録音方法　高速録音
録音モード　LPCM
この設定で録音する
一時的に設定を変更 — ヒント1

② **"はい"を選び、決定**

録音が始まります。

1曲ずつ録音する / まとめて録音する

1 停止 / 再生中に

機能選択 **押す**

何を録音するかを選び、決定

選び　決定

例）CD-DA

CD　機能選択
曲の情報表示
録音方法　高速録音
録音モード　LPCM
曲を録音
アルバムを録音
曲を選んで録音

- **曲を録音**：現在の 1 曲だけを録音
- **アルバムを録音**：アルバム全体を録音（CD-DA のみ）
- **フォルダを録音**：現在のフォルダの全曲を録音（WMA/MP3 のみ）
- **ディスクを録音**：ディスク全体を録音（WMA/MP3 のみ）

2 選び　決定
① **"この設定で録音する"を選び、決定**（ヒント1）
② **"はい"を選び、決定**

録音が始まります。

高速録音中に他の曲を聴く　CD-DA

高速録音中、セレクターを切り換えて、HDD や外部機器を再生することができます。
- HDD と AUX のみ聴くことができます。

高速録音中に再生を始めるとき

HDD ▶/❚❚ / FM/AM /AUX　押して **セレクターを切り換える**

例）高速録音中に HDD を再生

セレクター表示 — HDD ▶
北欧・ピアノ名曲集
クレオ・フィガナン
♪ 忘れられた調べ
再生状況表示 — LPCM　3:54
トラック：2/22　全時間：1:16:32
録音状況表示 — ●録音中 10%

- "**高速録音＋ SD 転送**" での録音および転送中は、切り換えられません。

■ **高速録音中の他の操作**

HDD では通常の再生時と同じように、スキップ、サーチなどの操作ができます。
- **再生を止める**：[■（停止）] を押す。
- **録音の状況を確認する**：[▶/❚❚ CD] を押す。
- **録音を止める**：[▶/❚❚ CD] → [■（停止）] を 2 回押す。

HDD、AUX の再生中に高速録音を始めるとき

本体で

●CD▶HDD **押す**

再生を続けたまま、CD 全曲を高速録音します。

■ **HDD 再生中、リモコンからは以下の操作で音楽 CD の録音ができます**

① [**機能選択**] を押す。
② "**CD 録音**" → "**CD アルバムを高速録音**" を選び、決定する。
③ "**この設定で録音する**" を選び、決定する。
④ "**はい**" を選び、決定する。

HDD　CD録音 ▶
CDディスク情報 — ヒント2
CDタイトルの取得
録音モード　LPCM
CDアルバムを高速録音

共通の操作

■ **録音を止める**：[■（停止）] を押す
- 録音途中の（録音が完了していない）曲は、HDDに保存されません。

■ **一つ前の画面に戻る**：[**戻る**] を押す

ヒント1 設定を変えて録音するには

録音設定の確認画面で "**一時的に設定を変更**" を選ぶと、録音モード（☞ 17 ページ）や録音方法（音楽CDのみ ☞ 18 ページ）を変更できます。この変更は、今回の録音にのみ有効です。

ヒント2 HDD 再生中に CD の情報を確認する

"**CD ディスク情報**" を選ぶと、CD のアルバム名、トラック数、総時間を確認できます。

お知らせ

リピート / ランダム再生が設定されている場合は、録音できません。解除してください。（☞ 14 ページ）
本体操作で録音した場合は、自動的に解除されます。

ラジオ放送を録音する

準備 1. FM 簡易型アンテナ、AM ループアンテナを接続する。（☞ 5 ページ）
2. 録音モードを設定する。（☞ 17 ページ）

1 [FM/AM/AUX] 押して **"FM"** または **"AM"** を選ぶ
押すたびに：**FM** → **AM** → AUX

録音したい放送局を受信する
（☞ 15 ページ）

2 [機能選択] **押す**

① **" トラック分割 " を選び決定**（選び／決定）

FM 機能選択
- 音声モード　オート (ステレオ)
- プリセット登録
- プリセット消去
- 録音モード　LPCM
- トラック分割　オート (5分)

② **曲の分けかたを選び、決定**

FM 録音時のトラック分割
- オート（5分）
- オート（10分）
- マニュアル

- **オート（5 分）：** 5 分おきに 1 曲として分割。
- **オート（10 分）：** 10 分おきに 1 曲として分割。
- **マニュアル：** 自動では分割しない。（ただし、60 分以上連続して録音すると、自動的に曲が分割されます。）

3 [戻る] **押す**

4 [HDD録音 ●] **押す**
録音が始まります。

FM ●HDD録音
ステレオ
マニュアル 80.2 MHz
録音経過時間 ●録音中 0:01

- **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
- **録音を止める：** [■（停止）] を押す
- **一時停止する：** [**●HDD 録音**] を押す
  - 再開するにはもう一度押す。（曲が分割されます。）
- **手動で曲を分割する：** 録音中に、好みの位置で [**決定**] を押す

録音した内容を聴く

- **すぐに聴く場合 → [▶/❚❚ HDD]** を押す
- **プレイリストから探す場合**
  選曲メニューの " **曲を探す** " → " **ラジオ 外部録音** " から探します。（☞ 22 ページ）
  52 ページ「ラジオ、外部機器、Bluetooth® の録音後のタイトルの付きかた」をご参考に、目的の曲を探してください。

MD やテープなどを録音する

準備 1. 外部機器を接続する。（☞ 16 ページ）
2. 録音モードを設定する。（☞ 17 ページ）

1 [FM/AM/AUX] 押して **"AUX"** を選ぶ
押すたびに：FM → AM → **AUX**

- 接続した機器の入力レベルが低い場合は、調整してください。（☞ 52 ページ「入力レベルを調整する」）

2 [機能選択] **押す**

① **" トラック分割 " を選び決定**（選び／決定）

AUX 機能選択
- 入力レベル　レベル 0
- 録音モード　LPCM
- トラック分割　オート (シンクロ)
- シンクロレベル　レベル 0

② **曲の分けかたを選び、決定**

AUX 録音時のトラック分割
- オート（5分）
- オート（10分）
- オート（シンクロ）
- マニュアル

- **オート（5 分）：** 5 分おきに 1 曲として分割。
- **オート（10 分）：** 10 分おきに 1 曲として分割。
- **オート（シンクロ）：**
  曲間の無音部を検出して、自動的に曲を分割します。接続した機器を再生すると自動的に録音を開始します。無音部が約 3 秒以上続くと一時停止し、音の再開で録音も再開します。
- **マニュアル：** 自動では分割しない。（ただし、60 分以上連続して録音すると、自動的に曲が分割されます。）

3 [戻る] **押す**

4 [HDD録音 ●] **押す**

- **オート（5 分 /10 分）、マニュアルでは**：録音が始まります。
- **オート（シンクロ）では**：録音待機状態になります。

5 **外部機器で再生を始める**

- オート（シンクロ）では、音の出始めから録音が始まります。

■ **シンクロレベルの調整について**
☞ 52 ページ「シンクロレベルを調整する」

- **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
- **録音を止める：** [■（停止）] を押す
- **一時停止する：** [**●HDD 録音**] を押す
  - 再開するにはもう一度押す。（曲が分割されます。）
- **手動で曲を分割する：** 録音中に、好みの位置で [**決定**] を押す

録音した内容を聴く

- **すぐに聴く場合 → [▶/❚❚ HDD]** を押す
- **プレイリストから探す場合**
  選曲メニューの " **曲を探す** " → " **ラジオ 外部録音** " から探します。（☞ 22 ページ）
  52 ページ「ラジオ、外部機器、Bluetooth® の録音後のタイトルの付きかた」をご参考に、目的の曲を探してください。

HDD の曲を探して聴く HDD

HDD に録音した曲は、アーティスト、アルバムや曲名などの情報を基に " プレイリスト " という曲の集まりでまとめられています。再生させたい曲やアルバムを名前で探すことができます。

本機のプレイリストの種類

選曲メニュー トップ画面

- **曲を探す** アーティスト、アルバムや曲の名前から探すとき。
- **おすすめ** 本機がおすすめするプレイリストで再生するとき。
- **印象選曲** 気分にあった曲をおまかせで再生するとき。



" 曲を探す " を選ぶと ...

アーティスト	● **アーティスト名から探す** アーティストごとに曲が集まっています。アーティストプレイリストやアルバムプレイリストを再生します。
アルバム	● **アルバム名から探す** アルバムごとに曲が集まっています。 アルバムプレイリストを再生します。
曲名	● **曲名から探す** その曲を含むアルバムプレイリストを再生します。
ユーザープレイリスト	● **ユーザープレイリストを探す** 録音後に、ご自分で作ったユーザープレイリストです。（☞ 32 ページ）
ラジオ外部録音	● **ラジオや外部機器から録音したものを探す** ラジオ、外部機器、Bluetooth® や iPod から録音したものが集まっています。

" おすすめ " を選ぶと ...

マイベスト	● **お気に入りの曲を聴くとき** マイベスト（☞ 34 ページ）に登録した曲だけが集まっています。（最大 99 曲）
新曲	● **最近録音した曲を聴くとき** 録音の新しいものが最大で 99 曲集まっています。
よく聴く曲	● **再生回数の多い曲を聴くとき** 最近聴いた 999 曲の中から、再生回数の多い順に最大で 99 曲が集まっています。
全曲ランダム	● **全曲をランダムで聴くとき** HDD 内の全曲をランダムで再生します。 ※ 再生を止めると、その曲を含むアルバムプレイリストに切り換わります。 ※ アーティスト名の先頭文字が " ＊ " の曲は、ランダム再生の対象外となり、再生されません。

" 印象選曲 " とは？

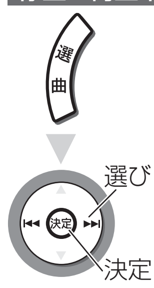
印象選曲	● **気分にあった曲をおまかせで再生** 特定の印象を持つ曲だけが集まっています。 選び直すたびに、曲目や曲順が変わります。 以下の 7 種類のプレイリストがあります。 ●ウキウキ系　●癒し系　●ゆったり系 ●騒ぎたい感じ　●ポップ系　●切ない感じ ●ノリノリ系 （プレイリストごとに最大 99 曲）

曲を探して聴く

プレイリストの活用方法

ここでは「アーティスト名」「アルバム名」「曲名」から目的の曲を探す方法を紹介します。
下記操作方法を参考に、目的の曲を探してください。

1 停止 / 再生中に



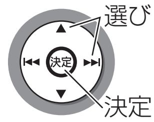
押す

① **" 曲を探す " を選び、決定**
② **探しかたを選び、決定**

アーティスト名で探す場合



2

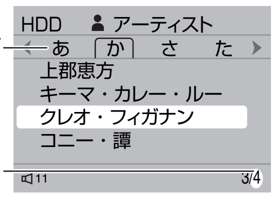


アーティスト名を選び、決定

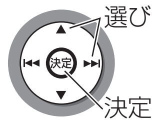
● HDD 内の全アーティストが、50 音順に並んでいます。

[◀◀、▶▶] でタブを切り換え、[▲、▼] でアーティストを選びます。

アーティスト選択画面



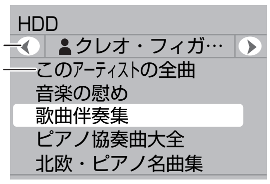
3



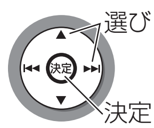
アルバムを選び、決定

● 選んだアーティストのアルバムが、50 音順に並んでいます。

アルバム選択画面

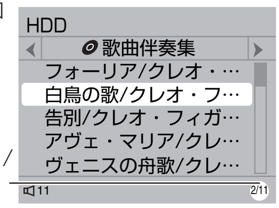


4



曲を選び、決定

曲リスト画面



選んだ曲を含むアルバムプレイリストの最終曲まで再生します。

準備 セレクターを HDD に切り換える。
[▶/❚❚ HDD] → [■（停止）]

例えば ...
アーティスト名： クレオ・フィガナン
アルバム名： 歌曲伴奏集
の中から「白鳥の歌」を探して聴くには ...

アルバム名で探す場合



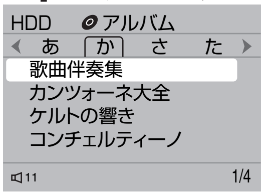
曲名で探す場合



アルバムを選び、決定

● HDD 内の全アルバムが、50 音順に並んでいます。

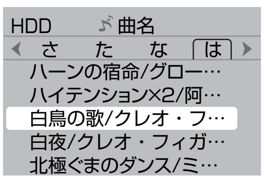
[◀◀、▶▶] でタブを切り換え、[▲、▼] でアルバムを選びます。



曲を選び、決定

● HDD 内の全曲が、50 音順に並んでいます。

[◀◀、▶▶] でタブを切り換え、[▲、▼] で曲を選びます。



選んだ曲を含むアルバムプレイリストの最終曲まで再生します。

その他にも ...

ユーザープレイリストでは

編集で「ユーザープレイリスト」を作成してください。(☞ 32 ページ)。そのあと左記手順の ...
❶ - ②で、“ **ユーザープレイリスト** ”を選び、決定
❸で、プレイリスト名（編集で入力した名前）を選び、決定
❹で、曲を選び、決定

ラジオ 外部録音では

ラジオ、外部機器、Bluetooth® や iPod を録音したものが集められています。再生するには、左記手順の ...
❶ - ②で、“ **ラジオ 外部録音** ”を選び、決定
❸で、プレイリスト名（☞ 52 ページ「ラジオ、外部機器、Bluetooth® の録音後のタイトルの付きかた」）を選び、決定
❹で、曲を選び、決定

こんなときは

■ 曲リスト画面などは [▲、▼] のかわりに数字ボタンで項目を選ぶこともできます。

● 数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには
2 ケタのとき（例：12）は：[≧10] → [1] → [2]
3 ケタのとき（例：225）は：
[≧10] → [≧10] → [2] → [2] → [5]

■ The で始まるアーティストを見つけるには

アーティスト名の最初の “The” は、ソートの対象外になります。例えば “The world” というアーティストなら “W” に並びます。

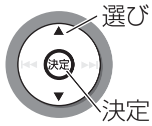
■ 50 音タブについて

50 音タブは以下の順に表示されます。
● あかさたな…→アルファベット→数字→その他
“**アルバム**”を選んだときのアルバム選択画面(手順 ❸)や、“ **曲名** ”を選んだときの曲リスト画面（手順 ❹）でも 50 音タブが表示されます。

■ 選択タブについて

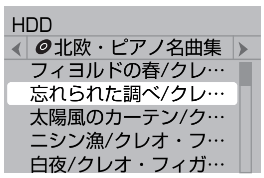
画面の 2 行目に選択タブ(“◀”、“▶”)が出ているときは、[◀◀、▶▶] でアーティストやアルバムなどを切り換えることができます。

■ プレイリスト内の曲を調べる



1 曲表示画面で：
[▲、▼] を押して 1 行目（プレイリスト名）を選び、[**決定**] を押す

曲リスト画面



● [**戻る**] を押すと元の画面に戻ります。
● [▲、▼] で曲を選び、[**決定**] を押すと、その曲から再生します。
● [◀◀、▶▶] でアルバムなどを切り換えられる場合もあります。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：**[**戻る**] を押す

ヒント 1 “ このアーティストの全曲 ” を選ぶと ...
同名アーティストの各アルバムに納められた全曲を表示します。
曲を選ぶとアーティストプレイリストで再生します。

いろいろなプレイリストを再生する

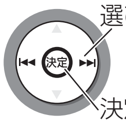
ここでは、曲を探す以外の方法で再生できる、いろいろなプレイリストについて説明します。

1 停止 / 再生中に



押す

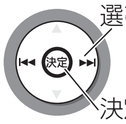
2 選び / 決定



“おすすめ” または **“印象選曲”** **を選び、決定**



3 選び / 決定



プレイリストを選び、決定

プレイリスト選択画面



“**おすすめ**” を選んだとき

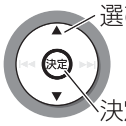
- “**全曲ランダム**” を選ぶと、すぐに再生が始まります。

プレイリスト選択画面



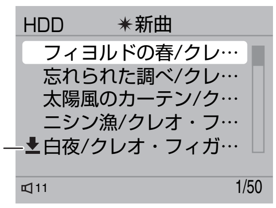
“**印象選曲**” を選んだとき

4 選び / 決定



聴きたい曲を選び、決定

曲リスト画面



ヒント 1

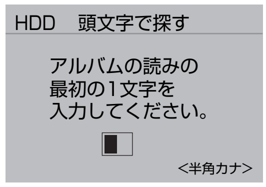
選んだ曲から再生します。

アーティスト名、アルバム名または曲名の頭文字の読み 1 文字を指定して探す（頭文字で探す）

アーティスト名、アルバム名または曲名の最初の読み 1 文字を入力することで、目的のアーティスト、アルバムや曲をすばやく探せます。ジャンプ後は、入力した文字を頭文字に含む最初のアーティスト、アルバムや曲が選択されます。

① 22 ページ「曲を探して聴く」の手順❶ - ②で、“ **アーティスト** ”、“ **アルバム** ” または “ **曲名** ” にカーソルを合わせる。
② [**サブメニュー**] を押す。
- “ **頭文字で探す** ” が表示されます。

③ [**決定**] を押す。
- 文字を入力する画面が表示されます。



④ アーティスト名、アルバム名または曲名の最初の読み 1 文字（半角カナ / 半角英数）を入力する。（☞ 36 ページ）
- 間違えた場合は：[**消去**] を押す
- 前の画面に戻るには：[**戻る**] を押す

⑤ [**決定**] を押す。
- 該当するアーティスト、アルバムや曲がない場合は、入力した文字を含むタブ内、または、次にタイトルが登録されているタブ内のタイトルが選ばれます。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：**[**戻る**] を押す

■ 印象選曲機能について

- 本機では、テンポやビートなどの特徴をもとに曲の印象を判断し、7 種類のプレイリストに曲を自動的に振り分けます。ただし、曲によってはどの印象にも当てはまらないことがあります。
- 印象選曲への曲の登録は、AAC 変換（☞ 8 ページ）と同時に行われます。したがって、録音直後の曲は印象選曲には含まれていません。また、パソコンから取り込んだ WMA/MP3/AAC(MPEG4) の曲は、電源「切」時に印象選曲の曲解析が行われます。
すぐに印象選曲の選曲結果を知りたいときは、「変換・解析をすぐに実行する」（☞ 40 ページ）を行ってください。

ヒント 1 曲リスト画面に“ ⤓ ”、“ ⚙ ”があるとき

AAC 変換（☞ 8 ページ）や印象選曲の曲解析が未終了であることを示しています。

お知らせ

再生範囲は再生エリア設定によって異なります。（☞ 25 ページ）

HDD のいろいろな再生

準備 セレクターを HDD に切り換える。
[▶/❚❚ HDD] → [■（停止）]

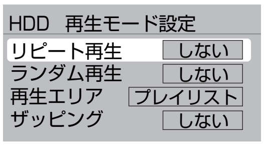
くり返し聴く / 順不同に聴く / 再生範囲を変える

再生モードの種類	内容	画面表示
リピート再生	設定した再生エリアの曲をくり返し再生します。	⟲
ランダム再生	設定した再生エリアの曲を順不同に再生します。	⤨
再生エリア	再生する範囲を設定します。	
	1 曲： 1 曲だけ再生	1♪
	プレイリスト： 現在のプレイリストだけを再生（お買い上げ時の設定）	PL
	プレイリスト連続： 同じ種類のプレイリストを連続して再生	PL

1 聴きたい曲やプレイリストの停止 / 再生中に

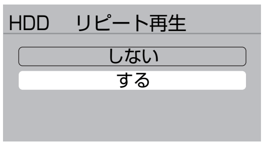
再生モード **押す**

選び 決定 **項目を選び、決定**



2 選び 決定 **設定を選び、決定**

例）リピート再生



リピート再生
- **しない：** 解除
- **する：** 再生エリア内をくり返し再生

ランダム再生
- **しない：** 解除
- **する：** 再生エリア内の曲を順不同に再生

再生エリア
- **1 曲：** 1 曲だけ再生
- **プレイリスト：** 現在のプレイリストだけを再生
- **プレイリスト連続：** 同じ種類のプレイリストを連続して再生

■ **1 曲だけをくり返し聴くとき**
リピート再生を "**する**"、再生エリアを "**1 曲**" に設定します。

■ **停止時に設定した場合：** [▶/❚❚ HDD] を押す

お知らせ

"**マイベスト**"、"**印象選曲**"、"**新曲**"、"**よく聴く曲**"、"**全曲ランダム**" のプレイリストは、プレイリストの連続再生はできません。

曲のサビ部分だけを続けて聴く　ザッピング

曲を次々と試聴しながら目的の曲を探すときに便利です。

1 停止 / 再生中に

再生モード **押す**

選び 決定 **"ザッピング" を選び、決定**

2 選び 決定 **設定を選び、決定**

- **しない：** 解除
- **する：** ザッピング再生

各曲のサビ部分を約 20 秒ずつ再生します。



ザッピング表示

■ **停止時に設定した場合：** [▶/❚❚ HDD] を押す

お知らせ

- ザッピング再生中は、サーチできません。
- 停止するとザッピングは解除されます。
- **サビ位置の検出について**
  各曲のサビ位置の検出には、印象選曲のための曲解析データを利用します。このため、録音直後などで曲解析が終了していない場合は、サビ部分ではなく、曲のイントロ部分の再生になります。

共通の操作

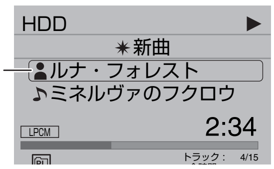
■ **元の画面に戻る：** [**戻る**] を数回押す
■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

関連する曲にジャンプする

今聴いている曲と同じアーティストのアルバムをすばやく探すことができます。

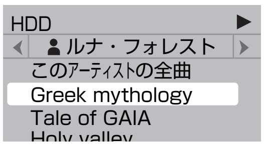
1 停止 / 再生中に

選び 決定 押して、**2 行目にカーソルを合わせ、決定**



アーティスト名 または アルバム名

同じアーティストのアルバム選択画面にジャンプします。



2 **以降は「曲を探して聴く」**（☞ 22 ページ）**と同様の方法で、アルバムや曲を探してください。**

■ **再生中の曲の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

HDD再生　HDDの曲を探して聴く（つづき）・HDDのいろいろな再生

SD へのいろいろな転送

HDD 内の録音データを、SD カードに転送します。
転送したあとは、D-snap、SD オーディオ対応プレーヤーや携帯電話で再生することもできます。
(対応機種についてくわしくは ☞ 31 ページ)

準備
1. **SD を入れる。**(☞ 9、45 ページ)
2. **セレクターを HDD に切り換える。**
[▶/II HDD] → [■(停止)]

転送先を指定する

D-snap「SV-SD950N※」を「SD オーディオ」モードに設定して本機に接続すると、D-snap に直接転送できます。(☞ 45 ページ)
※ドッキング転送対応モデル

1 [機能選択] **押す**

① **“SD 転送” を選び、決定**
② **“転送先設定” を選び、決定**

選び / 決定

HDD　SD転送
曲を選んでSDへ転送
自動作成するプレイリスト
転送元プレイリストの作成
SDの曲を削除
LPCM曲のSD転送圧縮
転送先設定

2 選び / 決定 **転送先を選び、決定**

HDD　転送先設定
通常使用する転送先を選択してください。
D.port優先
SD優先

- **D.port 優先：** D-snap port 差し込み部に接続した D-snap 内の SD カードへ転送
- **SD 優先：** 本機の SD 挿入部に入れた SD へ転送

1 曲ずつ転送する / プレイリストを転送する 〔ヒント 1〕

1 曲ずつ、またはプレイリスト単位で転送します。

1 転送したい曲やプレイリストの停止中に

[機能選択] **押す**

① **“SD 転送” を選び、決定**
② **“曲を SD へ転送”** または **“プレイリストを SD へ転送” を選び、決定**

選び / 決定

HDD　SD転送
SDカード情報
リメイクSD転送
リメイクSD設定
曲をSDへ転送
プレイリストをSDへ転送

2 選び / 決定 **“はい” を選び、決定**

HDD　曲をSDへ転送
○○○○○○○ の転送を開始します。いいですか？
はい　いいえ

転送が始まります。
- プレイリストを転送したときは、プレイリスト情報も SD に記録されます。

曲を選んで転送する 〔ヒント 1〕

プレイリストの中の好きな曲だけ選んで転送します。
- “**マイベスト**” と “**新曲**” からは転送できません。

1 転送したい曲が含まれるプレイリストの停止中に

[機能選択] **押す**

① **“SD 転送” を選び、決定**
② **“曲を選んで SD へ転送” を選び、決定**

選び / 決定

HDD　SD転送
SDカード情報
リメイクSD転送
リメイクSD設定
曲をSDへ転送
プレイリストをSDへ転送
曲を選んでSDへ転送

2 **転送する曲を指定する**
[▲、▼] で曲を選び、[◀◀、▶▶] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [**サブメニュー**] を押す。
② “**全ての曲にマーク**” または “**全てのマークを解除**” を選び、決定。

HDD 曲を選んでSDへ転送
歌曲伴奏集
□フォーリア/クレオ・…
☑白鳥の歌/クレオ・フ…
□告別/クレオ・フィガ…
☑アヴェ・マリア/クレ…
☑ヴェニスの舟歌/クレ…

3 [決定] **押す**

4 選び / 決定 **“はい” を選び、決定**

転送が始まります。
- プレイリスト情報も SD に記録されます。

ランダムに転送する

HDD の曲をランダムに転送します。
- SD の空き容量が無くなった場合は転送が停止します。

1 [サブメニュー] **“全曲ランダム”** を選んだ状態で、**押す**

HDD　おすすめ
新曲　よく聴く曲　全曲ランダム

2 [決定] **押す**

HDD　サブメニュー
♪ 全曲ランダム
プレイリストをSDへ転送

- 転送が終わると、転送曲数が表示されます。[**決定**] を押してください。

お知らせ

アーティスト名の先頭文字が “＊” の曲は、SD に転送されません。

自動作成するプレイリストを設定する

転送時に、アルバムやアーティストのプレイリストを自動作成します。

- 設定して転送すると、曲やプレイリストの種類にかかわらず、アーティストやアルバムのプレイリストが SD 内に作成されます。

1 停止中に

[機能選択] 押す

① "SD 転送" を選び、決定
② " 自動作成するプレイリスト" を選び、決定

2 設定したい項目を選び、決定

HDD 自動作成するプレイリスト	
アルバムプレイリストの自動作成	有効
アーティストプレイリストの自動作成	有効

3 " 有効 " または " 無効 " を選び、決定

HDD 自動作成するプレイリスト
アルバムプレイリストの自動作成
有効
無効

- すでに同名のプレイリストがある場合は、同名のプレイリストに曲が追加されます。

プレイリストを作成しないで転送する

1 停止中に

[機能選択] 押す

① "SD 転送" を選び、決定
② " 転送元プレイリストの作成" を選び、決定

HDD SD転送
リメイクSD設定
曲をSDへ転送
プレイリストをSDへ転送
曲を選んでSDへ転送
自動作成するプレイリスト
転送元プレイリストの作成

2 " 無効 " を選び、決定

HDD 転送元プレイリストの作成
転送元プレイリストの作成
有効
無効

■ **プレイリストを作成して転送する場合は**
" **有効** " を選び、決定

お知らせ

転送元プレイリストを " **無効** " に設定しても、下記の場合はプレイリストが作成されます。

- " **マイベスト** "、" **新曲** " を転送した場合
- 自動作成するプレイリスト（☞ 上記）を " **有効** " に設定している場合
- リメイク SD（☞ 28 ページ）で転送した場合
- 新曲自動転送（☞ 45 ページ）で転送した場合

LPCM 曲を SD に転送するときのデータ形式を変更する

1 停止中に

[機能選択] 押す

① "SD 転送" を選び、決定
② "LPCM 曲の SD 転送圧縮" を選び、決定

HDD SD転送
プレイリストをSDへ転送
曲を選んでSDへ転送
自動作成するプレイリスト
転送元プレイリストの作成
SDの曲を削除
LPCM曲のSD転送圧縮

2 圧縮率を選び、決定

HDD SD転送圧縮
AAC(XP)
AAC(SP)
AAC(LP)

お買い上げ時の設定：XP

- SP や LP に変更すると、より多くの曲を SD に転送できます。

お知らせ

この設定を変更すると、LPCM 曲の SD 転送時に、変換・解析が必要になるため、転送準備に時間がかかることがあります。

共通の操作

■ **転送を止める：** [■（停止）] を押す
- 転送途中の（転送が完了していない）曲は、SD に保存されません。

■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **元の画面に戻る：** [**戻る**] を数回押す

SD カードの空き容量などを調べるには

① セレクターが HDD のときに [**機能選択**] を押す。
② "**SD 転送**" を選び、[**決定**] を押す。
③ "**SD カード情報**" を選び、[**決定**] を押す。
カード情報が表示されます。

- [**戻る**] を数回押すと、元の画面に戻ります。
- セレクターが SD のときは、[**機能選択**] を押し、" **カード情報** " を選ぶと確認できます。

■ **" 転送準備をしています。" が表示されたら**

表示のあと転送が始まります。

■ **99 曲を超えるプレイリストの転送**

曲数が 99 を超えるプレイリストを転送しようとすると、プレイリストを分割して転送する確認画面が表示されます。
分割して転送する場合は、" **はい** " を選び、決定してください。

- リメイク SD（☞ 28 ページ）を使った転送の場合は、分割されず、最大 99 曲までが転送されます。

ヒント 1 選曲中の画面からは下記方法で操作できます。

選曲中の曲リストまたはプレイリスト選択画面で：
① [**サブメニュー**] を押す。
② [▲,▼] で "**曲を SD へ転送**"、"**プレイリストを SD へ転送**" または " **曲を選んで SD へ転送** " を選び、[**決定**] を押す。
ただし、選曲メニューの " **曲を探す** " → " **曲名** " から曲リスト画面を表示させているときは、1 曲ずつの転送しか選べません。

お知らせ

SD 内に同名のプレイリストがあるときは、同名のプレイリストがもう一つできます。ただし、" **マイベスト** " と " **新曲** " は、SD 内の " **マイベスト** " と " **新曲** " の曲目が更新されます。

SD カードごとにテーマを決めて転送する

リメイク SD 機能

SD カードにあらかじめ、プレイリストや再生時間などをテーマとして設定して、テーマに沿った曲目をワンタッチで転送します。

● **例えば ...**
テーマを “**マイベスト**”、再生時間を “**30 分**” に設定した SD カードを作成すると、HDD 内のマイベストに登録している曲を “**30 分**” 分ワンタッチで SD へ転送します。
また、カードごとにテーマを設定できますので、通勤電車用に、旅行用にと用途に合わせたカードが作成できます。

準備
1. **SD を入れる。**（☞ 9、45 ページ）
2. **セレクターを HDD に切り換える。**
[▶/II HDD] → [■（停止）]
3. **転送先を指定する。**（☞ 26 ページ）

SD カードにテーマを設定する

“ マイベスト ” を “30 分 ” 分転送するためのカードを作成する場合を例に説明します。

1 テーマとして設定したいプレイリストの停止中に

機能選択 **押す**

① **“SD 転送 ” を選び、決定**
② **“ リメイク SD 設定 ” を選び、決定**

選び / 決定

HDD　SD転送
SDカード情報
リメイクSD転送
リメイクSD設定
曲をSDへ転送
プレイリストをSDへ転送
曲を選んでSDへ転送

HDD　リメイクSD設定
テーマ
マイベスト
再生時間　制限なし
曲順　登録順
SDに登録

● すでにテーマが設定されたカードの場合：
“ **設定変更** ” を選び、[**決定**] を押す。

HDD　リメイクSD設定
テーマ
マイベスト
設定変更
登録削除

2 ① **“ テーマ ” を選び、決定**
② **“ はい ” を選び、決定**

選び / 決定

リメイクSD設定
マイベスト
をテーマとして設定します。
いいですか？
はい　いいえ

3 ① **“ 再生時間 ” を選び、決定**
② **時間を選び、決定**

選び / 決定

HDD　リメイクSD設定
再生時間オプション
制限なし
30 分
60 分
90 分
120 分

4 ① **“ 曲順 ” を選び、決定**
② **転送時の曲順を選び、決定**

選び / 決定

HDD　リメイクSD設定
転送曲順オプション
登録順 — HDD と同じ曲順で転送
ランダム — プレイリスト内の曲を順不同に転送

5 **“SD に登録 ” を選び、決定**

選び / 決定

SD への登録が始まります。
終了するとメッセージを表示して、元の画面に戻ります。

お知らせ
印象選曲プレイリストをテーマに設定した場合、転送曲順は自動的に “ **ランダム** ” になります。

■ **他の SD にもテーマを設定するには**
SD を入れて、同様に設定する。

■ **SD に設定したテーマを削除するには**
手順❶のあと “ **登録削除** ” を選択し、“ **はい** ” を選んで決定する。

テーマを設定した SD カードに転送する

テーマを設定した SD カードを入れてから操作してください。

リメイクSD **押す**

SD カードに設定したテーマの内容で、転送が始まります。
● 転送が終わると、転送結果が表示されます。[**決定**] を押してください。

リメイクSD
マイベスト
転送曲数　32
再生時間　0 : 28 : 15
確認

■ **機能選択から行うときは**
セレクターが HDD で、1 曲表示画面のときに：
① [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] で “**SD 転送** ” を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲、▼] で “ **リメイク SD 転送** ” を選び、[**決定**] を押す。

共通の操作
■ **転送を止める：** [■（停止）] を押す
● 転送途中の（転送が完了していない）曲は、SD に保存されません。
■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **元の画面に戻る：** [**戻る**] を数回押す

お知らせ
● リメイク SD 機能による SD 転送時に、SD 内にテーマと同じプレイリストがあるときは、SD 内のプレイリストの曲目を更新します。（プレイリスト内の曲が 99 曲を超えても分割されず、最大 99 曲までが転送されます。）

転送したあとは…
● **本機で聴く** ☞ 12、29 ページ
● **D-snap で聴く** ☞ 31ページ
● **携帯電話で聴く** ☞ 31 ページ

SD の曲を探して聴く

選曲メニューから、聴きたい曲を含むプレイリスト（曲の集まり）を簡単に見つけることができます。
目的のプレイリストに切り換えることで、そのプレイリスト内の曲を再生できます。

本機のプレイリストの種類

全てのプレイリスト	● **SD 内の全プレイリストから探す** SD 内の全プレイリストを表示します。 HDD から 1 曲ずつ転送した曲は、このリスト内の “**全曲**” から見つけることができます。
新曲	● **最近録音した曲を聴くとき** HDDの “**新曲**” から転送した曲が集められています。 また、D-snap に新曲自動転送（☞ 45 ページ）した “**新曲**” が集められています。
マイベスト	● **お気に入りの曲を探す** HDD の “**マイベスト**” から転送した曲だけが集められています。
アルバム	● **アルバム名から探す** HDD の “**アルバム**” から転送したプレイリストや自動作成されたアルバムプレイリストが集められています。（ヒント 1）
ユーザープレイリスト	● **ユーザープレイリストを探す** ご自分で作ったプレイリストが集められています。（☞ 32 ページ）
印象選曲	● **曲の雰囲気で探す** HDD の “**印象選曲**” から転送したプレイリストが集められています。
アーティスト	● **アーティスト名から探す** HDD の “**アーティスト**” から転送したプレイリストや自動作成されたアーティストプレイリストが集められています。（ヒント 1）

ヒント 1　SD 内の曲をアルバムやアーティストごとにまとめたいとき

HDDからの転送時に、アーティストやアルバムのプレイリストを自動的に作成するように設定を変更することができます。
27 ページ「自動作成するプレイリストを設定する」を参照ください。

お知らせ

SD の場合、プレイリストごとの最大曲数は 99 曲です。

準備
1. SD を入れる。（☞ 9、45ページ）
2. セレクターを切り換える。
● SD のとき：　[▶/II SD] → [■（停止）]
● D.port のとき：[▶/II D.port] → [■（停止）]

いろいろなプレイリストを再生する

選んだ項目によって、画面の細部が異なることがあります。

1 再生 / 停止中に

[選曲] **押す**

2 選び / 決定　**項目を選び、決定**

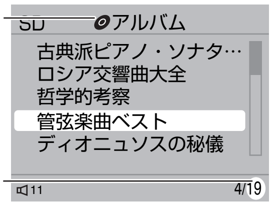


● “**マイベスト**” または “**新曲**” を選んだときは手順❹へ

3 選び / 決定　**プレイリストを選び、決定**
● 転送（記録）した順に並んでいます。

プレイリスト選択画面

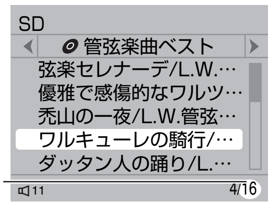
選曲メニューで選んだ項目



プレイリスト数

4 選び / 決定　**聴きたい曲を選び、決定**

曲リスト画面



再生対象曲数

選んだ曲から順に再生対象曲を再生します。

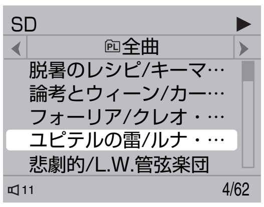
■ **一つ前の画面に戻る：[戻る] を押す**

■ プレイリスト内の曲を調べる

選び / 決定

1 曲表示画面で：
[▲、▼] を押して 1 行目（プレイリスト名）を選び、[**決定**] を押す

再生対象曲の曲リスト画面



● [**戻る**] を押すと元の画面に戻ります。
● [▲、▼] で曲を選び、[**決定**] を押すと、その曲から再生します。
● [|◀◀、▶▶|] でアルバムなどを切り換えられる場合もあります。

SD転送　SD再生　SDカードごとにテーマを決めて転送する・SDの曲を探して聴く

SD のいろいろな再生

準備 **1. SD を入れる。**（☞ 9、45ページ）
2. セレクターを切り換える。
● SD のとき：　　[▶/❚❚ SD] → [■（停止）]
● D.port のとき：[▶/❚❚ D.port] → [■（停止）]

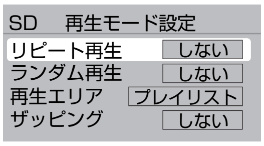
くり返し聴く / 順不同に聴く / 再生範囲を変える

再生モードの種類	内容	画面表示
リピート再生	設定した再生エリアの曲をくり返し再生します。	
ランダム再生	設定した再生エリアの曲を順不同に再生します。	
再生エリア	再生する範囲を設定します。	
	1 曲：　1 曲だけ再生	1♪
	プレイリスト： 現在のプレイリストだけを再生（お買い上げ時の設定）	PL
	プレイリスト連続： 同じ種類のプレイリストを連続して再生	PL

1 聴きたい曲やプレイリストの停止 / 再生中に

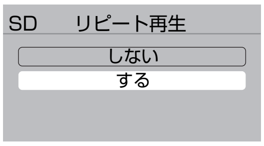
再生モード **押す**

選び／決定 **項目を選び、決定**



2 選び／決定 **設定を選び、決定**

例）リピート再生



リピート再生
● **しない：** 解除
● **する：**　再生エリア内をくり返し再生

ランダム再生
● **しない：** 解除
● **する：**　再生エリア内の曲を順不同に再生

再生エリア
● **1 曲：**　1 曲だけ再生
● **プレイリスト：**　現在のプレイリストだけを再生
● **プレイリスト連続：** 同じ種類のプレイリストを連続して再生

■ **1 曲だけをくり返し聴くとき**
リピート再生を“**する**”、再生エリアを“**1 曲**”に設定します。

■ **停止時に設定した場合：** [**▶/❚❚ SD**] または [**▶/❚❚ D.port**] を押す

お知らせ
“**全てのプレイリスト**”、“**マイベスト**”、“**印象選曲**”、“**新曲**”のプレイリストは、プレイリストの連続再生はできません。

曲のサビ部分だけを続けて聴く　ザッピング

曲を次々と試聴しながら目的の曲を探すときに便利です。

1 停止 / 再生中に

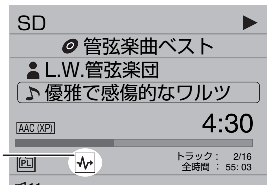
再生モード **押す**

選び／決定 **“ ザッピング ” を選び、決定**

2 選び／決定 **設定を選び、決定**

● **しない：** 解除
● **する：**　ザッピング再生

各曲のサビ部分を約 20 秒ずつ再生します。



ザッピング表示

■ **停止時に設定した場合：** [**▶/❚❚ SD**] または [**▶/❚❚ D.port**] を押す

お知らせ
● ザッピング再生中は、サーチできません。
● 停止するとザッピングは解除されます。

共通の操作
■ **元の画面に戻る：**　　[**戻る**] を数回押す
■ **一つ前の画面に戻る：**[**戻る**] を押す

お知らせ
再生モードの設定は、SD 挿入部のふたを開けると、お買い上げ時の設定に戻ります。

SD を D-snap や携帯電話で楽しむ

本機の HDD から転送した曲は、SD オーディオに対応した **著作権保護付きのデータ** として SD に記録されます。このSD は、SD オーディオに対応し、AAC（64/96/128 kbps）、WMA/MP3（32 ～ 192 kbps）が再生可能な機器で再生できます。

転送したあとで ...



再生できる機器のご紹介（2007 年 7 月現在）

D-snap port 対応の D-snap（D-snap port 対応プレーヤー）で聴くには…

■ SD オーディオプレーヤー（D-snap）
- SV-SD950N（2007 年 9 月発売予定）
- SV-SD850N
- SV-SD800N
- SV-SD400V　など

帰宅後、本機の D-snap port 差し込み部に接続するだけで、D-snap port 対応プレーヤーの充電ができます。（☞ 45 ページ）
SV-SD950N なら、本機からのドッキング転送（☞ 45 ページ）**、直接 SD を編集できます。**

携帯電話で聴くには…

■ 携帯電話
- NTT ドコモ： P904i ※
  P903iX ※
  P903iTV ※
  P903i ※
  P902iS ※
  P902i ※　など

※ AAC のみの再生となります。

その他の SD オーディオ対応機器で楽しむには…

■ SD オーディオプレーヤー（D-snap）
- SV-SD770V/710
- SV-SD570V/510
- SV-SD370V/310　など

■ ミニコンポ
- SC-NS550SD
- SC-PM770SD
- SC-PM730SD
- SC-PM930DVD　など

■ パソコン
セキュア（著作権保護機能）対応の SD カードスロットを装備した Windows パソコンや専用のソフトウェア（SD-Jukebox Ver.6）などが必要です。
（☞ 86 ページ「別売品のご紹介」）
（SD の曲をパソコンに移動 / 書き込みすることはできません）

動作確認済み機器について、くわしくは下記ホームページにてご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

■ **他社製品との互換性について**
以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。
- **「SD オーディオ」対応機器であること**
  「SD Audio」、「SD-Audio」のように表記されている場合もあります。
- **AAC（64、96、128 kbps）および WMA/MP3（32 ～ 192 kbps）が再生可能なこと**

お知らせ
本機は、SD オーディオ規格に準拠した SD/SDHC メモリーカードの記録・再生に対応していますが、すべての SD/SDHC オーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。

プレイリストを編集する HDD SD

好きな曲を好きな順に集めたユーザープレイリストを作成できます。
また、ユーザープレイリスト以外でも、曲順などの編集ができるプレイリストがあります。

準備
1. SD の場合は、SD を入れる。(☞ 9、45 ページ)
2. セレクターを切り換える。
- HDD のとき： [▶/II HDD] → [■（停止）]
- SD のとき： [▶/II SD] → [■（停止）]
- D.port のとき： [▶/II D.port] → [■（停止）]

ユーザープレイリストを作る / 曲を追加する　ヒント 1

最大 99 曲まで追加できます。

1 登録したい曲が含まれるプレイリストの停止中に

機能選択 **押す**

選び / 決定
① HDD のみ、“ プレイリスト編集 ” を選び、決定
② “ プレイリストに曲を追加 ” を選び、決定

例）HDD

HDD プレイリスト編集
プレイリストに曲を追加
プレイリストから曲を除外
プレイリスト内で曲を移動

2 追加する曲を指定する
[▲、▼] で曲を選び、[⏮、⏭] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [サブメニュー] を押す。
② “ 全ての曲にマーク ” または “ 全てのマークを解除 ” を選び、決定。

HDD プレイリストに曲を追加
☐弦楽セレナーデ/L.W.…
☑優雅で感傷的なワルツ…
☐禿山の一夜/L.W.管弦…
☑ワルキューレの騎行/…
☐ダッタン人の踊り/L.…

3 決定 **押す**

4 選び / 決定 **追加先のプレイリストを選び、決定**

HDD プレイリストに曲を追加
ロココ調室内楽集
海外旅行記念
音楽の慰め
新規プレイリストに追加

- **既存のプレイリストを選んだとき**
  メッセージを表示して、元の画面に戻ります。
- **“ 新規プレイリストに追加 ” を選んだとき**
  手順❺に進んでください。

5 “ 新規プレイリストに追加 ” を選んだ場合のみ

① **プレイリスト名を入力する** (☞ 36 ページ)
- 名前と読みを変更してください。

HDD プレイリストに曲を追加	
名前	近代管弦楽曲
読み	キンダイカンゲンガッキョク
確定	

② 選び / 決定 **“ 確定 ” を選び、決定**

メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

プレイリストから曲を外す　ヒント 2

HDD ユーザープレイリスト、よく聴く曲から曲を除外できます。
SD ユーザープレイリストから曲を除外できます。

1 停止中に

機能選択 **押す**

選び / 決定
① HDD のみ、“ プレイリスト編集 ” を選び、決定
② “ プレイリストから曲を除外 ” を選び、決定

例）HDD

HDD プレイリスト編集
プレイリストに曲を追加
プレイリストから曲を除外
プレイリスト内で曲を移動

HDDの “ **よく聴く曲** ” から選んでいる場合は手順❸へ。

2 選び / 決定 **プレイリストを選び、決定**

HDD プレイリストから曲を除外
よく聴く曲
管弦楽曲ベスト
哲学的考察

3 外したい曲を指定する
[▲、▼] で曲を選び、[⏮、⏭] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [サブメニュー] を押す。
② “ 全ての曲にマーク ” または “ 全てのマークを解除 ” を選び、決定。

HDD プレイリストから曲を除外
☐弦楽セレナーデ/L.W.…
☑優雅で感傷的なワルツ…
☑禿山の一夜/L.W.管弦…
☐ワルキューレの騎行/…
☐ダッタン人の踊り/L.…

4 決定 **押す**

メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

プレイリストの曲順を変える　ヒント 2

HDD ユーザープレイリスト、マイベスト、アーティスト、アルバムの曲順が変更できます。
SD 各プレイリストで曲順の変更ができます。

1 編集したいプレイリストの停止中に

機能選択 **押す**

選び / 決定
① HDD のみ、“ プレイリスト編集 ” を選び、決定
② “ プレイリスト内で曲を移動 ” を選び、決定

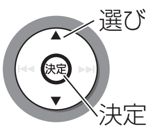
例）HDD

HDD プレイリスト編集
プレイリストに曲を追加
プレイリストから曲を除外
プレイリスト内で曲を移動
プレイリストの名前変更

2 [▲、▼] で移動したい曲を選び、[⏮、⏭] を押す
選んだ曲が移動可能な状態になります。

HDD プレイリスト内で曲を移動
✔パルティータ/長居夢洋
水をください/キーマ…
カヴァレリア・ルス…
ただ憧れを知る者の…

3 移動先を選び、決定



HDD プレイリスト内で曲を移動
水をください/キーマ…
✔パルティータ/長居夢洋
カヴァレリア・ルス…
ただ憧れを知る者の…

手順 ❷、❸ をくり返し、曲順を入れ換えます。

4 移動が終わったら **押す**



元の画面に戻ります。

プレイリストを解除する

曲を HDD や SD に残したまま、プレイリストを取り消します。

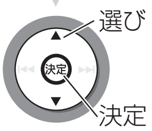
HDD ユーザープレイリストの解除ができます。

SD プレイリストの解除ができます。
● “**全てのプレイリスト**” 内のプレイリストは解除できません。

1 解除したいプレイリストの停止中に



押す

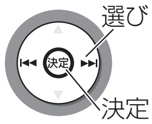


① **HDD** **のみ、“プレイリスト編集”を選び、決定**
② **“プレイリストの解除”を選び、決定**

例） **HDD**

HDD プレイリスト編集
プレイリストに曲を追加
プレイリストから曲を除外
プレイリスト内で曲を移動
プレイリストの名前変更
プレイリストの解除
マイベストから曲を除外

2 **“はい”を選び、決定**



プレイリストの解除
曲をHDDに残し
プレイリストを解除します。
いいですか？
はい　いいえ

元の画面に戻ります。

ヒント① **曲リスト画面からは下記方法で操作できます。**
選曲中の曲リスト画面で：
① [**サブメニュー**] を押す。
② [▲,▼] で “**曲をプレイリストに追加**”(**HDD**)/“**プレイリストに曲を追加**” (**SD**) を選び、[**決定**] を押す。
● 1 曲ずつの追加になります。

ヒント② **HDD の曲リスト画面からは下記方法で操作できます。**
選曲中の曲リスト画面で：
① [**サブメニュー**] を押す。
② [▲、▼] で “**曲をプレイリストから除外**” または “**曲をプレイリスト内で移動**” を選び、[**決定**] を押す。

プレイリスト名を変更する

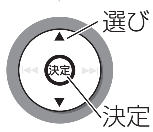
HDD ユーザープレイリスト、ラジオ 外部録音、アーティスト、アルバムのプレイリスト名を変更できます。(ヒント③)

SD ユーザープレイリストだけプレイリスト名を変更できます。
● 選曲メニューの “**ユーザープレイリスト**” から選んでください。

1 変更したいプレイリストの停止中に



押す



① **HDD** **のみ、“プレイリスト編集”を選び、決定**
② **“プレイリストの名前変更”を選び、決定**

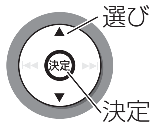
例） **HDD**

HDD プレイリスト編集
プレイリストに曲を追加
プレイリストから曲を除外
プレイリスト内で曲を移動
プレイリストの名前変更
プレイリストの解除
マイベストから曲を除外

2 **文字を入力する**（☞ 36 ページ）
● 名前と読みを変更してください。

HDD プレイリストの名前変更
名前　海外旅行記念
読み　カイガイリョコウキネン
確定

3 **“確定”を選び、決定**



元の画面に戻ります。

共通の操作
■ **一つ前の画面に戻る：**[**戻る**] を押す

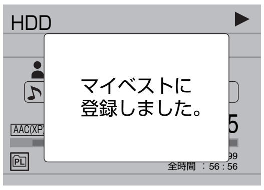
ヒント③ **アーティスト、アルバムのプレイリスト名変更**
HDD のアーティストやアルバムのプレイリストを選んでプレイリスト名の変更を行うと、アーティスト名やアルバム名の変更（☞ 35 ページ）になります。
“**アーティスト名を変更しますか？**” などのメッセージ画面で “**はい**” を選び、操作を進めてください。

マイベストに曲を登録する　HDD

簡単な操作で、お気に入りの曲をマイベストに登録できます。

登録したい曲の再生または停止中に

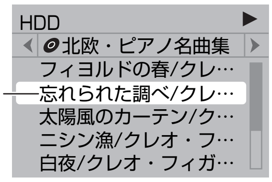
マイベスト［登録］　押す



メッセージを表示して、元の画面に戻ります。
- マイベストの一番最後に曲が追加されます。

■ **選曲中の画面から操作するには**
選曲中の曲リスト画面で、登録したい曲を選び、[**登録 マイベスト**] を押すと登録できます。（他の曲を再生中でも登録できます。）

曲リスト画面

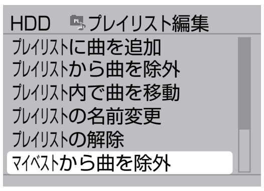


マイベストから曲を外す　HDD　ヒント1

1 停止中に

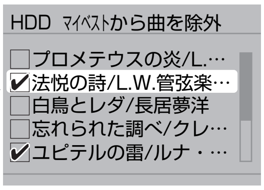
［機能選択］　押す

選び／決定
① “ プレイリスト編集 ” を選び、決定
② “ マイベストから曲を除外 ” を選び、決定



2 外したい曲を指定する
[▲、▼] で曲を選び、[|◀◀、▶▶|] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [**サブメニュー**] を押す。
② “ **全ての曲にマーク** ” または “ **全てのマークを解除** ” を選び、決定。



3 ［決定］　押す

メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

“ よく聴く曲 ” や “ 新曲 ” の履歴をクリアする　HDD

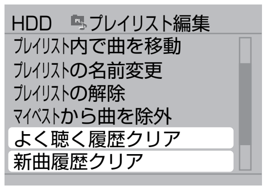
“ よく聴く曲 ” や “ 新曲 ” のプレイリストを新たに作り直すことができます。

1 停止中に

［機能選択］　押す

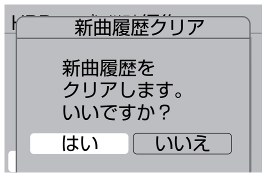
選び／決定　“ プレイリスト編集 ” を選び、決定

2 選び／決定　“ よく聴く履歴クリア ” または “ 新曲履歴クリア ” を選び、決定



3 選び／決定　“ はい ” を選び、決定

例）“ **新曲履歴クリア** ” を選んだとき



元の画面に戻ります。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

ヒント1 曲リスト画面からは下記方法で操作できます。
“ **マイベスト** ” からの曲リスト画面で：
① [**サブメニュー**] を押す。
② [▲、▼] で “ **曲をプレイリストから除外** ” を選び、[**決定**] を押す。

曲のタイトルなどを変更する HDD

準備 セレクターを HDD に切り換える。
[▶/❚❚ HDD] → [■（停止）]

曲名を変更する

1 タイトルを変更したい曲の停止中に

機能選択 押す

① “ 曲管理 ” を選び、決定
② “ 曲の名前変更 ” を選び、決定

HDD 曲管理
HDD情報
曲の情報表示
曲の名前変更
アーティスト名変更
アルバム名変更

2 文字を入力する
（☞ 36 ページ）
● 名前と読みを変更してください。

HDD 曲の名前変更
名前 アルプスの景観
読み アルプスノケイカン
確定

3 “ 確定 ” を選び、決定
元の画面に戻ります。

アーティスト名やアルバム名を変更する

複数の曲のアーティスト名やアルバム名を、まとめて変更できます。

1 タイトルを変更したい曲の停止中に

機能選択 押す

① “ 曲管理 ” を選び、決定
② “ アーティスト名変更 ” または “ アルバム名変更 ” を選び、決定

HDD 曲管理
HDD情報
曲の情報表示
曲の名前変更
アーティスト名変更
アルバム名変更
LPCM曲の分割・結合

2 タイトルを変更したい曲を指定する
[▲、▼] で曲を選び、[⏮、⏭] でチェックを付ける

例）アルバム名変更の場合

まとめてマークを付ける / 外す
① [サブメニュー] を押す。
② “ 全ての曲にマーク ” または “ 全てのマークを解除 ” を選び、決定。

HDD アルバム名変更
☑ Allegro Ma Non T…
☑ Intermezzo: Adagi…
☑ Alla Breve

3 決定 押す

4 文字を入力する
（☞ 36 ページ）
● 名前と読みを変更してください。

HDD アルバム名変更
名前 ピアノ協奏曲第3番
読み ピアノキョウソウキョクダイ3バン

● **アーティスト名を変更する場合、登録済みアーティスト名から選べます**
“ **名前** ” または “ **読み** ” にカーソルがあるときに：
① [**サブメニュー**] を押して、[**決定**] を押す。
② [⏮、⏭] で 50 音タブを切り換えて、[▲、▼] で名前を選び、[**決定**] を押す。

5 “ 確定 ” を選び、決定
元の画面に戻ります。

曲名、アルバム名、アーティスト名を自動入力する

録音済みの曲のタイトル情報を、Gracenote® データベースから検索し、取得できます。ラジオ、外部機器や Bluetooth® 接続機器から録音した曲に、タイトルを付けたいときに便利です。

1 タイトルを付けたい曲が含まれるプレイリストの停止中に

タイトル取得 押す

2 タイトルを付けたい曲を指定する
[▲、▼] で曲を選び、[⏮、⏭] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [サブメニュー] を押す。
② “ 全ての曲にマーク ” または “ 全てのマークを解除 ” を選び、決定。

HDD 曲タイトル取得
☑_トラック01/_不明な…
☑_トラック02/_不明な…
☑_トラック03/_不明な…
☑_トラック04/_不明な…
☑_トラック05/_不明な…

3 決定 押す
1 曲目の検索が始まります。

4 候補が表示されたら
① [⏮、⏭] でタイトルを選び、
② [▲、▼] で “ 確定 ” を選び、決定

HDD 曲タイトル取得
候補 1/12
Creo Fighanann
Accompany on th…
Foglia
確定
該当なし

● [▶/❚❚ HDD] で検索中の曲を聴くことができます。（一時停止も可能）
● どの候補にも当てはまらないときは、“ **該当なし** ” を選んでください。
● タイトルを決定すると、次の曲の検索が始まります。

5 手順❹をくり返し、他の曲を検索する
全曲の検索が終わると、元の画面に戻ります。

共通の操作
■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

文字入力のしかた

準備 **タイトル入力画面**（☞ 32、33、35 ページ）**にしたあと、文字を入力します。**
- 名前と読みを両方とも変更してください。

タイトル入力画面の例

HDD　曲の名前変更
名前 ［　　　］
読み ［　　　］

名前： かな、カナ、英字、数字と漢字が使えます。（かな、漢字は全角のみ）
- 入力した文字がプレイリスト名、曲名、アーティスト名やアルバム名として 1 曲表示画面やプレイリスト選択画面などに表示されます。

読み： 半角カナ、半角英字、半角数字が使えます。
“**名前**” 欄に連動して、自動的に入力される場合もあります。
- 本機では “**読み**” に入力されている文字で 50 音順にプレイリストや曲名などを並べます。「曲を探して聴く」（☞ 22 ページ）で、目的の曲が見つからない場合は、“**読み**” をご確認ください。（ヒント 1、2）

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

- ボタンを押すたびに文字が切り換わります。

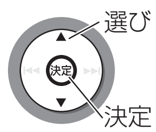
	かな カナ	英数 （英字、数字）
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	1
2 か ABC	かきくけこ	abcABC2
3 さ DEF	さしすせそ	defDEF3
4 た GHI	たちつてと っ	ghiGHI4
5 な JKL	なにぬねの	jklJKL5
6 は MNO	はひふへほ	mnoMNO6
7 ま PQRS	まみむめも	pqrsPQRS7
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	tuvTUV8
9 ら WXYZ	らりるれろ	wxyzWXYZ9
0 わ	わをん ゎ	0

入力できる文字数

曲名	HDD	59 文字※
アーティスト名	HDD	39 文字※
アルバム名	HDD	59 文字※
プレイリスト名	HDD　SD	59 文字

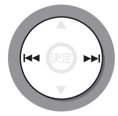
※ SD 転送時のお知らせ
SD カード内の曲情報には容量の制限があります。そのため、HDD に上記の入力できる最大文字数まで入力していると、アーティスト名の一部やアルバム名が SD へ転送されない場合があります。その場合は、曲名・アーティスト名・アルバム名の “**名前**” 欄に入力した文字数の合計を 75 文字以内にしてください。（☞ 35 ページ）

例）“旋律” の前に “憧れた” を付け加える。

1 

“**名前**” または “**読み**” **を選び、決定**

HDD　曲の名前変更
名前 ［旋律］
読み ［ｾﾝﾘﾂ］

2 

入力する位置にカーソルを合わせる
挿入位置の右の文字に合わせます。

HDD　曲の名前変更
名前 ［旋律］
読み ［ｾﾝﾘﾂ］

3 文字

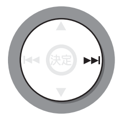
押して **文字の種類を選ぶ**
- 漢字を入力するときは、“**全角かな**” を選びます。

HDD　曲の名前変更
名前 ［旋律］
読み ［ｾﾝﾘﾂ］
確定
<全角かな>

4 

押して **文字を選ぶ**
- 選んだ文字が表示されます。

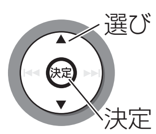
HDD　曲の名前変更
名前 ［あ律］
読み ［ｾﾝﾘﾂ］

5 

押す
- 次の文字を入力できる状態になります。
- 次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合は、この操作は不要です。

6 **手順❸～❺をくり返し、文字を入力する**

■ **ひらがなを漢字変換するとき**



① [▲、▼] を押して変換候補を選び、
② [**決定**] を押す。

HDD　曲の名前変更
名前 ［憧れた］
読み ［ｾﾝﾘﾂ］

▼

HDD　曲の名前変更
名前 ［憧れた旋律］
読み ［ｾﾝﾘﾂ］

必要に応じて①、②をくり返す。

■ **漢字変換しないとき：**［ **決定** ］を押す

7 決定

押す
- 入力した文字が確定します。

■ “**読み**” **を変更する**
① 手順❶で “**読み**” を選び、[**決定**] を押す。
② 手順❷～❼を行う。

その他の文字入力

■ 入力済みの文字を変更する

[|◀◀、▶▶|] を押して、変更する文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

- **文字を削除するときは：** [**消去**] を押す。
  名前欄で [**消去**] を押したままにすると、名前と読みをすべて削除できます。
- **文字を訂正するときは：** [**消去**] を押して文字を削除し、正しい文字を入力する。

■ 濁点などを入力する： [≧10] を数回押す。

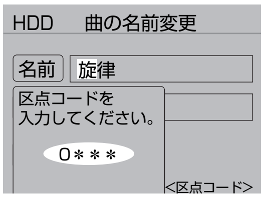
濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なかな（カナ）の後ろにだけ入力できます。

■ 記号を入力する

① [≧10] を押す。
入力可能な記号のリストが表示されます。
② [▲、▼、|◀◀、▶▶|] を押して記号を選び、[**決定**] を押す。
- ␣ は空白です。
- 文字の種類によって、入力できる記号が異なります。

■ 区点コードで入力する

① [**文字**] を押して "**区点コード**" を選ぶ。
② 数字ボタンで区点コード（☞ 81 ページ）を入力する。



■ 文字や空白を挿入する

[|◀◀、▶▶|] を押して、挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

- **文字を挿入するときは：** 新たに文字を入力する。
- **1 文字空けるときは：** [≧10] を押して空白（␣）を選ぶ。

■ 漢字変換の区切り位置を変える

- **のばす：** 変換中に [▶▶|] を押す。
- **ちぢめる：** 変換中に [|◀◀] を押す。

ヒント 1 読み入力について

漢字を含むタイトルが、"**曲名**" やアーティスト選択画面などで読み順どおりに並ばないときは、読みを訂正すると、正しい位置に並びます。

また、英字の名前に、カナの読みを入力することで、あいうえお順に並べることもできます。
例） 名前：Mozart
読み：モーツァルト…「も」の位置に表示。

ヒント 2 漢字非対応の SD オーディオプレーヤーをお使いの場合

読みを入力しておくと、漢字表示に対応していない SD 機器でもタイトルが表示できます。（読みをタイトルとして使用します）

曲を削除する HDD SD

不要になった曲を HDD、SD から消すことができます。消した曲は元に戻せませんので、よく確認してから行ってください。

準備 1. **SD の場合は、SD を入れる。**（☞ 9、45 ページ）
2. **セレクターを切り換える。**
- HDD のとき： [▶/❚❚ **HDD**] → [■（停止）]
- SD のとき： [▶/❚❚ **SD**] → [■（停止）]
- D.port のとき： [▶/❚❚ **D.port**] → [■（停止）]

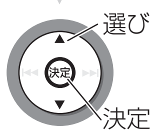
曲を選んで削除する

プレイリスト内の 1 曲または数曲を選んで削除できます。

1 削除したい曲が含まれるプレイリストの停止中に

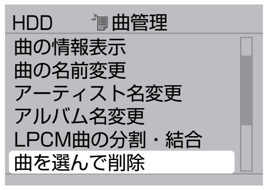


押す

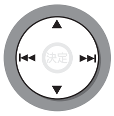


① **HDD のみ、"曲管理" を選び、決定**
② **"曲を選んで削除" を選び、決定**

例） HDD

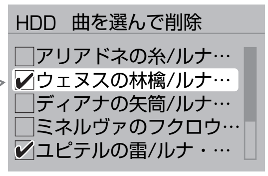


2



消したい曲を指定する
[▲、▼] で曲を選び、[|◀◀、▶▶|] でチェックを付ける

まとめてマークを付ける / 外す
① [**サブメニュー**] を押す。
② "**全ての曲にマーク**" または "**全てのマークを解除**" を選び、決定。

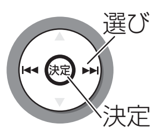


3

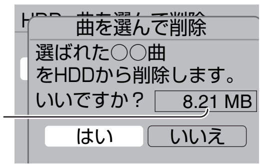


押す

4



"はい" を選び、決定



曲の容量

元の画面に戻ります。

■ **一つ前の画面に戻る：**[**戻る**] を押す

お知らせ

曲を削除すると、関連するプレイリストの内容も更新されます。

曲を削除する（つづき）

HDD 内の全内容を削除する　HDD

録音した録音データをすべて削除し、HDD をお買い上げ時の状態に戻します。

1 設定

押す
設定メニューが表示されます。

“ 保守 ” を選ぶ

2 選び　決定

“HDD 全曲削除 ” を選び、決定

3 選び　決定

① “ はい ” を選び、決定

HDD全曲削除
HDD内の全曲を削除します。
いいですか？　32.26 GB
はい　いいえ

全曲の容量

② “ はい ” を選び、決定

削除が終わるとメッセージを表示します。

■ **メッセージを消すには：［戻る］**を押す

■ **手順❷のあと、セレクターが HDD に切り換わることを知らせるメッセージが表示されたら**
→ “ **はい** ” を選び、［**決定**］を押す。

SD から 1 曲ずつ / まとめて削除する　SD　ヒント 1

SD から 1 曲ずつ、またはプレイリスト内 /SD 内の全曲を削除できます。

1 削除したい曲やプレイリストの停止中に

機能選択

押す

消しかたを選び、決定

選び　決定

SD　機能選択
曲を削除
プレイリストの曲全て削除
SD内全曲を削除

- **曲を削除：** 現在の 1 曲だけを削除
- **プレイリストの曲全て削除：** 現在のプレイリスト内の全曲を削除
- **SD 内全曲を削除：**SD 内のすべての曲を削除

2 選び　決定

“ はい ” を選び、決定
SD 内全曲を削除する場合は、もう一度確認画面が表示されるので、“**はい** ” を選び、決定

例）“ **曲を削除** ” の場合

曲を削除
○○○○
曲をSDから削除します。
いいですか？　9.24 MB
はい　いいえ

曲の容量

削除が終わると、元の画面に戻ります。

SD を初期化する　SD

SD の全内容を消去し、新たに記録できる状態にします。初期化すると、楽曲データだけでなく、SD 内の全データが消去されます。

1 機能選択

押す

“ カード初期化 ” を選び、決定

選び　決定

SD　機能選択
プレイリストから曲を除外
プレイリスト内で曲を移動
プレイリストの名前変更
プレイリストの解除
SD内全曲を削除
カード初期化

2 選び　決定

① “ はい ” を選び、決定
② “ はい ” を選び、決定

“ 初期化中です。ふたを開けないでください。” と表示されている間は、SD 挿入部のふたを開けないでください。カードが使えなくなることがあります。

- 初期化が終了すると、メッセージを表示します。
  →［**戻る**］を押す。
  （“ **カードに曲がありません。**” と表示）

セレクターが HDD のときに、SD の曲を削除するには

転送前に SD の空き容量を増やしたいときなどに便利です。
セレクターが HDD で SD が入っているときに：
①［**機能選択**］を押す。
②［▲、▼］で “**SD 転送** ” を選び、［**決定**］を押す。
③［▲、▼］で “**SD の曲を削除** ” を選び、［**決定**］を押す。
④［▲、▼］でプレイリストを選び、［**決定**］を押す。
⑤［▲、▼］と［|◀◀、▶▶|］で消したい曲を指定し、［**決定**］を押す。
⑥［|◀◀、▶▶|］で “ **はい** ” を選び、決定。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：［戻る］**を押す

ヒント 1　選曲中の画面からは下記方法で操作できます。
選曲中の曲リストまたはプレイリスト選択画面で：
①［**サブメニュー**］を押す。
②［▲、▼］で “ **曲を削除** ” または “ **プレイリストの曲全て削除** ” を選び、［**決定**］を押す。
ただし、“**SD 内全曲を削除** ” は選べません。

お知らせ

- 曲を削除すると、関連するプレイリストの内容も更新されます。
- 本機で SD カードを初期化した場合、他の機器で使えないことがあります。
- SD カードの種類によっては、初期化に時間がかかることがあります。

HDD の曲を分ける、つなぐ HDD

LPCM で録音した曲は、1 曲を 2 曲に分割したり、2 曲を 1 曲にまとめることができます。

準備 **セレクターを HDD に切り換える。**
[▶/❚❚ HDD] → [■(停止)]

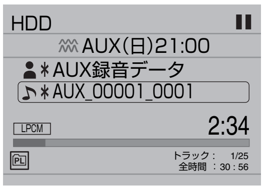
曲を分ける

LPCM で録音された曲のみ分割できます。
アルバムまたはラジオ 外部録音のプレイリストから、分割したい曲を選んでください。

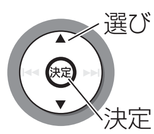
1 **アルバムまたはラジオ 外部録音のプレイリストから曲を再生し、分けたいおおよその位置で一時停止して、**



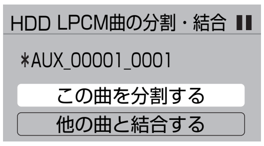
押す



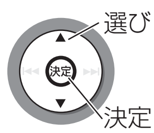
2



① " 曲管理 " を選び、決定
② "LPCM 曲の分割・結合 " を選び、決定
③ " この曲を分割する " を選び、決定



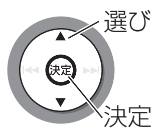
3



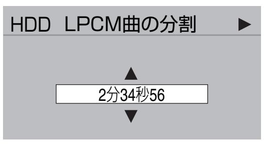
" 分割点 " を選び、決定



4

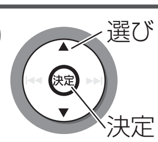


分割点を微調整し、決定



分割点からの数秒間が、くり返し再生されます。

5



" 分割する " を選び、決定



- 分けた前の曲は「元の曲名 _1」、分けた後ろの曲は「元の曲名 _2」のような曲名になります。

メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

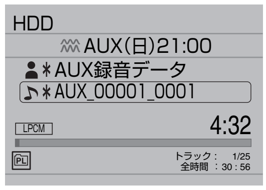
曲をつなぐ

LPCM で録音された曲のみ結合できます。
アルバムまたはラジオ 外部録音のプレイリストから、結合したい曲を選んでください。

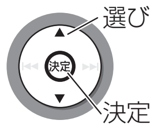
1 **アルバムまたはラジオ 外部録音から、結合したい 2 曲が含まれるプレイリストを再生し、タイトルとして残したい曲を停止状態にして、**



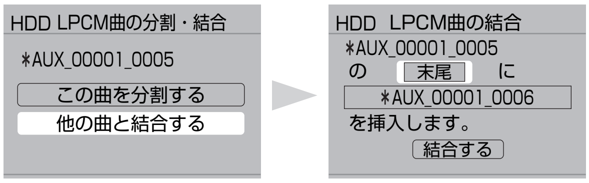
押す



2



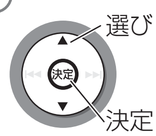
① " 曲管理 " を選び、決定
② "LPCM 曲の分割・結合 " を選び、決定
③ " 他の曲と結合する " を選び、決定



つなぐ曲の組み合わせかたが表示されます。
- **この組み合わせでよいとき：手順❹へ**
- **組み合わせを変えるとき：手順❸へ**

3 **つなぐ曲の組み合わせを変更する場合**

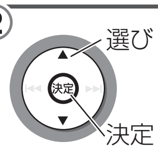
①



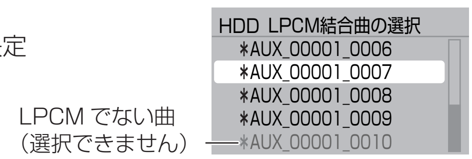
① 2 行目の " 末尾 " を選び、決定
② " 末尾 " または " 先頭 " を選び、決定



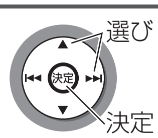
②



① 3 行目の曲名を選び、決定
② つなぐ曲を選び、決定



4



① " 結合する " を選び、決定
② " はい " を選び、決定

メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

共通の操作
- **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
- **途中で止めるには：** [■(停止)] を押す

いろいろな編集 HDD

準備 セレクターを HDD に切り換える。
[▶/❙❙ HDD] → [■(停止)]

LPCM の容量を圧縮する

LPCM で録音した曲を AAC に変換して、HDD の空き容量を増やすことができます。容量の圧縮はプレイリスト単位で行います。

1 LPCM 曲が含まれるプレイリストの停止中に

[機能選択] **押す**

選び／決定

①" 曲管理 " を選び、決定
②"LPCM 曲の容量圧縮 " を選び、決定

HDD 曲管理
アルバム名変更
LPCM曲の分割・結合
曲を選んで削除
変換・解析を実行
LPCM曲の容量圧縮
曲の印象情報を設定

2 選び／決定 **①" はい " を選び、決定**

LPCM曲の容量圧縮
○○○○
に含まれる1曲
のLPCMファイルを全てAAC
ファイルに置き換えますか？
はい　いいえ

②" はい " を選び、決定

● **" このプレイリストには LPCM 曲がありません。" と表示されたら**
他のプレイリストを選んでやり直してください。

3 選び／決定 **変換後のデータ形式を選び、決定**

HDD LPCM曲の容量圧縮
AAC(XP)に変換する
AAC(SP)に変換する
AAC(LP)に変換する

LPCM 曲の容量圧縮が始まります。

HDD LPCM曲の容量圧縮
変換・解析しています。
25%

▶

HDD HDD情報
システム領域： ＊＊GB
使用容量： ＊＊GB
空き容量： ＊＊GB
使用率： ＊＊%
確認

変換中は進行状況が表示され、終了すると確認画面になります。

4 [決定] **押す**

元の画面に戻ります。

■ **途中で止めるには：** [■（停止）] を押す
中断した変換･解析処理は、電源「切」時などに行われます。

変換・解析をすぐに実行する

通常は電源「切」時に行われる AAC 変換や印象選曲の曲解析（☞ 8ページ）を、ただちに実行します。

1 [機能選択] **押す**

選び／決定

①" 曲管理 " を選び、決定
②" 変換・解析を実行 " を選び、決定

2 選び／決定 **変換対象を選び、決定**

HDD 変換・解析の対象
HDD内全ての対象曲
プレイリストの対象曲

● **" 変換・解析対象が見つかりません。" と表示されたら**
HDD（またはプレイリスト）内の曲は、すべて変換・解析が終了しています。

3 選び／決定 **" はい " を選び、決定**

● 変換・解析が始まります。（終了すると元の画面に戻ります）

■ **途中で止めるには：** [■（停止）] を押す

お知らせ
● 変換・解析中は、再生、録音などの操作はできません。
● AAC 変換したあとは、LPCM に戻せません。

曲を印象選曲の候補から外す

印象選曲に振り分けられた曲が、印象にマッチしていないとき、曲を印象選曲から取り除くことができます。

1 印象選曲の候補から外したい曲の停止中に

[機能選択] **押す**

選び／決定

①" 曲管理 " を選び、決定
②" 曲の印象情報を設定 " を選び、決定

2 選び／決定 **" 使用しない " を選び、決定**

HDD 印象情報設定
この曲の印象情報を
使用しますか？
使用する
使用しない

確認画面が表示されます。
[**決定**] を押すと元の画面に戻ります。

■ **曲を印象選曲の候補に戻すには**
手順❷で " **使用する** " を選ぶ。

● **" この曲の印象情報は変更できません。" と表示されたら**
選んだ曲は、印象選曲のどのプレイリストにも振り分けられていないので、この曲の印象情報設定はできません。

共通の操作
■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

D-snap や携帯電話をワイヤレスで楽しむ

ワイヤレス機能（Bluetooth® 機能）の使用について

Bluetooth（ブルートゥース）とは...
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。
69 ページ「Bluetooth® 使用上のお願い」もご覧ください。

推奨する Bluetooth® 対応機器：
- D-snap（SD- オーディオプレーヤー）「SV-SD950N」
- 携帯電話 「FOMA® P904i」 「FOMA® P903iX」 「FOMA® P903iTV」 「FOMA® P903i」 「FOMA® P902iS」 「FOMA® P902i」

最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

携帯電話で再生している音楽を本機で聴くには：
携帯電話が下記に対応している必要があります。
- Bluetooth® バージョン
  - ・Bluetooth® 標準規格 Ver.1.1、1.2 または 2.0+EDR
- Bluetooth® プロファイル
  - ・Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - ・Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)

携帯電話にはオーディオ受信機能がありません。したがって、本機で再生している音楽を携帯電話で聴くことはできません。
2007 年 7 月現在のものです。

- 携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法･表示･動作が異なる場合があります。
- 本機と携帯電話が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。また、接続機器をポケットやかばんに入れた状態で本機に Bluetooth® 接続する場合、ポケットやかばんの位置、接続機器の向きによっては、音が途切れたり雑音が入る場合があります。
- 本機は SCMS-T 方式で著作権保護されている A2DP の受信に対応しています。（携帯電話「FOMA® P903iTV」とオーディオ受信してワンセグ放送の音声を本機で聴くことができます。）

Bluetooth® 機能を使った楽しみ方

本機では、Bluetooth® 機能を使って次の楽しみかたができます。
- 本書では D-snap「SV-SD950N」をワイヤレス接続してお楽しみいただくのを例として説明しています。

オーディオ受信

D-snap、携帯電話などで再生している音楽を ...
- 本機のスピーカーから出力させることができます。
- 再生や停止など、基本的な操作を本機側で行えます。
- HDDに録音することができます。

オーディオ送信

本機で再生している音楽を ...
- D-snap へ送信し、イヤホンなどで聴くことができます。
- D-snap 側で、音量などの調整ができます。

オーディオ受信 / オーディオ送信するためには接続機器との " **機器登録** " が必要になります。

D-snap「SV-SD950N」をご使用の場合

☞ 右記「SV-SD950N を本機に接続して機器登録する」

携帯電話などの Bluetooth® 対応機器をご使用の場合

☞ 42 ページ「携帯電話などを機器登録する」

- 機器登録できるのは、自動と手動を合わせて最大 6 件です。

SV-SD950N を本機に接続して機器登録する

D-snap「SV-SD950N」を本機の D-snap port 差し込み部に接続して、自動でオーディオ受信設定 / オーディオ送信設定ができます。（自動機器登録機能）

オーディオ受信設定： ワイヤレスで接続した機器の音声を本機で聴いたり、HDD に録音するための機器登録。
オーディオ送信設定： ワイヤレスで接続した機器で、本機の音声を再生するための機器登録。

- 最大登録件数は、オーディオ受信設定 / オーディオ送信設定ともに 6 件です。

1 電源 [Ó/I] 押して **電源を入れる**

2 **D-snap を本機の D-snap port 差し込み部に接続する**（☞ 45 ページ）

接続後、自動で機器登録を行います。

初めて機器登録した場合は、下記操作で、正しく登録されているかを確認してください。

① [**設定**] を押す。
② [|◀◀、▶▶|] で "Bluetooth" を選ぶ。
③ [▲、▼] で " **オーディオ受信設定** " または " **オーディオ送信設定** " を選び、[**決定**] を押す。
- セレクターが Bluetooth に切り換わることを知らせるメッセージが表示された場合は、" **はい** " を選び、[**決定**] を押す。

④ [▲、▼] で " **登録機器情報** " を選び、[**決定**] を押す。
- 登録機器の一覧が表示されます。

登録機器情報
SV-SD950N

- 設定メニューを消すには、[**設定**] を数回押す。

■ 自動で機器登録できなかった場合は

42ページ「携帯電話などを機器登録する」の操作で、手動で登録してください。

お知らせ
- 自動機器登録で最大登録数を超えて登録すると、登録機器情報（☞ 44 ページ）の一覧で、一番下にある機器が削除されます。
- オーディオ受信設定 / オーディオ送信設定で、すでに同名の登録機器があった場合は、同じ名前で登録されます。登録した機器の名前は変更できます。（☞ 44 ページ）
- 登録済みの機器を登録した場合は、上書きされます。機器名を変更（☞ 44 ページ）していた場合は、名前も上書きされます。

携帯電話などを機器登録する

準備 1　オーディオ受信設定を行う

ワイヤレスで接続した機器の音声を本機で聴いたり、HDD に録音するための機器登録をします。

● 最大 6 件まで登録できます。

1　設定　押して **設定メニューを表示させる**

押して **“Bluetooth” を選ぶ**

システム設定
ネットワーク　Bluetooth
オーディオ受信設定
オーディオ送信設定
通信品質設定
自局情報

2　選び／決定

① **“ オーディオ受信設定 ” を選び、決定**（ヒント 1）

② **“ 機器登録待ち ” を選び、決定**

機器登録待ち状態になります。

機器登録待ち
接続機器側で登録操作してください
機器名
SC-SX950

3　**携帯電話などの接続機器で以下の機器登録操作を 5分以内 で行う**

① **機器名**（SC-SX950）**を選ぶ**

② **パスキーに数字の「0000」※を入力する**

● 上記以外にも設定が必要な場合があります。くわしくは接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

※ 本機（SC-SX950）のパスキーです。

● 5 分経過すると、設定は解除されます。

4　**接続機器で登録が完了すると、本機に確認のメッセージが表示されます。**

決定　**押す**

機器登録が完了します。

ヒント 1　セレクターが Bluetooth 以外のときは

セレクターが Bluetooth に切り換わることを知らせるメッセージが表示されます。

→ “ **はい** ” を選び、［**決定**］を押す。

パスキーとは

Bluetooth® 対応機器間で、相互に機器を認識させるために使用する番号です。各メーカーにより名称が異なります。

お知らせ

● オーディオ受信設定 / オーディオ送信設定で最大登録数を超えて登録しようとするとメッセージが表示されます。新しく機器登録する場合は必要件数分を削除してください。（☞ 44ページ）

● オーディオ受信設定 / オーディオ送信設定で、すでに同名の登録機器があった場合は、同じ名前で登録されます。登録した機器の名前は変更できます。（☞ 44 ページ）

● 登録済みの機器を登録した場合は、上書きされます。機器名を変更（☞ 44 ページ）していた場合は、名前も上書きされます。

● Bluetooth® 接続中は機器登録できません。

準備 2　オーディオ送信設定を行う

ワイヤレスで接続した機器で、本機の音声を再生するための機器登録をします。

● 最大 6 件まで登録できます。

1　**Bluetooth® のオーディオ受信対応機器で、本機からの受信待機状態にする**

● くわしくは接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

2　設定　押して **設定メニューを表示させる**

押して **“Bluetooth” を選ぶ**

3　選び／決定

① **“ オーディオ送信設定 ” を選び、決定**（ヒント 1）

② **“ 機器登録 ” を選び、決定**

本機周辺の Bluetooth® 受信待機状態の機器の検索を開始します。

● “ **機器検索中** ” が点滅表示されます。

● 受信待機状態の機器を検出するたびに、検出した件数を表示します。

機器検索中
機器検索中
1件検出

● 検索が終了すると、検出した機器名の一覧が表示されます。

検出機器一覧
SV-SD950N

■ **途中で止めるには**：［**戻る**］を押す

4　選び／決定

① **登録したい機器を選び、決定**

② **数字ボタンで接続機器のパスキーを入力する**

パスキー
接続機器のパスキーを入力してください。

③ **［ 決定 ］を押す**

● パスキーを間違えて入力した場合は、機器名の一覧に戻ります。

5　**本機に確認のメッセージが表示されます。**

決定　**押す**

機器登録が完了します。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る**：［ **戻る** ］を押す

■ **設定メニューを消す**：［ **設定** ］を数回押す

登録した機器の音声を本機で聴く

オーディオ受信設定（☞ 41、42 ページ）で登録した機器を再生します。

1 [Bluetooth ▶/II] 押す

"受信開始"を選び、決定

選び／決定

Bluetooth	
再生する機器	SV-SD950N
	受信開始
ヒント①	接続機器を変更
受信を取りやめる	キャンセル

● "受信待機中"が表示されます。

2 SV-SD950N などの接続機器でオーディオ送信モードにした後、再生を始める

● くわしくは接続機器の取扱説明書をご参照ください。
● 本機の Bluetooth ランプが点灯します。
● 接続した機器の入力レベルが低い場合は、調整してください。（☞ 52 ページ「入力レベルを調整する」）

本機で使える機能

機能	操作	機能	操作
停止する	[■]	音量を調節する	[音量 ＋/－]
一時停止する	[Bluetooth ▶/II] ● 再開するにはもう一度押す	音を消す	[消音] ☞ 61 ページ
曲を飛ばす（スキップ）	[◀◀ 決定 ▶▶]	音質 / 音場を変える	[サウンド] [リマスター] ☞ 60 ページ

■ **受信を止める：**セレクターを Bluetooth 以外にする
"**オーディオ受信を切断しました**" と表示されます。
● 接続機器で Bluetooth® 送信を中止しても受信を止めることができます。接続機器の取扱説明書を参照ください。

■ **接続機器で Bluetooth® 送信した場合**

本機の "受信モード" の設定により、再生する状態が変わります。
☞ 44 ページ「Bluetooth® 信号受信時の本機の状態を設定する」

本機の音声を SV-SD950N で聴く

オーディオ送信設定（☞ 41、42 ページ）で登録した機器で、本機の音声を再生します。

1 SV-SD950N を Bluetooth® 受信待機状態にする

2 [Bluetooth 送信] 押す

"送信開始"を選び、決定

選び／決定

Bluetooth送信	
再生させる機器	SV-SD950N
	送信開始
ヒント①	接続機器を変更
送信を取りやめる	キャンセル

Bluetooth® 送信を始めます。
● 本機の Bluetooth ランプが点滅します。

3 ① 本機側で、再生する音源を選ぶ
② SV-SD950N で操作する

■ **送信を止める：**[送信 Bluetooth] を押す
確認画面が表示されますので、"**はい**" を選び、決定してください。

ヒント① 接続機器を変更する
① [▲,▼] で、"**接続機器を変更**" を選び、[**決定**] を押す。
② [▲、▼] で接続する機器名を選び、[**決定**] を押す。

登録した機器の音声を HDD に録音する

準備 1. セレクターを Bluetooth に切り換える。
[▶/II Bluetooth] を押す
2. 録音モードを設定する。（☞ 17 ページ）

1 [機能選択] 押す

① "トラック分割"を選び決定
② 曲の分けかたを選び、決定

選び／決定

Bluetooth 録音時のトラック分割
オート（5分）
オート（10分）
オート（シンクロ）
マニュアル

● **オート（5 分）：** 5 分おきに 1 曲として分割。
● **オート（10 分）：** 10 分おきに 1 曲として分割。
● **オート（シンクロ）：**
曲間の無音部を検出して、自動的に曲を分割します。接続した機器を再生すると自動的に録音を開始します。無音部が約 3 秒以上続くと一時停止し、音の再開で録音も再開します。
● **マニュアル：** 自動では分割しない。
（ただし、60 分以上連続して録音すると、自動的に曲が分割されます。）

2 [戻る] 押す

3 本機を Bluetooth® 受信待機状態にする
（☞ 左記「登録した機器の音声を本機で聴く」）

4 [HDD録音 ●] 押す

● **オート（5 分 /10 分)、マニュアルでは**：録音が始まります。
● **オート（シンクロ）では**：録音待機状態になります。

5 SV-SD950N などの接続機器で再生を始める

● オート（シンクロ）では、音の出始めから録音が始まります。

■ **入力レベル、シンクロレベルの調整について**
☞ 52 ページ「アナログ信号の再生・録音について」

本機で使える機能

機能	操作	機能	操作
停止する	[■]	曲を飛ばす（スキップ）（本機と接続機器の一時停止時）	[◀◀ 決定 ▶▶]
接続機器を一時停止する	[Bluetooth ▶/II] ● 再開するにはもう一度押す	録音を一時停止する	[HDD録音 ●] ● 再開するにはもう一度押す

録音した内容を聴く

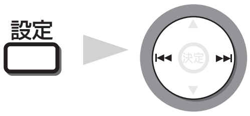
● **すぐに聴く場合** → [▶/II HDD] を押す
● **プレイリストから探す場合**
選曲メニューの "**曲を探す**" → "**ラジオ 外部録音**" から探します。（☞ 22 ページ）
52 ページ「ラジオ、外部機器、Bluetooth® の録音後のタイトルの付きかた」をご参考に、目的の曲を探してください。

その他の設定

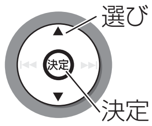
Bluetooth® 機能には、下記の設定があります。

■ **設定メニューの基本操作**（Bluetooth® 接続中は操作できません。送受信を切断してください。☞ 43 ページ）

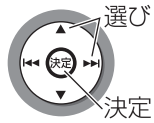
1 設定メニューに入り、“Bluetooth” を選ぶ



2 項目を選び、決定する



3 項目を選び、決定する



■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **設定メニューを消す：** [**設定**] を数回押す

設定	手順 2	手順 3	画面
登録した機器の情報を見る 本機に登録した機器の名前とアドレスを確認できます。	“**オーディオ受信設定**” または “**オーディオ送信設定**” を選び、決定	① “**登録機器情報**” を選び、決定 ② 確認したい機器を選び、決定	登録機器情報 機器名 SV-SD950N 機器アドレス 00:0X:XX:XX:XX:XX
登録した機器の名前を変更する 本機に登録した機器の名前を変更できます。 ● 登録機器名は、新しく登録した順に並んでいます。（ヒント1）		① “**登録機器名変更**” を選び、決定 ② 変更する機器を選び、決定 ③ 文字を入力する（☞ 36ページ）（ヒント2） ④ [**決定**] を押す	登録機器名変更 SV-SD950N 機器名を入力してください <半角英数>
登録した機器を削除する 本機に登録した機器を、本機の設定から削除します。		① “**登録機器削除**” を選び、決定 ② 削除する機器を選び、決定 ● 確認画面が表示されます。 ③ “**はい**” を選び、決定	登録機器削除 SV-SD950N P903i
Bluetooth® 信号受信時の本機の状態を設定する 本機の電源「切」時（電源オフモード設定が “**通常モード**” の場合）または Bluetooth 以外のセレクター時に、Bluetooth® 信号を受信した場合の本機の動作設定をします。	“**オーディオ受信設定**” を選び、決定	① “**受信モード**” を選び、決定 ② “**常時待機モード**” または “**受信制限モード**” を選び、決定 **常時待機モード：** ·電源「切」時、Bluetooth® 信号を受信すると、自動的に電源が入り、セレクターが Bluetooth になります。·電源「入」時、Bluetooth® 信号を受信すると、セレクターが自動的に Bluetooth に切り換わります。 **受信制限モード：** セレクターが Bluetooth の場合にのみ、信号の受信を開始します。	受信モード 常時待機モード 受信制限モード
通信時の品質を設定する 音質または通信のどちらを重視するかを設定します。	“**通信品質設定**” を選び、決定	“**音質重視**” または “**通信品質重視**” を選び、決定 **音質重視：** Bluetooth® 通信中の音質を重視します。 **通信品質重視：** Bluetooth® 通信中の通信状態の安定性を重視します。通信が途切れにくくなります。	通信品質設定 音質重視 通信品質重視
本機の情報を見る 本機の名前、アドレスと対応サービスを確認できます。	“**自局情報**” を選び、決定		自局情報 機器名 SC-SX950 機器アドレス 00:0X:XX:XX:XX:XX 対応サービス オーディオ送信/受信

ヒント 1 同じ機種を 2 台以上登録した場合

同じ名前で登録されます。登録後、区別するためにも名前を変更してください。

ヒント 2 “この機器名は既に登録されています” と表示されたら

同名の登録済み機器があります。違う名前にしてください。

お知らせ

接続機器側の設定が通信品質重視の場合、本機の通信品質設定を “**音質重視**” にしても、“**通信品質重視**” の動作になります。

D-snap を本機で楽しむ

D-snap port 対応の SD オーディオプレーヤーを本機に D-snap port 接続することで、楽しみかたが広がります。
- お持ちの D-snap port 対応プレーヤーによって、使える機能が異なります。(2007 年 7 月現在。下表を参照ください。)
- D-snap port 対応の SD オーディオプレーヤーの取扱説明書もあわせてお読みください。

使える機能	D-snap (D-snap port 対応の SD オーディオプレーヤー)		
	SV-SD950N (2007 年 9 月発売予定)	SV-SD850N	SV-SD800N SV-SD400V
充電	○	○	○
続き再生	○	○	○
ドッキング転送	○	—	—

充電
D-snap を本機に D-snap port 接続することで充電できます。

続き再生
D-snap で聴いていた曲を、本機に接続した後も引き続き聴くことができます。
- 設定や再生モードによっては、本機で再生できないものもあります。(マーク登録など)

ドッキング転送
本機から直接 SV-SD950N 内の SD カードへ録音データを転送できます。

D-snap を接続する

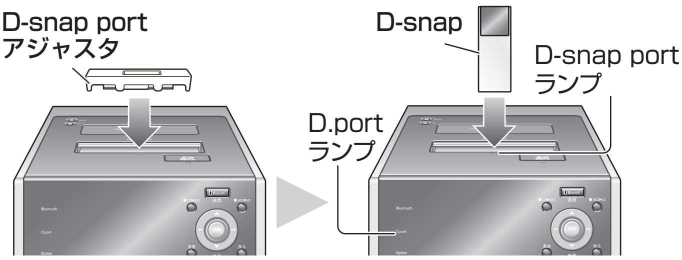
- D-snap 側の電源を切った状態で接続してください。

1. **本機上部の D-snap port ふたを開ける**
   - 突起部を奥に押す。



2. ① **D-snap に付属しているアジャスタ※を必ず取り付ける**
   - 溝を手前に向けて、"カチッ" と鳴るまで押し込む。
   ※ D-snap の種類によって、付属アジャスタの形状は異なります。

   ② **D-snap を接続する**
   - プレーヤーを差し込み部に合わせて、まっすぐに奥まで装着させる。



- 接続すると D.port ランプが点灯します。
- アジャスタを取り外すときは、アジャスタに指を入れて、手前に引いて持ち上げてください。
- D-snap を接続した後、無理に力を入れて動かさないでください。

D-snap を本機で充電する

本機に接続すると**自動的に**充電が始まります。
- 本機の電源が入っていてもいなくても、D-snap の充電が行われます。
  本機の電源「入」時は、D.port 以外のセレクターにすると充電できます。
- 充電が完了したかどうかは D-snap 側で確認できます。
- iPod 充電と同時に、D-snap も充電できます。

お願い
- 充電完了後、D-snap を長期間使用しないときは、D-snap port 差し込み部から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。
- Option port 差し込み部(奥側)には接続しないでください。

D-snap に入っている曲をすぐに本機で聴く場合は、46 ページ「SV-SD950N を本機で聴く」をご覧ください。

SV-SD950N へドッキング転送する

準備
1. **SV-SD950N の設定を「SD オーディオ」モードにし、本機に接続する。**
   - モードの操作については、SD オーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
2. **セレクターを HDD に切り換える。**
   [▶/❚❚ HDD] → [■ (停止)]
3. **転送先を指定する。**(☞ 26 ページ)

転送したい曲やプレイリストの停止中に

SD転送 [●] **押す**
転送が始まります。



- 変換・解析が終わっていない曲は、転送準備終了後に転送を始めます。
- D-snap port ランプが点滅します。
- "● **SD 転送**" の表示が消えたら転送終了です。

■ **プレイリストや曲を指定して転送するには**

SD へのいろいろな転送	☞ 26 ページ
SD カードごとにテーマを決めて転送する	☞ 28 ページ

新曲自動転送機能について

SV-SD950N を本機に接続したときに、HDD 内の新曲プレイリストを自動で転送する機能です。

■ **自動転送するには**
接続時、本機に "**新曲自動転送を始めます。転送後は HDD セレクタになります。**" と表示されます。
→ "**はい**" を選び、[**決定**] を押す。
- 転送後は、セレクターが HDD に切り換わります。
- 転送しない場合は "**キャンセル**" を選んでください。
  (選択画面で約 10 秒経過しても、自動でキャンセルされます。)

■ **新曲自動転送機能を使いたくない場合は**
セレクターが D.port のときに：
① [**機能選択**] を押す。
② [▲,▼] で "**新曲自動転送設定**" を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲、▼] で "**無効**" を選び、[**決定**] を押す。
- 新曲自動転送機能を使う場合は "**有効**" を選ぶ。

お知らせ
新曲自動転送の場合、自動作成するプレイリストの設定 (☞ 27 ページ) を "**有効**" にしても、プレイリストは作成されません。

お願い
D-snap port ランプの点滅中 (転送 / 編集中) は D-snap を抜かないでください。SD カードに記録できません。また、SD カード破損の原因になります。
- D-snap は停止中に取り外してください。
- SD カードの入れ換えは、D-snap を取り外してから行ってください。

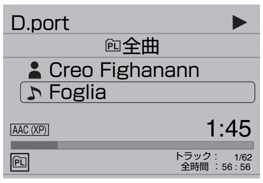
お知らせ
- D-snap port 差し込み部に接続中は、D-snap 側のボタン操作はできません。
- Bluetooth® 接続中の状態で、D-snap port 差し込み部に接続すると、Bluetooth® 接続は切断されます。

SV-SD950N を本機で聴く

準備 SV-SD950N の設定を「SD オーディオ」モードにし、本機に接続する。

D.port ►/II

押す
再生が始まります。



- D-snap port ランプが点灯します。
- SV-SD950N で曲を途中まで聴いていた場合は、その続きから再生します。（続き再生機能）

■ もっと使いこなすには ...

SD の曲を探す	☞ 29 ページ
SD のいろいろな再生	☞ 30 ページ
プレイリストを編集する	☞ 32 ページ
曲を削除する	☞ 37 ページ
音質 / 音場を変える	☞ 60 ページ
便利な機能	☞ 61 ページ

- SV-SD950N が「録音ファイル再生」モードの場合は、下記と同じ再生・操作になります。

SV-SD850N/SV-SD800N/SV-SD400V を本機で聴く

D.port ►/II

押す
再生が始まります。



- D-snap で曲を途中まで聴いていた場合は、その続きから再生します。（続き再生機能）

本機で使える機能（D-snap port 対応プレーヤー共通）

機能	操作	機能	操作
停止する	■	音量を調節する	＋ 音量 −
一時停止する※	D.port ►/II ● 再開するにはもう一度押す	音を消す	消音 ☞ 61 ページ
曲を飛ばす（スキップ）	⏮ 決定 ⏭	音質 / 音場を変える	サウンド　リ.マスター ☞ 60 ページ
早送り / 早戻しする（サーチ）	◀◀　▶▶		

※ SV-SD950N で「SD オーディオ」モードのときのみ

続き再生機能について

- D-snap で聴いていた曲の続きを、本機に接続したあとも引き続き聴くことができます。
- 本機で聴いていた曲の続きを、D-snap を本機から取り外したあとも、D-snap で引き続き聴くことができます。

続き再生時の再生モードは

- D-snap 側の再生モードによっては、本機で続き再生できないものもあります。（マーク登録など）
- 本機のランダム再生モードは、D-snap 側で続き再生はされません。

本体ボタンで操作する場合

D-snap を接続した場合、本体の [►/II D.port・SD] では、D.port 側を再生します。本機側の SD を操作する場合は、リモコンの [►/II SD] を押して、セレクターを SD に切り換えてください。

iPod を本機で楽しむ

Option port 差し込み部に別売の iPod 用ユニバーサルドック「SH-PD9」を取り付け、iPod※を接続すると、本機のボタン操作で iPod に記録している曲の再生と録音ができます。
また、iPod を充電することができます。

- iPod 用ユニバーサルドック「SH-PD9」の取扱説明書もお読みください。
- iPod に付属されている説明書などもお読みください。

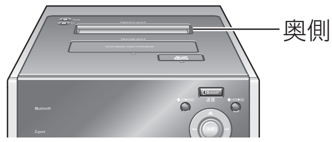
※ 対応機種については、「SH-PD9 を取り付けて使用できる iPod の種類」（☞ 86 ページ）をご覧ください。

iPod を接続する

- iPod 側の電源を切った状態で接続してください。

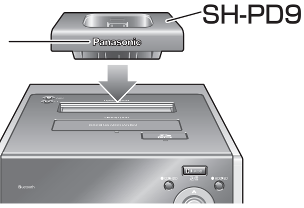
1. 本機上部の Option port ふたを開ける

- 突起部を奥に押す。



2. 別売の iPod 用ユニバーサルドック「SH-PD9」を取り付ける

- Panasonic ロゴを手前に向け、端子に合わせてまっすぐに奥まで差し込む。

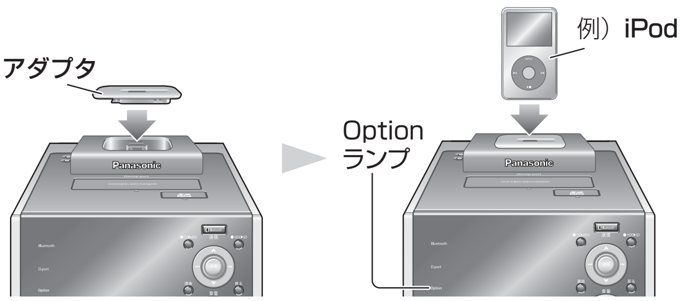


3. ① iPod に付属されているアダプタを必ず取り付ける

- 付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。

② iPod を接続する

- 端子に合わせて、まっすぐに奥まで装着させる。



- 接続すると Option ランプが点灯します。
- iPod を取り外す場合は、iPod の画面に " 接続を解除できます " と表示されているのをご確認ください。くわしくは「SH-PD9」の取扱説明書をご覧ください。

iPod を本機で充電する

本機に接続すると**自動的に**充電が始まります。

- 本機の電源が入っていてもいなくても、iPod の充電が行われます。本機の電源「入」時は、Option 以外のセレクターにすると充電できます。
- 充電が完了したかどうかは iPod 側で確認できます。
- D-snap 充電と同時に、iPod も充電できます。

お願い

- 充電完了後、iPod を長期間使用しないときは、Option port 差し込み部から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。
- iPod 用ユニバーサルドック「SH-PD9」を D-snap port 差し込み部（手前側）に接続しないでください。

お知らせ

- 本機 HDD 内の録音データを iPod 側に録音・転送はできません。
- iPod のデータ管理について、弊社では一切の保証はしていません。

iPod の曲を本機で聴く

Option ►/II **押す**
再生が始まります。

(画面表示: Option ► / Nightingale / What's the matter / Give me a hand / 0:43 / トラック：1/11)
プレイリスト内の曲番 / 総曲数

本機で使える機能

機能	操作	機能	操作
停止する（一時停止）	■	**音量を調節する**	＋音量－
一時停止する	Option ►/II ● 再開するにはもう一度押す	**音を消す**	消音 ☞ 61 ページ
曲を飛ばす（スキップ）	◄◄ ►►I	**音質 / 音場を変える**	サウンド リマスター ☞ 60 ページ
早送り / 早戻しする（サーチ）	◄◄ ►►		

iPod の曲を探して聴く

準備 **セレクターを Option に切り換える。**
[►/II Option] → [■(停止)]

■ 選曲メニューの種類

プレイリスト	すべてのプレイリストの中から探します。
アーティスト	アーティスト名から探します。
アルバム	アルバムタイトルから探します。
曲	iPod に登録しているすべての曲の中から探します。
Podcast	iTunes store で入手したラジオ番組を、エピソードから探します。
オーディオブック	iTunes store または audible. com から購入したオーディオブック内のタイトルから探します。

お知らせ
選曲メニュー画面が、下記の状態で表示されている場合、[**選曲**] または [**戻る**] を押しても 1 曲表示画面を表示できません。
- iPod が再生終了後の停止状態
- [⏻/I **電源**] を押して電源を入れた場合で、セレクターが Option になっていたとき

● 一度再生してください。

1 選曲 **押す**
選曲メニューが表示されます。

2 選び / 決定 **選曲方法を選び、決定**

(画面表示: Option 選曲メニュー / プレイリスト / アーティスト / アルバム / 曲 / Podcast / オーディオブック)

● “ **曲** ” を選んだ場合は手順❹へ。

3 アーティストを選んだ場合

選び / 決定 **① アーティスト名を選び、決定**

(画面表示: Option アーティスト / Nightingale / クレオ・フィガナン / 長居夢洋 / Pascal)

② アルバム名を選び、決定
“ すべて ” を選んだ場合
同名アーティストのすべての曲が表示されます。

曲、アーティスト以外を選んだ場合

選び / 決定 **プレイリスト名やアルバム名を選び、決定**

4 選び / 決定 **聴きたい曲を選び、決定**
再生が始まります。
曲リスト画面

ヒント① (画面表示: Option / 第七芸術の世界 / 八月のオットセイ / たらいのテーマ / ジュリエットの手紙 / To Hellen / a boycott)

■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

ヒント① プレイリストを切り換えることができます
選択タブ（“◄”、“►”）が表示されている画面で、[I◄◄、►►I] を押すとプレイリストを切り換えることができます。

くり返し聴く / 順不同に聴く

再生モードの種類	内容	画面表示
リピート再生	1 曲または全曲をくり返し再生します。	
	1 曲： 1 曲だけくり返し再生	(1曲リピート)
	すべて： 全曲をくり返し再生	(全曲リピート)
シャッフル再生	全曲またはアルバムを順不同に再生します。	
	曲： 全曲を順不同に再生	(曲シャッフル)
	アルバム： アルバム単位で順不同に再生（アルバム内は曲順に再生）	(アルバムシャッフル)

D-snap を本機で楽しむ（つづき）・iPod を本機で楽しむ

（次ページへつづく）

1 停止 / 再生中に

再生モード **押す**

選び／決定 **項目を選び、決定**

Option 再生モード設定	▶
リピート再生	オフ
シャッフル再生	オフ

2 選び／決定 **設定を選び、決定**

例）リピート再生

Option リピート再生 ▶
オフ
1曲
すべて

リピート再生

- **オフ：** 解除
- **1 曲：** 1 曲だけをくり返し再生
- **すべて：** 全曲をくり返し再生

シャッフル再生

- **オフ：** 解除
- **曲：** 全曲を順不同に再生
- **アルバム：** アルバム単位で順不同に再生（アルバム内は曲順に再生）

■ **停止時に設定した場合は：**[▶/❚❚ Option] を押す

■ **接続時 / 取り外し時の再生モードについて**

接続時、iPod で設定していた再生モードの状態から、本機で再生できます。
また、取り外し時、本機で設定していた再生モードの状態から、iPod で再生できます。

共通の操作

- ■ **元の画面に戻る：** [**戻る**] を数回押す
- ■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

iPod の曲を HDD に録音する

準備
1. **セレクターを Option に切り換える。**
   [▶/❚❚ Option] → [■（停止）]
2. **録音モードを設定する。**（☞ 17 ページ）
   - リピート / シャッフル再生を設定している場合は録音できません。解除してください。（☞ 47ページ）

停止 / 再生中に

HDD録音 **押す**

録音が始まります。

Option ●HDD録音 ▶
Cembalo musik
Creo Figahnan
Foglia
LPCM 10%
再生時間：2:53 トラック：1/11

- 選んでいるプレイリスト内の全曲を録音します。

プレイリスト内の全曲を録音する

プレイリスト（アルバムやアーティストなど）単位で録音します。

1 録音したいプレイリストの停止中に

機能選択 **押す**

選び／決定 **“ プレイリストを録音 ” を選び、決定**

2 選び／決定 ① **“ この設定で録音する ” を選び、決定**（ヒント①）
② **“ はい ” を選び、決定**

録音が始まります。

ヒント ① 設定を変えて録音するには

録音設定の確認画面で “ **一時的に設定を変更** ” を選ぶと、録音モード（☞ 17 ページ）を変更できます。この変更は、今回の録音時のみ有効です。

プレイリストの途中から録音する

選んだ曲からプレイリスト（アルバムやアーティストなど）の最終曲まで録音します。

47 ページ「iPod の曲を探して聴く」の手順❹で、録音したい曲にカーソルを合わせた状態で、

HDD録音 **押す**

- 選んだ曲からプレイリストの最終曲までを録音します。

■ **録音を止める：**[■（停止）] を押す
- 録音途中の（録音が完了していない）曲は、HDD に保存されません。

録音した内容を聴く

- **すぐに聴く場合** → [▶/❚❚ HDD] を押す
- **プレイリストから探す場合**
  選曲メニュー（☞ 22 ページ）の “ **曲を探す** ” で：
  - アルバム / アーティストから録音した場合は、それぞれ “ **アルバム** ” “ **アーティスト** ” から
  - 上記以外は、“ **アルバム** ” “ **アーティスト** ” “ **ラジオ外部録音** ” から探せます。

■ **HDD に記録されるアルバムなどのタイトルについて**

iPod で登録しているタイトルが付きます。
ただし、アルバム、アーティストや曲で情報を持たない曲を録音した場合は、「_ 不明なアルバム ˜01」「_ 不明なアーティスト」「_ トラック 01」などが付きます。

時計を合わせる / 電源の切り忘れを防ぐ

本機の時計を合わせる

留守録 / おめざめタイマーを使う場合は、時計の設定が必要です。

準備 **電源を入れる。** ［**電源**］を押す

時計は 24 時間表示です。
例）土曜日の 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

1 設定 **押す**
設定メニューが表示されます。

システム設定	
調整	電源
時計合わせ	
リモコンモード設定	

2 **" 調整 " を選ぶ**

3 選び／決定 **" 時計合わせ " を選び、決定**

システム設定	
調整	電源
時計合わせ	
リモコンモード設定	

4 選び／決定 ① **" 曜日設定 " を選び、決定**
② **曜日を選び、決定**

曜日設定	
日曜	木曜
月曜	金曜
火曜	土曜
水曜	

5 選び／決定 ① **" 時刻設定 " を選び、決定**
② **時刻を選び、決定**（ヒント 1）

時刻設定
▲
16 : 25
▼

- 手順②で［▲、▼］を押したままにすると、すばやく選べます。
- 手順②で［**決定**］を押すと、時計がスタートします。

6 戻る **数回押す**
元の画面に戻ります。

■ **途中で設定を止める：** ［**戻る**］を数回押す
■ **時計を見る：** 手順❶～❸を行う。（確認後は［**戻る**］を数回押す）

電源の切り忘れを防ぐ 自動電源オフ機能

停止状態が約 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

1 設定 **押す**
設定メニューが表示されます。

システム設定	
調整	電源
時計合わせ	
リモコンモード設定	

2 **" 電源 " を選ぶ**

システム設定	
調整	電源
自動電源オフ機能	
電源オフモード設定	
デモ機能	
導入ガイド起動	

3 選び／決定 ① **" 自動電源オフ機能 " を選び、決定**
② **" 有効 " を選び、決定**

自動電源オフ機能
無効
有効

- HDD、SD、CD、iPod の停止時にのみ働きます。
- HDD 録音データ移動時は、自動電源オフ機能は働きません。

4 戻る **数回押す**
元の画面に戻ります。

■ 自動電源オフ機能を解除するには

上記手順❸ - ②で " **無効** " を選ぶ。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：**［**戻る**］を押す
■ **設定メニューを消す：**［**設定**］を数回押す

ヒント 1 数字ボタンで、時刻を入力できます

例）「9 時 28 分」を入力する：
① ［0］→［9］→［2］→［8］の順に入力
② ［**決定**］を押す

- 入力を間違えたら：［**消去**］を押す
- 入力前の時間に戻す：［**戻る**］を押す

お願い

本機には、自動時刻調整機能がありませんので、時計（曜日 / 時刻）が合っているか、定期的にご確認ください。
時計が合っていないと、タイマーが正しい時刻に動作せず、希望の番組を録音できないことがあります。
また、時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。

お知らせ

- 時計を合わせると、デモ機能（☞ 4 ページ）は自動では働かなくなります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、もう一度本機の時計を合わせてください。

留守録 / おめざめタイマーを使う

設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定した音源を再生または HDD に録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
複数の予約内容を設定して、使い分けることができます。

- 留守録タイマーで録音できるのは、ラジオと外部機器のみです。
- 外部機器をタイマー設定する場合は、51ページを参照ください。
- Option、Bluetooth、D.portでは、おめざめタイマーはできません。

準備 **電源を入れて、時計が合っていることを確認する。**
(☞ 49 ページ)

タイマーの動作内容を設定する

留守録タイマー 7 種類、おめざめタイマー 3 種類の異なった予約内容を設定しておくことができます。

1

留守録タイマーを設定する場合

FM、AM のプリセットチャンネルを登録しておく（☞ 15 ページ）

おめざめタイマーを設定する場合

音源を準備する

① **音源を再生**
(☞ 10、11、12、15 ページ)
- HDD の場合は、再生したいプレイリストに切り換える。(☞ 22 ～ 24 ページ)

② **音量を調節**

③ **HDD、SD、CD は再生を停止**

2

タイマー **押す**

3

選び / 決定

タイマーの種類と予約番号を選び、決定

REC1 ～ 7：
留守録タイマー
PLAY1 ～ 3：
おめざめタイマー

留守録/おめざめ 設定

REC1	――	REC6	――
REC2	――	REC7	――
REC3	――	PLAY1	――
REC4	――	PLAY2	――
REC5	――	PLAY3	――

未設定

どの番号を選んでもかまいません。

4

選び / 決定

“ 予約内容設定 ” を選び、決定

例） 留守録の予約内容設定画面

留守録1の設定
待機設定 ――
予約内容設定
未設定

▶

留守録1の内容設定
曜日： 未設定
時刻： 0:00 ～ 0:00
音源： 未設定
名前： 未設定
確定

5 **曜日を設定する**

選び / 決定

① **“ 曜日 ” を選び、決定**
② **[▲、▼] で曜日を選び、[⏮、⏭] でチェックマークを付ける**
③ **[決定] を押す**

留守録1の曜日設定
□日曜
☑月曜
□火曜
□水曜
□木曜
□金曜

6 **動作時刻を設定する**

選び / 決定

① **“ 時刻 ” を選び、決定**
② **[⏮、⏭] で開始 / 終了時刻を選び、[▲、▼] でそれぞれ時刻を設定する**（☞ 49 ページ [ヒント] ①）
③ **[決定] を押す**

留守録1の時刻設定
開始時刻 終了時刻
10：00 ～ 10：30

7

留守録タイマーを設定する場合

音源を設定する

選び / 決定

① **“ 音源 ” を選び、決定**
② **“FM” または “AM” を選び、決定**
③ **録音したいプリセットチャンネルを選び、決定**

アルバム名を入力する
- 入力した名前で HDD に録音されます。

選び / 決定

① **“ 名前 ” を選び、決定**
② **文字を入力する**（☞ 36 ページ）
③ **“ 確定 ” を選び、決定**

おめざめタイマーを設定する場合

音源を設定する

選び / 決定

① **“ 音源 / 音量の更新 ” を選び、決定**
② **“ はい ” を選び、決定**

おめざめ1の音源更新
音源： HDD オペラ序曲…
音量： 20
この設定に更新しますか?
はい いいえ

- 手順❶で準備した音源・音量が設定されます。

8

選び / 決定

“ 確定 ” を選び、決定

留守録1の内容設定
曜日： 月
時刻： 10:00 ～ 10:30
音源： AM 1233 kHz
名前： 論考とウィーン
確定

▶

留守録1の設定
待機設定 無効
予約内容設定
曜日： 月
時刻： 10：00 ～ 10：30
音源： AM 1233 kHz
名前： 論考とウィーン

予約内容の確認画面になります。

設定した内容で、すぐにタイマーを動作させたいときは、このまま次ページの手順❸に進みます。
- 設定だけでよいときは、[**戻る**] を数回押すと、元の画面に戻ります。

■ 設定済みの予約内容を変更するには
手順❸で、変更したいタイマーの種類と予約番号を選び、もう一度設定する。

■ 手順❼で名前を入力すると
HDDの選曲メニューで “**アルバム**” から探せます。
(☞ 22、23ページ)
- “**未設定**” で留守録した場合は、アルバム名は “ ＊ AM_00001” のようになります。(☞ 52 ページ「ラジオ、外部機器、Bluetooth® の録音後のタイトルの付きかた」)

タイマーを動作させる

複数の予約設定の中から、実行させたい予約だけを“有効”に切り換えてタイマーを働かせることができます。

1 タイマー ◴ **押す**

2 選び／決定 **動作させたい（またはさせたくない）予約設定を選び、決定**

留守録/おめざめ 設定			
REC1	無効	REC6	ーー
REC2	ーー	REC7	ーー
REC3	有効	PLAY1	有効
REC4	ーー	PLAY2	不可
REC5	ーー	PLAY3	ーー
月			10：00

選んだ予約の動作曜日と開始時刻

有効： この予約を動作する
無効： 動作しない（設定のみ）
不可： 他の予約と重複しているため動作しない
ーー： 予約未設定

3 選び／決定 **“待機設定”を選び、決定**

留守録1の設定
待機設定　無効
予約内容設定
曜日：　月

4 選び／決定 **“有効”を選び、決定**

留守録1の待機設定
待機設定を選択してください。
有効
無効
ーー（予約内容消去）

● **この予約設定を動作させたくないときは**
“**無効**”を選びます。

■ **他のタイマーと動作時刻が重なっているとき**
“**はい**”を選んで決定すると、重複している他の予約設定が“**不可**”（動作しない）になります。

留守録1の待機設定
設定した時刻が1つのタイマーと重なっています。
重なった他のタイマーを不可にして登録しますか？
はい　いいえ

5 戻る **押す**
手順❷の画面に戻ります。

手順❷～❺をくり返し、各予約設定の“有効”、“無効”を切り換えてください。

6 戻る **数回押す**
元の画面に戻ります。

留守録タイマー表示
おめざめタイマー表示　◴PLAY ◴REC

7 **電源** 押して **電源を切る**

電源を切らないと、タイマーが動作しません。
● タイマー開始約 10 分前になると、電源ランプが点滅します。

留守録タイマーの場合
● 頭切れ防止のため、設定した曜日 / 時刻の少し前になると録音が始まります。（動作中は“◴ REC”と予約番号が点滅）
● 録音中は、自動的に最小音量になります。

おめざめタイマーの場合
設定した曜日 / 時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は“◴ PLAY”と予約番号が点滅）

外部機器を使ったタイマー設定

■ **留守録タイマー設定**
① 50 ページ手順❼の「音源を設定する」の②で、“AUX”を選ぶ。
② 左記「タイマーを動作させる」の操作で、設定内容を“**有効**”に切り換えたあと、外部機器側で本機と同じ曜日 / 時刻に動作するように設定する。

■ **おめざめタイマー設定**
① 50 ページ手順❶で、[FM/AM/AUX] を押して、“AUX”を選ぶ。
② 左記「タイマーを動作させる」の操作で、設定内容を“**有効**”に切り換えたあと、外部機器側で本機と同じ曜日 / 時刻に動作するように設定する。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **途中で止める：** [◴ **タイマー**] を数回押す

■ **設定内容を確認する**
左記「タイマーを動作させる」で：
手順❷で、確認したい予約設定を選び、決定。
● [**戻る**] を数回押すと元の画面に戻ります。
● タイマーを動作させたいときは、予約設定が“**有効**”になっていることを確認して、電源を切る。

留守録1の設定
待機設定　有効
予約内容設定
曜日：　月

■ **不要な予約設定を削除する**
左記「タイマーを動作させる」で：
① 手順❷で、不要な予約設定を選び、決定。
② 手順❸のあと、“**ーー（予約内容消去）**”を選び、決定。

■ **“不可”の予約を有効に変更する**
左記「タイマーを動作させる」で：
① 手順❷で、有効にしたい予約設定を選び、決定。
② 手順❸のあと、“**有効**”を選び、決定。
● 重複した予約がある場合、他の予約が“**不可**”になります。

■ **タイマー設定した後に、再生を楽しむ**
① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

電源を切る前に、タイマー表示が点灯していることをご確認ください。　◴PLAY ◴REC

お知らせ
● 予約設定は“**無効**”にしない限り、設定した曜日 / 時刻に動作します。
● SD、D-snap、iPod への留守録はできません。
● タイマー動作中、下記操作を行うと、タイマーの終了時刻になっても電源は切れません。
－ HDD への録音操作
－ HDD から SD への転送操作
－ 変換・解析操作（☞ 40 ページ）
－ おやすみタイマーの設定操作（☞ 52 ページ）
－ パソコンからの音楽データの取り込み操作（☞ 55 ページ）
－ HDD の録音データのバックアップおよび復元操作（☞ 56、57 ページ）
－ HDD の録音データの移動操作（☞ 58 ページ）
● 留守録タイマーの開始時刻が他の留守録タイマーの終了時刻と同じ場合、録音の開始が遅れる場合があります。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

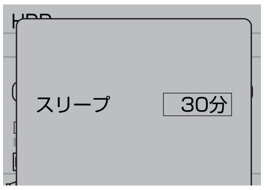
音源を聴きながら

スリープ

押して **時間を選ぶ**

押すたびに：

オフ → 30分 → 60分 → 90分 → 120分



しばらくすると元の画面に戻ります。



おやすみタイマー表示

■ **解除する：** 上記手順で“**オフ**”を選ぶ。
■ **残り時間を確かめる：** [**スリープ**] を押す。

お知らせ

- おやすみタイマーと留守録 / おめざめタイマーを組み合わせて使うときは、おやすみタイマーの電源が切れてから、留守録 / おめざめタイマーが動作するように設定してください。
- 下記操作を行うと、おやすみタイマーは働きません。
  - パソコンからの音楽データの取り込み操作(☞ 55ページ)
  - HDD の録音データのバックアップおよび復元操作(☞ 56、57ページ)
  - HDD の録音データの移動操作（☞ 58ページ）

ご参考 アナログ信号の再生・録音について

■ 外部機器、Bluetooth® の録音時

入力レベルを調整する

音量に過不足を感じる場合は、入力レベルを調整してください。

① [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] で“**入力レベル**”を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲、▼] でレベルを選び、[**決定**] を押す。
AUX（外部機器）**の場合：**
－9(最低)～0(標準)～＋5(最高)
Bluetooth の場合： 0（標準）～+2
- 音量が大きすぎると感じたときは“－”方向に、不足していると感じたときは“＋”方向に調整してください。

④ [**戻る**] を押す。

シンクロレベルを調整する

シンクロ録音で、下記のような場合は、シンクロレベルを調整して再度録音してください。

- 録音が始まらない
- 曲間がうまく分割されていない
- 曲の最初の部分が録音されない
- 録音した音源と本機の HDD に録音した曲数が一致しないなど

① [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] で“**シンクロレベル**”を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲、▼] でレベルを選び、[**決定**] を押す。
－12（最低）～0（標準）～＋12（最高）
- 例えば、静かな曲の場合、録音が始まらないことがあります。この場合は“－”方向に調整してください。
- 例えば、カセットテープなどのノイズを含んだ曲の場合、録音が始まらなかったり、曲間がうまく分割されなかったりします。この場合は“＋”方向に調整してください。

④ [**戻る**] を押す。
- LPCM で録音したときは、録音後に曲を分割、結合することもできます。(☞ 39ページ)

■ ラジオ、外部機器、Bluetooth® の録音後のタイトルの付きかた

録音を始めてから停止するまでの一続きが、プレイリスト（録音データ）として扱われます。

例えば ...

木曜の 21：30 に「FM80.2」を録音した場合：

タイトルの付きかた

FM80.2(木)21：30 ― プレイリスト名

- 曲1 ― アーティスト名 ：***FM録音データ** / アルバム名 ：***FM_00001** / 曲名 ：***FM_00001_0001**
- 曲2
- 曲3
- ⋮

同様に、各タイトルの先頭が：
AM の場合は「AM」、外部機器の場合は「AUX」、Bluetooth® の場合は「BT」になります。

録音後に、分かりやすいタイトルに変更することもできます。(☞ 33、35ページ)

お知らせ

ラジオ / 外部機器を留守録タイマー（☞ 50ページ）で録音した場合、頭切れ防止のため設定した時刻の少し前に録音が始まるので、プレイリスト名は設定した時刻より 1 分早い名前が付きます。

ネットワークに接続する

ネットワークに接続することで、以下の機能が使えるようになります。

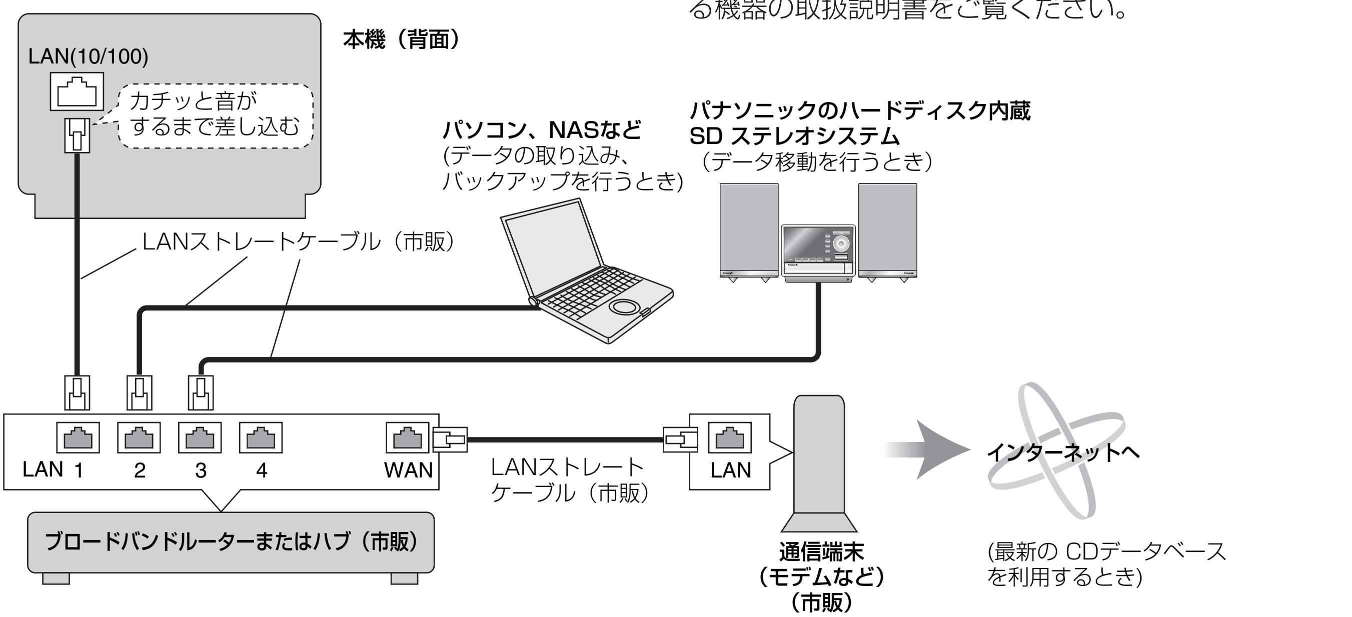
- インターネット上の最新の Gracenote® データベースから、CD のタイトル情報を取得。
  (☞ 13 ページ「Gracenote® データベースについて」)
- WMA/MP3/AAC(MPEG4) データの取り込み（☞ 55 ページ）、データのバックアップ（☞ 56 ページ）、録音データの移動（☞ 58 ページ）など、ネットワークを利用する機能。（上記以外のネットワークサービスには対応していません。）

必要な環境と機器を確認します

- **インターネットに常時接続できる環境（ADSL など）**
  モデムやブロードバンドルーター、スプリッター、ケーブルなどは、回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。
  ※データのバックアップ、録音データの移動では、本機とパソコンを直接接続して作業することもできます。（☞ 59 ページ）

このように接続します

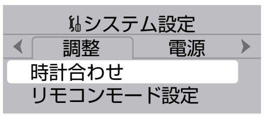
- 端子名は、機器により異なることがあります。接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



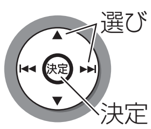
- モデムにブロードバンドルーター機能があり、モデムポートに空きがない場合は、ハブを接続します。ブロードバンドルーター機能がない場合は、ブロードバンドルーターを接続してください。

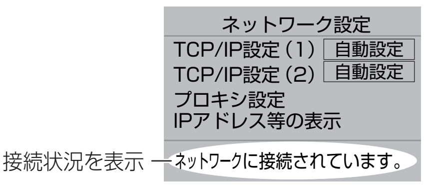
ネットワークの接続状況を確認します

① **設定** 押す



② **[|◀◀、▶▶|] で "ネットワーク" を選び、[▲、▼] で "ネットワーク設定" を選び、[決定] を押す**





- 元の画面に戻るには、[**設定**] を数回押す。

必要に応じて、機器の設定などをご確認ください

■ **ルーターの設定**

- **ルーターの DHCP サーバー機能は「有効」（IP アドレスを自動的に割り当てる設定）をおすすめします。通常は「有効」に設定されていますので、変更する必要はありません。**
- ルーターなどのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できないことがあります。
- ルーターの取扱説明書もご覧ください。

■ **本機の設定**

- **ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」に設定している場合、本機はお買い上げ時の設定のままでお使いいただけます。**
- ルーターの設定によっては、本機側の設定を変更する必要があります。（☞ 62 ページ）（固定 IP アドレスを割り当ててネットワークに接続する場合など）

動作確認済みの環境や機器、その他の接続方法（ケーブルネットワークなど）については、下記ホームページにて順次ご案内します。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

お願い

LAN 端子には、LAN ケーブル以外のケーブル（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ **免責事項について**

- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティー設定をするには、高度なネットワーク知識が必要です。
  セキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。セキュリティー設定によって発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、各機器の設定・使用方法などに関するお問い合わせには、当社ではお答えできません。

パソコン側の準備と確認

音楽データの取り込み / 録音データのバックアップに必要な機器と環境（推奨）

■ パソコン

対応 OS	Windows Vista™ Windows XP SP2

● NAS（ネットワーク接続ストレージ）からの音楽データの取り込み / 録音データのバックアップも可能です。
● 録音データのバックアップには、バックアップ先のハードディスクに十分な空き容量が必要です。
● 上記以外のメディア（DVD-Rなど）にはバックアップできません。

パソコン内の音楽データの取り込み

お手持ちのパソコンに保存されている WMA/MP3/AAC(MPEG4) データを、ネットワーク（家庭内の LAN）を経由して、本機の HDD 内に取り込むことができます。
録音とは異なり、音質劣化することなく本機の HDD に取り込むことができます。

取り込み可能なファイル形式	**拡張子：** WMA、MP3、M4A **対応ビットレート：** WMA、MP3： 32 kbps ～ 192 kbps AAC (MPEG4)： 32 kbps ～ 320 kbps **著作権保護されていないもの**
MP3 対応規格	MPEG-1 Audio Layer Ⅲ MPEG-2 Audio Layer Ⅲ LSF （LSF：Low Sampling Frequency）

● WMAの可変ビットレートは取り込めません。
● AAC（MPEG4）の場合、著作権保護されていない楽曲のみ取り込めます。
● AAC（MPEG4）の場合、64 kbps、96 kbps、128 kbps のファイルは AAC として、それ以外のファイルは LPCM として取り込みます。
● AAC（MPEG4）の取り込みは、WMA/MP3 に比べ時間がかかります。
● パソコン内の音楽データを本機に取り込んでも、パソコン内の音楽データは削除されません。

■ **パソコン側で音楽データにタグを使用している場合は**
アーティスト名、アルバム名、曲名がタイトルとして付きます。タグ情報がない場合は、各トラックのファイル名が曲名となります。

HDD 内の録音データのバックアップと復元

HDD 内の録音データは、定期的にパソコンや NAS（ネットワーク接続ストレージ）などにバックアップすることをおすすめします。
万が一、本機の故障により録音データが損なわれた場合でも、バックアップ時点の録音データを復元することができます。

バックアップを行う場合は、転送速度の速い 100BASE-T 有線 LAN によるネットワーク接続をおすすめします。
● バックアップについてのくわしい情報は、以下のホームページで順次ご案内します。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

バックアップに必要な機器がない場合
● 録音元の CD などは、念のために保管しておく。
● 特に大切な音楽は、SD カードに転送しておく。
などもひとつの方法です。

パソコンの PC 名（コンピュータ名）を確認する

音楽データの取り込み、録音データのバックアップ / 復元の操作中に、PC 名を入力する手順があります。

Windows Vista™ の場合
① “（スタート）”→ “コントロールパネル” を選ぶ。
② “システム”を選ぶ。
③ “コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定”欄の“フルコンピュータ名”の文字を確認し、メモなどに控える。

Windows XP Home Edition の場合
① “スタート”→ “コントロールパネル” を選ぶ。
② “システム”を選ぶ。
③ “コンピュータ名”タブを選ぶ。
④ “フルコンピュータ名”欄の文字を確認し、メモなどに控える。

共有フォルダの設定と確認

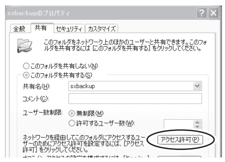
音楽データの取り込み、録音データのバックアップ / 復元には、パソコン側で共有フォルダを設定する必要があります。

Windows Vista™ の場合
① 共有設定したいフォルダを右クリック →“プロパティ”を選ぶ。
② “共有”タブを選ぶ →“詳細な共有” を選ぶ → “このフォルダを共有する” にチェックマークを付ける。（“共有名”欄の文字をメモなどに控える。）
③ “アクセス許可”を選ぶ →“フルコントロール” の “許可” にチェックマークを付ける → “OK” を選ぶ。
④ “OK”を選ぶ。

● **アクセス許可レベルの確認（データのバックアップ / 復元のみ）**
アクセス許可のレベルが “閲覧者” の場合、録音データのバックアップ / 復元ができません。
① 共有フォルダを右クリック → “共有” を選ぶ。
② ユーザーまたはグループの “アクセス許可のレベルが “閲覧者” の場合は、“▼” をクリックし、“閲覧者” 以外を選ぶ。
③ “共有”を選ぶ。
録音データのバックアップ / 復元が終わったあとは元の設定に戻してください。

Windows XP Home Edition の場合
① 共有設定したいフォルダを右クリック →“共有とセキュリティ”を選ぶ。
② “ネットワーク上でこのフォルダを共有する”と“ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する”にチェックマークを付ける。（“共有名”欄の文字をメモなどに控える。）
③ “OK”を選ぶ。

● **下記が表示された場合は**





① “アクセス許可” を選ぶ → “フルコントロール” にチェックマークを付ける。
② “OK” を選ぶ。

■ **ユーザー名、パスワード、共有名（共有フォルダ）、フルコンピュータ名で使用できる文字種と文字数**

使用できる文字種	半角英数、「.」（ピリオド） 「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）、半角スペース
使用できる文字数	15 文字以内

ユーザー名、パスワード、共有フォルダ、フルコンピュータ名のいずれか 1 つでも上記以外の場合、音楽データの取り込み、録音データのバックアップや復元ができません。
そこで、パソコン側の設定を変更することで作業ができるようになります。
設定の変更についてくわしくは、パソコンの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

パソコン内の音楽データを 取り込む

準備
1. 本機とパソコンをネットワークに接続（☞ 53 ページ）、または本機とパソコンを直接接続（☞ 59 ページ）する。
2. セレクターを HDD に切り換える。
[▶/❚❚ HDD] → [■（停止）]

パソコン側の操作

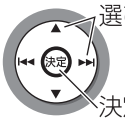
1
① **共有フォルダを設定する**（☞ 54ページ）
② **WMA/MP3/AAC(MPEG4) の入ったフォルダを共有フォルダに移動またはコピーする**
または
WMA/MP3/AAC（MPEG4）のフォルダを、共有ドキュメントフォルダに移動またはコピーする

本機側の操作

2 停止中に

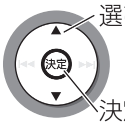
設定

押して
設定メニューが表示されます。


選び
決定

“ ネットワーク ” の “PC からのインポート ” を選び、決定

システム設定
電源　ネットワーク
ネットワーク設定
CDDB設定
PCからのインポート

3

選び
決定

“PC 名 ” を選び、決定
（ヒント 1）

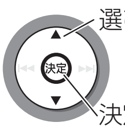
PCからのインポート
PC名
ユーザー名
パスワード *************
共有フォルダ
インポート

4 **PC 名を入力し**（☞ 36 ページ）、**決定**
54 ページで確認した PC 名を入力します。（半角英数と記号で 15 文字まで。大文字と小文字の区別はありません。）

■ **入力を間違えたら**
[◀◀、▶▶] でカーソルを移動し、[**消去**] で削除してから、数字ボタンで修正する。

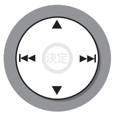
5 **手順❸〜❹をくり返し、他の項目を入力する**

ユーザー名： Windows Vista™ または Windows XP で登録された、ユーザーアカウントのユーザー名
パスワード： ユーザー名に設定されたパスワード
● パスワードは “ ＊＊＊…” のように表示されます。
共有フォルダ： 54 ページで確認した共有名。

6

選び
決定

“ インポート ” を選び、決定

PCからのインポート	
PC名	Win01
ユーザー名	guest
パスワード	**************
共有フォルダ	SharedDocs
インポート	

7


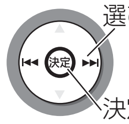
取り込むフォルダを指定する
[▲、▼] で選び、[◀◀、▶▶] でチェックを付ける

共有フォルダ内のフォルダー一覧

まとめてマークを付ける / 外す
① [**サブメニュー**] を押す。
② “ **全てのフォルダにマーク** ” または “ **全てのマークを解除** ” を選び、決定。

フォルダ選択
☐ ROOT
☑ Renaissance
☐ Gothic
☑ Baroque
☑ Classic
☐ Romanticism

8 決定 **押す**

9

選び
決定

“ はい ” を選び、決定

フォルダ選択
○○ フォルダ
○○ ファイル
○○ GB
を取り込みます。
はい　いいえ

● 取り込みが始まり、進行状況と残り時間が表示されます。
● 終了すると、メッセージを表示して、元の画面に戻ります。
取り込みが始まらない場合は、「こんな表示が出たら」（☞ 72、73 ページ）の対処に従ってください。

■ **取り込みを途中で止める：**[■（停止）] を押す。
停止するまでに取り込まれた曲は本機で再生できます。
■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す

■ **取り込めなかったデータがある場合**
取り込み終了後、下記画面が表示されます。

PCからのインポート
以下の○○ ファイルを取り込めませんでした。
・Classic
・Track023.WMA

ヒント 1 はじめから PC 名などが表示されているとき
以前にデータの取り込みやバックアップ（☞ 56 ページ）を行ったときの PC 名などが表示されることがあります。このときは PC 名などを確認し、必要があれば変更してください。

お知らせ
● NAS（ネットワーク接続ストレージ）をお使いの場合、手順❺では NAS 側で登録したユーザー名、パスワードを入力してください。
● 取り込み中の進行状況と残り時間は、数秒に 1 度表示されます。最初の数秒と終了前の数秒は正しく残り時間が表示されません。

本機に取り込んだ WMA/MP3/AAC(MPEG4) データについて
パソコンから取り込んだ曲は、録音したものと同様に、再生、SD への転送、編集（分割・結合を除く）などの操作ができます。
SD 転送時に気をつけていただきたいこと
転送した SD カードを携帯電話などでお使いになるときは、その機器が SD オーディオフォーマットで記録された WMA/MP3/AAC(MPEG4) の再生に対応しているかどうか、ご確認ください。非対応の機器で聴くことはできません。

HDD のデータをパソコンにバックアップする

HDD の録音データをバックアップする

準備 1. **本機とパソコンをネットワークに接続**（☞ 53 ページ）**、または本機とパソコンを直接接続**（☞ 59 ページ）**する。**
2. **セレクターを HDD に切り換える。**
[▶/❚❚ HDD] → [■（停止）]

パソコン側の操作

1 **下記の名前のフォルダを作成し、共有フォルダの設定をする**（☞ 54 ページ）**（バックアップデータの保存先となります）**

● **フォルダ名**：sxbackup

本機側の操作

2 **設定メニュー**（☞ 62 ページ）**で “ 保守 ” の “HDD バックアップ / 復元 ” → “HDD のバックアップ ” を選び、決定**

HDDバックアップ/復元
HDDのバックアップ
HDDの復元

3 **“PC 名 ” を選び、決定**（ヒント ①）

バックアップ
PC名
ユーザー名
パスワード ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
バックアップ開始

4 **バックアップ先の PC 名を入力し**（☞ 36 ページ）**、決定**

54 ページで確認した PC 名を入力します。（半角英数と記号で 15 文字まで。大文字と小文字の区別はありません。）

バックアップ
PC名
Win01

■ **入力を間違えたら**

[⏮、⏭] でカーソルを移動し、［**消去**］で削除してから、数字ボタンで修正する。

5 **手順❸〜❹をくり返し、他の項目を入力する**

ユーザー名：Windows Vista™ または Windows XP で登録された、ユーザーアカウントのユーザー名

パスワード：ユーザー名に設定されたパスワード

● パスワードは “ ＊＊＊…” のように表示されます。

6 **“ バックアップ開始 ” を選び、決定**

● バックアップが始まります。

バックアップ
バックアップ実行中
残り時間 30:30

進行状況と残り時間を表示

● バックアップが完了すると、メッセージが表示されます。そのまま一定時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

お知らせ

● **バックアップデータは暗号化して記録されます。**
このため、バックアップデータをパソコンで再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。また、バックアップ元の機器でないとバックアップデータの復元はできません。

● **パソコンへのバックアップ時の容量は、実際の録音データの容量よりも若干大きくなります。**

■ **バックアップ作業を中断するには**

① **バックアップ中に、[電源] を押す。**
② **“ はい ” を選び、[決定] を押す。**
● 電源が切れます。
本機の電源オフモード設定は省電力モードになります。

■ **バックアップの続きを再開するには**

バックアップの中断後、再度本機の電源を入れたとき、下記画面が表示されます。

バックアップ作業を
中断中です。
バックアップを
再開しますか？
はい　いいえ

“ はい ” を選び、[決定] を押す。
● バックアップが再開されます。

お知らせ

● 中断されたバックアップデータは復元に使用することはできません。バックアップデータを有効にするために、早めにバックアップを完了させてください。
● バックアップが完了するまでは、本機の電源オフモード設定は省電力モードになります。
● バックアップ開始時は、タイマー設定が無効になります。タイマーを使用する場合は、再度設定してください。

■ **パソコンの異常終了などによってバックアップが中止したとき**

本機の電源を切ることを知らせるメッセージが表示されます。
①［**電源**］を押す。
② もう一度［**電源**］を押して、電源を入れ、バックアップをやり直す。

■ **2 回目以降のバックアップについて**

前回バックアップ時点から変更 / 追加された録音データのみをバックアップ（差分バックアップ）しますので、バックアップにかかる時間は前回よりも短くなります。

データを復元する

パソコンに保存したバックアップデータの内容を、本機のHDDに復元します。
HDDが故障して録音データが損なわれた場合は、HDDの修理が完了してから行ってください。

復元を行う際は、HDDを一旦お買い上げ時の状態（1曲も録音されていない）に戻します。
よって、復元に失敗したときは、HDDはお買い上げ時点の状態になります。
復元を行う際は細心の注意を払ってください。

準備
1. **本機とパソコンをネットワークに接続**（☞ 53ページ）**、または本機とパソコンを直接接続**（☞ 59ページ）**する。**
2. **セレクターをHDDに切り換える。**
[▶/II HDD] → [■（停止）]

本機側の操作

1 **設定メニュー**（☞ 62ページ）**で**
"保守"の"HDDバックアップ/復元"→"HDDの復元"を選び、決定

HDDバックアップ/復元
HDDのバックアップ
HDDの復元

2 **"PC名"を選び、決定**（ヒント1）

復元	
PC名	Win01
ユーザー名	
パスワード	**************
復元開始	

3 **バックアップ先のPC名を入力し**（☞ 36ページ）**、決定**
54ページで確認したPC名を入力します。（半角英数と記号で15文字まで。大文字と小文字の区別はありません。）

■ **入力を間違えたら**
[◀◀、▶▶] でカーソルを移動し、[**消去**] で削除してから、数字ボタンで修正する。

4 **手順❷〜❸をくり返し、他の項目を入力する**
ユーザー名：Windows Vista ™ または Windows XP で登録された、ユーザーアカウントのユーザー名
パスワード：ユーザー名に設定されたパスワード
● パスワードは"＊＊＊…"のように表示されます。

5 **"復元開始"を選び、決定**
● 復元が始まり、進行状況と残り時間が表示されます。
● 復元が完了すると、メッセージが表示されます。そのまま一定時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

■ **復元作業を中止する**
① **[電源]を押す。**
② **"はい"を選び、[決定]を押す。**
● 電源が切れます。
本機の電源オフモード設定は省電力モードになります。

中止した場合、途中までの作業がすべてキャンセルされ、HDDには1曲も録音されていない状態になります。あとでもう一度復元作業をやり直してください。

お知らせ
● 復元後、本機で再生してみて、正しく復元されていれば、パソコン側のバックアップデータは不要です。
● パソコンの異常終了などにより、復元が中断してしまうことがあります。この場合は、最初からやり直してください。ただし、バックアップデータの異常が原因のときは、復元できません。
● 復元開始時は、タイマー設定が無効になります。タイマーを使用する場合は、再度設定してください。

ヒント1 はじめからPC名などが表示されているとき
以前にデータの取り込み(☞ 55ページ)やバックアップを行ったときのPC名などが表示されることがあります。このときはPC名などを確認し、必要があれば変更してください。

■ 免責事項など

パソコン内の音楽データの取り込み：

パソコンの環境によっては曲の取り込みができなかったり、取り込んだ音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接/間接的な損害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

● HDDに取り込んだWMA/MP3/AAC(MPEG4)の曲を再生すると、トラック間（曲と曲の間）で音が途切れる場合があります。
● HDDに取り込んだWMA/MP3/AAC(MPEG4)の曲は、電源「切」時に印象選曲の曲解析（☞ 8ページ）が行われます。
● JPEGなど大きなデータが入っていると、無音になったり、再生できない場合があります。

HDDの録音データのバックアップ/復元：

■ **バックアップデータの取り扱いについて**
以下のことをお守りください。
● バックアップデータをアプリケーションソフトで開いたり、内容を変更したりしない。
● バックアップデータを圧縮しない。
● バックアップデータのファイル名を変更したり、保存場所を移動させない。

録音データを移動させる

本機以外に当社製のハードディスク内蔵 SD ステレオシステム※（以下、移動元）をお持ちのお客様は、録音した録音データを、本機に移動させることができます。
※ SC-SX800/SC-SX400/SC-SX850/
SC-SX450/SC-SX950

本機購入後すぐに録音データ移動を行ってください。
本機の HDD に録音データがあると、録音データの移動ができません。
- 録音データの移動完了後は、移動元の録音データはすべて削除されます。
- 本機から SC-SX800/SC-SX400/SC-SX850/SC-SX450 へのデータ移動はできません。

準備
1. **本機とパソコンをネットワークに接続する**（☞ 53ページ）
2. **本機と移動元の電源を入れる。**
3. **32MB 以上の初期化済みの SD メモリーカードを 1 枚準備する。（録音データ移動に必要なプログラムなどを本機と移動元間でやり取りするために必要です）**
   - SC-SX800/SC-SX400 は 2GB 以下の SD カードをご使用ください。
4. **本機のセレクターを HDD 切り換える。**
   [▶/❙❙ HDD] を押す

録音データの移動作業の概略
まず、本機で移動用の SD カードを作成します。
（☞ 下記手順❶〜❹）
次に、移動用 SD カードを移動元に入れ、移動元を再起動させることでデータの移動が始まります。
（☞ 右記手順❺〜❼）

本機側の操作

❶ 設定メニュー（☞ 62 ページ）で“ 保守 ” の“HDD 録音データ移動 ” を選び、決定

システム設定
Bluetooth　保守
HDDバックアップ/復元
HDD録音データ移動
HDD全曲削除

❷ “ はい ” を選び、決定

HDD録音データ移動
移動元の録音データは
使用できなくなります。
いいですか？
はい　いいえ

❸ 本機に SD カードを入れる（☞ 9 ページ）

HDD録音データ移動
移動用のSDカードを
作成します。
SDカードを挿入して
「決定」ボタンを押すと
作業を開始します。

❹ [決定] を押す
- 録音データ移動に必要なプログラムが、SD カードに書き込まれます。

書き込み中

HDD録音データ移動
SDカードに記録中です。

書き込み完了

HDD録音データ移動
SDカードを移動元の機器
に差替えて、移動元の
機器を再起動するまで、
しばらくお待ちください。

本機および移動元の操作

❺ 書き込み完了後、本機の SD カードを取り出して移動元に入れ、移動元の電源コードを抜き差しし、電源を入れ直す
- SC-SX800/SC-SX400 では、「システムソフトを更新します」などのメッセージが表示される場合があります。[**決定**] を押してシステムの更新を行ってください。
- しばらくすると、録音データの移動が始まり、進行状況と残り時間を表示します。

録音データ移動中
↓
楽曲再構築

HDD録音データ移動
録音データ移動中
残り時間　30:30

- データ移動が完了すると、移動元に“ 本機の SD カードを移動先に入れてください。” のメッセージが表示されます。

❻ 完了後、移動元の SD カードを取り出して、本機に入れる
- この時点で、移動元の HDD は 1 曲も録音されていない状態になります。

❼ 本機および移動元の電源を切る

HDD録音データ移動
録音データの移動が
完了しました。

- データ移動後、移動元でバックアップしていたデータを移動元で復元することはできません。
- プログラムを消去するには、本機で SD カードを初期化してください。

■ 録音データ移動を中断するには
① [電源] を押す。
② “ はい ” を選び、[決定] を押す。
- 電源が切れます。
  本機の電源オフモード設定は省電力モードになります。

■ 中断したデータ移動を再開するには
録音データ移動の中断後、本機から SD カードを抜いた状態で再度電源を入れたとき、下記画面が表示されます。

録音データの移動を
中断中です。
録音データの移動を
再開しますか？
はい　いいえ

① “ はい ” を選び、[決定] を押す。
② 画面に従って録音データ移動を再開する。
- 楽曲再構築中に中断した場合でも、再開時には録音データの移動から始まります。
- **再開を中止するには**
  “ **いいえ** ” を選び、[**決定**] を押したあと、画面の指示に従ってください。

■ 途中で“ 移動先（本機）に録音データがあります。処理を中止します。” と表示されたら
本機の HDD に 1 曲でも録音されているときは、データ移動できません。[**決定**] を押したあと。HDD の全曲を削除（☞ 38 ページ）し、手順❶からやり直してください。

■ 本機および移動元を直接つなぐ場合

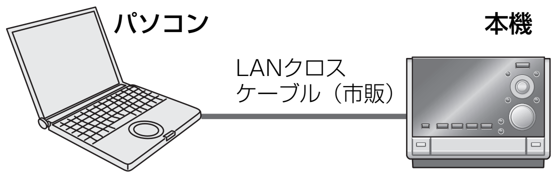
① LAN クロスケーブル（市販）※で本機と移動元をつなぐ。
② 本機の電源を入れ、本機の IP アドレスを手動で設定する。（移動元の IP アドレスなどの設定は必要ありません）
  ● IP アドレス（設定例：192.168.0.16）
  ● サブネットマスク（設定例：255.255.255.0）
    255.255.255.0 を入力するのが一般的です。
  ● ゲートウェイ
    設定する必要はありません。
③ 移動元の電源を入れ、58 ページの準備 **3** から始める。

※ パソコンとルーターやモデムに接続しているケーブルとは形状が同じですが、内部構造が異なります。

ご参考 本機とパソコンを直接接続する

WMA/MP3/AAC(MPEG4) データの取り込み（☞ 55 ページ）やバックアップ（☞ 56 ページ）、復元（☞ 57 ページ）を行う場合は、本機とパソコンを LAN クロスケーブルで直接接続することもできます。この場合は、本機とパソコンの設定を変更する必要があります。

接続のしかた



本機の設定

① 設定メニュー（☞ 62 ページ）で“ネットワーク”の“ネットワーク設定”→“TCP/IP 設定（1）”→“IP 手動設定”を選び、決定。
② 各項目をそれぞれ以下のように設定します。

■ **IP アドレス**（設定例：192.168.0.16）
接続するパソコンとは異なる IP アドレスにします。例えばパソコンの IP アドレスが 192.168.0.15 なら、本機の IP アドレスは、末尾の 15 以外は同じで、15 のところを 2 〜 254 の間で、15 以外の任意の数字にします。

■ **サブネットマスク**（設定例：255.255.255.0）
255.255.255.0 を入力するのが一般的です。

■ **ゲートウェイ**
設定する必要はありません。

パソコンの設定

くわしくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。ここでは Windows XP を例に説明しています。

①“コントロールパネル”→“ネットワーク接続”→“ローカルエリア接続”の“プロパティ”をクリックし、“インターネットプロトコル（TCP/IP）”の“プロパティ”をクリックする。
②“次の IP アドレスを使う”を選び、IP アドレスとサブネットマスクを以下のように設定します。

■ **IP アドレス**（設定例：192.168.0.15）
本機とは異なる IP アドレスに設定します。

■ **サブネットマスク**（設定例：255.255.255.0）
255.255.255.0 を入力するのが一般的です。

お知らせ

本機とパソコンで上記の設定をすると、インターネットに接続できなくなることがあります。インターネットを使用するときは、それぞれの設定を元に戻してください。また本機の場合は「ネットワークに接続する」（☞ 53 ページ）の方法で接続し直してください。

お願い

本機やパソコンですでに他の値を設定しているときは、あとで元に戻せるように、その内容をメモなどに控えておくことをおすすめします。

音質 / 音場を変える

好みの音質効果を使う　プリセットイコライザー

1 サウンド　押す

選び / 決定　“ イコライザー ” を選び、決定

サウンド設定
イコライザー　ヘビー
バス　ー　トレブル　ー
サラウンド　オフ

2 選び / 決定　効果を選び、決定

イコライザー
マニュアル　フラット
ヘビー　クリア
ソフト　ボーカル

マニュアル： マニュアルイコライザー（☞ 下記）を使うとき
フラット： 切（音質効果を使わない）
ヘビー： ロックなど。パンチを効かせるとき（お買い上げ時の設定）
クリア： ジャズなど。高音部を鮮明にするとき
ソフト： BGM として聴くとき
ボーカル： ボーカルにつやを出したいとき

低域 / 高域を調整する　マニュアルイコライザー

バス（低域）とトレブル（高域）を細かく調整できます。

1 上記手順❶〜❷を行い “ マニュアル ” を選ぶ

2 選び / 決定　“ バス、トレブル ” を選び、決定

サウンド設定
イコライザー　マニュアル
バス　0　トレブル　0
サラウンド　オフ

3 バス（低域）またはトレブル（高域）を選び

選び / 決定　レベルを選び、決定

イコライザー
バス　トレブル
−2　0

● 上下 4 ステップずつ調整できます。

音に臨場感を与える　サラウンド

1 サウンド　押す

選び / 決定　“ サラウンド ” を選び、決定

サウンド設定
イコライザー　ヘビー
バス　ー　トレブル　ー
サラウンド　オフ
H.BASS　設定1

2 選び / 決定　効果を選び、決定

サラウンド
オフ
設定1
設定2

オフ： 切（お買い上げ時の設定）
設定 1： 自然な臨場感を与えるとき
設定 2： 臨場感を与えるとともに、ボーカルを強調するとき
● 音がひずむときは、“ **オフ** ” にしてください。

豊かな低音を楽しむ　H.BASS

再生帯域の広いスピーカーで聴いているような、厚みのある低音が楽しめます。

1 サウンド　押す

選び / 決定　“H.BASS” を選び、決定

サウンド設定
イコライザー　ヘビー
バス　ー　トレブル　ー
サラウンド　オフ
H.BASS　設定1

2 選び / 決定　効果を選び、決定

H.BASS
オフ
設定1
設定2

オフ： 切
設定 1： 低音の厚みが増します。（お買い上げ時の設定）
設定 2： より低音の厚みが増し、迫力が得られます。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **元の画面に戻る：** [**サウンド**] を数回押す

より自然な音で楽しむ（マルチソース リ . マスター）

AAC や WMA/MP3/AAC(MPEG4) の圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

1 リ.マスター　押す

選び / 決定　“ リ . マスター ” を選び、決定

リ.マスター
リ.マスター　オフ
Bluetooth/Option　設定1

2 選び / 決定　“ オン ” を選び、決定

リ.マスター
オフ
オン

3 Bluetooth® 接続機器または iPod の場合

選び / 決定
① “Bluetooth/Option” を選び、決定
② 設定を選び、決定

リ.マスター
Bluetooth/Option設定
設定1
設定2
設定3

● 好みに合わせて設定を選んでください。

お知らせ

CD-DA と、LPCM モードで録音した HDD の曲の再生中は働きません。

■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **元の画面に戻る：** [**リ . マスター**] を数回押す
■ **リ . マスターを使わない場合：**
手順❷で “ **オフ** ” を選ぶ。

便利な機能

CD タイトルを取得する

取得した CD タイトルが間違っていた場合などに、CD タイトルの取得をやり直すことができます。

1 セレクターが CD で、音楽 CD の停止中に

[タイトル取得] 押す

タイトル検索が始まります。

2 選び / 決定

候補が表示されたら、タイトルを選び、決定

以下の候補が見つかりました。選択してください。
歌曲伴奏集
Accompany on the …
<該当なし>

■ セレクターが HDD のときは

① [**機能選択**] を押す。
② [▲、▼] で "**CD 録音**" を選び、[**決定**] を押す。
③ [▲、▼] で "**CD タイトルの取得**" を選び、[**決定**] を押す。

HDD や SD の情報を確認する HDD SD

1 セレクターが HDD または SD のときに

[機能選択] **押す**

選び / 決定

① HDD のみ、" 曲管理 " を選び、決定
② "HDD 情報 " または " カード情報 " を選び、決定

2 HDD のみ

[決定] **押す**

押すたびに表示内容が切り換わります。

例） HDD

HDD	HDD情報
システム領域：	＊＊GB
使用容量 ：	＊＊GB
空き容量 ：	＊＊GB
使用率 ：	＊＊%
曲数を表示	

HDD	HDD情報
総曲数：	＊＊
変換・解析待ち：	＊＊
アルバム数：	＊＊
アーティスト数：	＊＊
容量を表示	

システム領域とは、本機が管理用に使用している領域です。

● [**戻る**] を数回押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

● SD は初期化直後でも必要なファイルが自動的に作成されるので、使用容量は 0 になりません。
● 著作権などの管理エリアが別に確保されるので、空き容量と使用容量の合計が SD カードに記載されている容量になりません。

共通の操作

■ **一つ前の画面に戻る：**[**戻る**] を押す

表示部の明るさを変える

表示部の輝度が変わります。お部屋の雰囲気や好みに合わせてお使いください。

照明 **押す**

押すたびに：明 ⇄ 暗

一時的に音を消す

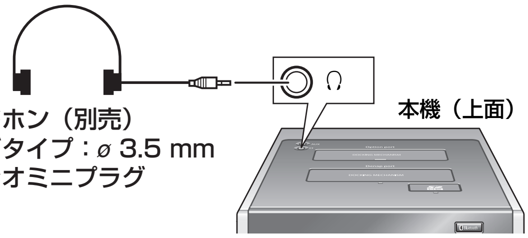
消音 **押す**

消音

■ **解除する**

● もう一度押す。● 音量を変える。 ● 電源を切／入する。

ヘッドホンで聴く



ヘッドホン（別売）
プラグタイプ：ø 3.5 mm
ステレオミニプラグ

お願い

● 接続するときは、音量を下げてください。
● 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときに行います。

● 本体側を切り換えたときは、必ずリモコン側も切り換えてください。

■ **本体側の切り換え**

1 設定 押して **設定メニューを表示させる**

選び / 決定

[|◀◀、▶▶|] で " 調整 " を選び、[▲、▼] で " リモコンモード設定 " を選び、[決定] を押す

システム設定
調整 電源
時計合わせ
リモコンモード設定

2 選び / 決定

" リモコン 1" または " リモコン 2" を選び、決定

リモコンモード設定
リモコン1
リモコン2

● お買い上げ時の設定は " **リモコン 1**" です。

■ **リモコン側の切り換え**

リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [1] または [2]（本体側で設定した数字）を 4 秒以上押したままにする

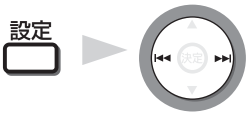
設定が終わったら、動作を確認してください。

リモコンボタンを押して操作できれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、メッセージに従ってリモコン側を切り換えてください。

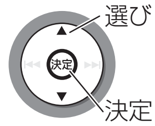
本機の設定を変える、情報を見る

■ ネットワーク関連の設定を変更する

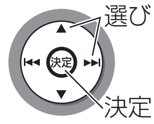
1 設定メニューに入り、“ネットワーク”を選ぶ



2 項目を選び、決定する



3 項目を選び、決定する



■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **設定メニューを消す：** [**設定**] を数回押す

内蔵 CD データベースだけを使う

ネットワークに接続しないで使用するとき、接続に関するメッセージを出さないように設定します。

“**CDDB 設定**”を選び、決定

“**使用しない**”を選び、決定

● **使用する：** ネットワークにアクセスさせる（お買い上げ時の設定）
● **使用しない：** 内蔵 CD データベース だけを検索させる

CDDB設定
インターネット上の CDデータベース情報を
使用する　使用しない

IP アドレスなどを確認する

“**ネットワーク設定**”を選び、決定

“**IP アドレス等の表示**”を選び、決定

IPアドレス等の表示

MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX
IPアドレス	***. ***. ***. ***
サブネットマスク	***. ***. ***. ***
ゲートウェイ	***. ***. ***. ***
プライマリDNS	***. ***. ***. ***
セカンダリDNS	***. ***. ***. ***

IP アドレスを手動で設定する

本機に固定 IP アドレスを割り当ててネットワークに接続する場合に設定します。
● 通常はお買い上げ時の設定のままで使えます。（ヒント①）

① “**TCP/IP 設定（1）**”を選び、決定
② “**IP 手動設定**”を選び、決定
③ 項目を選び、決定
④ **数字ボタン**で数値を入力し、決定
　● ブロードバンドルーターの仕様を確認して、それぞれ入力します。
　● 0 ～ 255 以外の数値は、入力できません。（ヒント②）
③、④をくり返し、他の項目を入力してください。

IP手動設定

IPアドレス	***. ***. ***. ***
サブネットマスク	***. ***. ***. ***
ゲートウェイ	***. ***. ***. ***

DNS サーバーを手動で設定する

プロバイダーからDNSサーバーの指定があるときに設定します。
● 通常はお買い上げ時の設定のままで使えます。（ヒント①）

① “**TCP/IP 設定（2）**”を選び、決定
② “**DNS 手動設定**”を選び、決定
③ 項目を選び、決定
④ **数字ボタン**で数値を入力し、決定
　● ご契約のプロバイダーや接続業者の指示に従って入力してください。
　● 0 ～ 255 以外の数値は、入力できません。（ヒント②）
③、④をくり返し、他の項目を入力してください。

DNS手動設定

プライマリDNS	***. ***. ***. ***
セカンダリDNS	***. ***. ***. ***

プロキシの使用環境を設定する

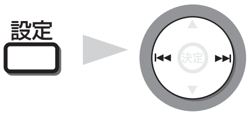
プロキシを使用している場合に設定します。
● ご契約しているプロバイダーや接続業者にご確認の上、設定してください。

① “**プロキシ設定**”を選び、決定
② “**アドレス**”を選び、決定
③ アドレスを入力し（☞ 36ページ「文字入力のしかた」）、決定
④ “**ポート番号**”を選び、決定
⑤ **数字ボタン**で番号を入力し、決定

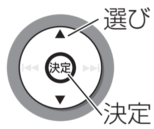
アドレス
使用するプロキシのアドレスを入力してください

■ 本機のシステムについての情報を確認する

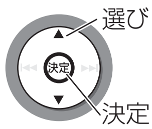
1 設定メニューに入り、“保守”を選ぶ



2 項目を選び、決定する



3 項目を選び、決定する



■ **一つ前の画面に戻る：** [**戻る**] を押す
■ **設定メニューを消す：** [**設定**] を数回押す

システムソフトの情報を見る

“**システムソフトの情報**”を選び、決定

▶ 本機のソフトウェアバージョンなどを表示します。

システムソフトの情報
バージョン　V1.00
（表示例）

● 最新バージョンについては、以下のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

本機のシステムを更新する

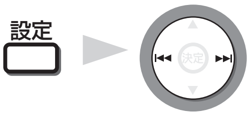
今後、性能改善のため、システムソフトの書き換え（更新）が必要になったときのための機能です。

“**システムソフトの更新**”を選び、決定

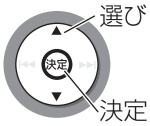
▶ システムソフトの更新に関する情報を受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いします。インターネットでの登録が可能です。くわしくは以下のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

■ 電源関連の設定を変更する

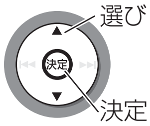
❶ 設定メニューに入り、“電源” を選ぶ



❷ 項目を選び、決定する

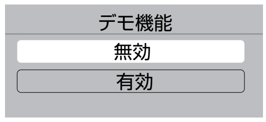
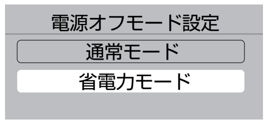


❸ 項目を選び、決定する



■ **一つ前の画面に戻る：**
［**戻る**］を押す

■ **設定メニューを消す：**
［**設定**］を数回押す

	❷	❸	
デモ機能を入 / 切する デモ機能（☞ 4 ページ）もご参照ください。	“**デモ機能**”を選び、決定	“**有効**”または “**無効**”を選び、決定	
電源「切」時の消費電力を節約する 電源「切」時の消費電力が小さくなり、節電になります。（ヒント③）	“**電源オフモード設定**”を選び、決定	“**省電力モード**”を選び、決定 ● お買い上げ時の設定は“**通常モード**”です。	
導入ガイドを起動する 本機の基本的な使いかた（HDD への録音方法や選曲メニューの利用方法など）の解説を表示します。	“**導入ガイド起動**”を選び、決定	▶ 導入ガイドが始まります。（説明時間は約 5 分半です。） 終了後、元の画面に戻ります。 ■ **導入ガイドを止める：**［■（停止）］を押す 元の画面になります。	

ヒント① 設定を取り消し、お買い上げ時の状態で使うには

IP アドレスの場合：
“**ネットワーク**”の“**ネットワーク設定**”→“**TCP/IP 設定（1）**”→“**IP 自動設定（DHCP）**”を選び、決定する。

DNS サーバーの場合：
“**ネットワーク**”の“**ネットワーク設定**”→“**TCP/IP 設定（2）**”→“**DNS 自動設定**”を選び、決定する。

ヒント② 入力を間違えたら
[⏮、⏭] でカーソルを移動し、数字ボタンで修正する。

ヒント③ 省電力モードにすると ...
- 電源を入れてから操作できるようになるまでに時間がかかります。すぐに操作したいときは“**通常モード**”にしてください。
- デモ機能（☞ 4 ページ）は使えません。
- 変換・解析（☞ 8 ページ）が終わっていないときは：
  まず、約 2 分間通常モードでスタンバイ状態（電源ランプがオレンジ色に点灯）になり、そのあと変換・解析を開始します（電源ランプがオレンジ色に点滅）。
  変換・解析終了後に省電力モードになります。

用語解説

ザッピング
各曲のサビ部分を約 20 秒ずつ再生します。曲を次々と試聴して、目的の曲を探すことができます。

続き再生
D-snap で聴いていた曲を、本機に接続したあとも引き続き聴く機能です。また、D-snap を取り外したあとも、本機で再生していた曲の続きを D-snap で再生します。

ドッキング転送
本機に接続した D-snap に、本機の録音データ（曲やプレイリストなど）を直接転送する機能です。

パスキー
Bluetooth® 信号を送受信するための、相互に機器を認識させるために使用する番号です。

バックアップ / 復元
本機 HDD 内の録音データをパソコンや NAS に保存し、本機 HDD の故障による録音データの消失に備えることです。

プレイリスト
ある一定の条件で集められた曲のグループのことです。例えば、“アルバムプレイリスト” とは、音楽 CD などから録音した曲が、アルバムごとに集められた曲のグループです。

変換・解析
本機に録音した曲の容量を圧縮する作業を “変換” と言います。また、印象選曲などの曲を管理する情報を登録する作業を “解析” と言います。

AAC
音楽データの容量を小さくするための圧縮方式の 1 つです。

Bluetooth®
電子機器同士をワイヤレス（無線）で接続する通信技術のことです。

Gracenote® データベース
CD のタイトル情報などを検索するためのデータベースです。本機には約 35 万アルバムのタイトル情報が登録されています。

LPCM
音声信号を圧縮せずに、そのままデジタル音声に変換する方式の 1 つです。

MP3
MPEG Audio Layer-3 という音声圧縮規格です。パソコンに音楽を取り込む際などに、この技術が使用されています。

PC からのインポート
パソコンに保存した音楽データを、LAN を経由して本機の HDD に取り込むことです。本機では、WMA、MP3、AAC（MPEG4）の音楽データを取り込むことができます。

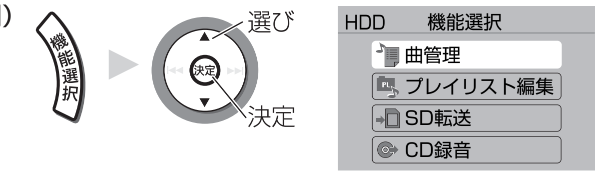
WMA
Microsoft 社が開発した音声圧縮方式です。市販の音楽 CD に近い音質で圧縮しています。

機能選択 / サブメニュー機能一覧

機能選択メニュー一覧

機能選択には、現在のセレクターで操作できる、いろいろな機能がまとめられており、機能選択画面から項目を選択することで各機能が実行できます。
再生/停止中などの状態により、使える機能が異なります。くわしくは参照ページ先をご覧ください。

操作例）



セレクターが HDD のとき					ページ
曲管理	HDD 情報	➡ 総曲数やアルバム数などの曲数 / システム領域や空き容量などの容量を切り換えて表示			61
	曲の情報表示	➡ 曲の長さ、ファイルの種類や容量などを表示			13
	曲の名前変更	➡ 名前入力画面を表示			35
	アーティスト名変更	➡ 曲の選択画面を表示	➡ 名前入力画面を表示		35
	アルバム名変更	➡ 曲の選択画面を表示	➡ 名前入力画面を表示		35
	LPCM 曲の分割・結合	この曲を分割する	➡ 分割点設定の画面を表示		39
		他の曲と結合する	➡ 結合先設定の画面を表示		
	曲を選んで削除	➡ 曲の選択画面を表示	➡ 確認画面を表示		37
	変換・解析を実行	HDD 内全ての対象曲 / プレイリストの対象曲の選択画面を表示		➡ 確認画面を表示	40
	LPCM 曲の容量圧縮	➡ 確認画面を表示	➡ 確認画面を表示	➡ AAC(XP)/AAC(SP)/AAC(LP) の選択画面を表示	40
	曲の印象情報を設定	使用する	➡ 確認画面を表示		40
		使用しない	➡ 確認画面を表示		
プレイリスト編集	プレイリストに曲を追加	➡ 曲の選択画面を表示	➡ プレイリストの選択画面を表示		32
			➡ 新規プレイリストに追加	➡ 名前入力画面を表示	
	プレイリストから曲を除外	➡ プレイリストの選択画面を表示	➡ 曲の選択画面を表示		32
	プレイリスト内で曲を移動	➡ 曲の選択 / 移動画面を表示			32
	プレイリストの名前変更	➡ 名前入力画面を表示			33
	プレイリストの解除	➡ 確認画面を表示			33
	マイベストから曲を除外	➡ 曲の選択画面を表示			34
	よく聴く履歴クリア	➡ 確認画面を表示			34
	新曲履歴クリア	➡ 確認画面を表示			34
	新曲への登録設定	➡ セレクターの選択画面を表示			17
SD 転送	SD カード情報	➡ 総曲数やプレイリスト数、空き容量などを表示			27
	リメイク SD 転送	➡ リメイク SD の設定内容で転送を開始			28
	リメイク SD 設定	未登録カードの場合	➡ 設定登録画面を表示		28
		登録済カードの場合　設定変更	➡ 設定登録画面を表示		
		登録削除	➡ 確認画面を表示		
	曲を SD へ転送	➡ 確認画面を表示	➡ 停止中の 1 曲を転送開始		26
	プレイリストを SD へ転送	➡ 確認画面を表示	➡ 停止中の曲を含むプレイリストを転送開始		26
	曲を選んで SD へ転送	➡ 曲の選択画面を表示	➡ 転送を開始		26
	自動作成するプレイリスト	アルバムプレイリストの自動作成 / アーティストプレイリストの自動作成の選択画面を表示		➡ 有効 / 無効の選択画面を表示	27
	転送元プレイリストの作成	有効 / 無効の選択画面を表示			27
	SD の曲を削除	➡ プレイリストの選択画面を表示	➡ 曲の選択画面を表示	➡ 確認画面を表示	38
	LPCM 曲の SD 転送圧縮	➡ AAC(XP)/AAC(SP)/AAC(LP) の選択画面を表示			27
	転送先設定	➡ D.port 優先 /SD 優先の選択画面を表示			26
CD 録音	CD ディスク情報	➡ アルバム名、総曲数や総時間を表示			20
	CD タイトルの取得	➡ Gracenote® データベースへアクセス開始			61
	録音モード	➡ LPCM/AAC(XP)/AAC(SP)/AAC(LP) の選択画面を表示			17
	CD アルバムを高速録音	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示		20
		一時的に設定を変更	➡ 録音モードにフォーカス	➡ 選択画面を表示	

セレクターが SD または D.port ※のとき				ページ
カード情報	➡ 総曲数やプレイリスト数、空き容量などを表示			61
曲の情報表示	➡ 曲の長さ、ファイルの種類や容量などを表示			13
曲を削除	➡ 確認画面を表示			38
プレイリストの曲全て削除	➡ 確認画面を表示			38
曲を選んで削除	➡ 曲の選択画面を表示	➡ 確認画面を表示		37
プレイリストに曲を追加	➡ 曲の選択画面を表示	➡ プレイリストの選択画面を表示		32
		➡ 新規プレイリストに追加	➡ 名前入力画面を表示	
プレイリストから曲を除外	➡ プレイリストの選択画面を表示	➡ 曲の選択画面を表示		32
プレイリスト内で曲を移動	➡ 曲の選択 / 移動画面を表示			32
プレイリストの名前変更	➡ 名前入力画面を表示			33
プレイリストの解除	➡ 確認画面を表示			33
SD 内全曲を削除	➡ 確認画面を表示	➡ 確認画面を表示		38
カード初期化	➡ 確認画面を表示	➡ 確認画面を表示		38
新曲自動転送設定※	➡ 有効 / 無効の選択画面を表示			45

※ 接続した D-snap が SV-SD950N で、「SD オーディオ」モードに設定している場合

セレクターが CD/FM/AM/AUX/Option/Bluetooth のとき（共通項目）		ページ
録音モード	➡ LPCM/AAC(XP)/AAC(SP)/AAC(LP) の選択画面を表示	17

セレクターが CD のとき（CD-DA、WMA/MP3 共通項目）				ページ
曲の情報表示	➡ 曲の長さ、アーティスト名、アルバム名、曲名などを表示			13
曲を録音	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示		20
	一時的に設定を変更	➡ 録音方法（CD-DA）/ 録音モード（WMA/MP3）にフォーカス	➡ 選択画面を表示	
曲を選んで録音	➡ 曲の選択画面を表示	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示	20
		一時的に設定を変更	➡ 録音方法（CD-DA）/ 録音モード（WMA/MP3）にフォーカス ➡ 選択画面を表示	

セレクターが CD のとき（CD-DA のみ）				ページ
録音方法	高速録音 / 高速録音 +SD 転送 / 聴きながら録音の選択画面を表示			18
アルバムを録音	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示		20
	一時的に設定を変更	➡ 録音方法にフォーカス	➡ 選択画面を表示	

セレクターが CD のとき（WMA/MP3 のみ）				ページ
ディスク情報	➡ ボリュームラベル、フォルダ数、総曲数を表示			19
フォルダを録音	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示		20
	一時的に設定を変更	➡ 録音モードにフォーカス	➡ 選択画面を表示	
ディスクを録音	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示		20
	一時的に設定を変更	➡ 録音モードにフォーカス	➡ 選択画面を表示	

セレクターが FM または AM のとき（共通項目）		ページ
プリセット登録	➡ チャンネル選択画面を表示	15
プリセット消去	➡ チャンネル選択画面を表示	16
トラック分割	➡ オート（5 分）/ オート（10 分）/ マニュアルの選択画面を表示	21
エリアバンク	➡ エリア選択画面を表示	15

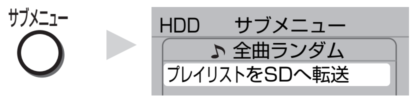
セレクターが FM のとき		ページ
音声モード	➡ オート（ステレオ）/ モノラルの選択画面を表示	15

セレクターが AUX または Bluetooth のとき		ページ
入力レベル	➡ 入力レベル調整画面を表示	52
トラック分割	➡ オート（5 分）/ オート（10 分）/ オート（シンクロ）/ マニュアルの選択画面を表示	21、43
シンクロレベル	➡ シンクロレベル調整画面を表示	52

セレクターが Option のとき				ページ
プレイリストを録音	この設定で録音する	➡ 確認画面を表示		48
	一時的に設定を変更	➡ 録音モードにフォーカス	➡ 選択画面を表示	

サブメニュー一覧

例）



機能選択の一部や便利な機能が簡単に使えます。
再生 / 停止中などの状態、表示画面により使える機能が異なります。

セレクターが HDD のとき	
	使用可能な画面の条件
曲を SD へ転送	1 曲表示画面 / 曲リスト画面
プレイリストを SD へ転送	1曲表示画面/曲リスト画面 下記アイコンにフォーカス時： ・マイベスト・新曲・よく聴く曲 ・全曲ランダム・印象選曲内の各プレイリスト 下記プレイリスト選択画面： ・アルバム・アーティスト ・ユーザープレイリスト・ラジオ 外部録音
曲を選んで SD へ転送	1 曲表示画面 / 曲リスト画面
曲をプレイリストに追加	
曲をプレイリスト内で移動	下記プレイリスト内の曲リスト画面： ・マイベスト・アーティスト・アルバム ・ユーザープレイリスト
曲をプレイリストから除外	下記プレイリスト内の曲リスト画面： ・マイベスト・よく聴く曲 ・ユーザープレイリスト
頭文字で探す	下記アイコンにフォーカス時： ・アルバム・アーティスト・曲名

セレクターが SD または D.port※のとき	
	使用可能な画面の条件
プレイリストに曲を追加	1 曲表示画面 / 曲リスト画面
曲を削除	
プレイリストの曲全て削除	プレイリスト選択画面 / 1 曲表示画面 / 曲リスト画面
カード初期化	「再生できないカードです」表示時

セレクターが CD のとき	
	使用可能な画面の条件
曲を録音	1 曲表示画面 / 曲リスト画面
アルバムを録音（CD-DA）	
フォルダを録音（WMA/MP3）	フォルダ選択画面 / 1 曲表示画面 / 曲リスト画面
ディスクを録音（WMA/MP3）	

セレクターが Option のとき	
	使用可能な画面の条件
プレイリストを録音	プレイリスト選択画面 / 1 曲表示画面 / 曲リスト画面

その他	
使用可能な画面の条件	使える機能
セレクターが AM 時	BP1 ～ 4
チェックボックス表示時	全ての曲にマーク
	全てのフォルダにマーク（PC からのインポート時のみ）
	全てのマークを解除
アーティストプレイリストの名前入力時	アーティストリストから選択する ➡ アーティスト名選択画面を表示

※ 接続した D-snap が SV-SD950N で、「SD オーディオ」モードに設定している場合

HDD（ハードディスク）の取り扱い

HDD は記録密度が高く、長時間録音ができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ繊細な部品です。
ご使用の際は、以下の点に十分ご注意ください。

■ **HDD は振動や衝撃、ほこりに弱い精密機械です**
設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録音や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録音・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■ **HDD に異常を感じた場合は、すぐに修理をご依頼ください**
HDD 内に不具合箇所があると、録音時や再生時に継続した異音がしたり、音が途切れたりすることがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかに修理をご依頼ください。
HDD が故障した場合は、録音内容（データ）の修復はできません。

■ **HDD は定期的にバックアップを**
HDD が故障した場合に備えて、定期的にパソコンにバックアップをとっておくことをおすすめします。ただし、バックアップ元の機器でないとバックアップデータの復元はできません。（☞ 56 ページ）

■ **録音内容の補償に関する免責事項について**
何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

取り扱い上のお願い
本機には、お客様が録音された楽曲データやユーザープレイリストの情報、設定メニューの設定内容など、お客様の操作に関する情報（利用者情報）が記録されています。
本機の設置場所によっては、第三者に利用者情報が漏えいしたり、改ざんされる場合があります。
設置場所の管理には、十分ご注意ください。
また、本機の修理を依頼された場合、利用者情報を確認させていただく場合があります。
利用者情報の漏えいを防ぐには、修理の前に利用者情報を消去あるいは、変更してから依頼してください。

本機を廃棄 / 譲渡するときについて
HDD 内の全曲削除（☞ 38 ページ）を行い、録音データやプレイリスト情報を削除してから廃棄／譲渡してください。また、必要に応じて設定メニューの設定内容を変更しておいてください。

万一、利用者情報が変化、消失、改ざん、漏えいした場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

重要なお願い

■ **設置時**
- **後面の冷却用ファンや通風口をふさがない**
- **水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する**
- **ビデオデッキなどの熱源となるものの上に置かない**
- **温度変化が起こりやすい場所に設置しない**
- **「つゆつき」が発生しにくい場所に設置する**
  つゆつきとは…温度差が激しいため、冷たいコップの表面に水滴が付いたりする現象。本機の故障の原因となります。

「つゆつき」が発生しやすい状況
- 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
- 部屋の湿度が高いとき（湯気が立ち込めるなど）
- 梅雨の時期

上記の場合は、部屋の温度になじむまで、**電源を切ったままに**しておいてください。（約 2 ～ 3 時間）

■ **タバコの煙などは故障の原因になります**
タバコの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■ **動作中**
- 振動や衝撃を与えない。（HDD が破損することがあります。）
- **電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない。**

通電中、HDD は高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

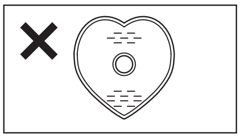
■ **移動させるとき**
① CD、SD などをすべて取り出す。
② 電源を切る。
③ “Goodbye!” 表示が消えたあと 2 分以内、または変換・解析処理（☞ 8 ページ）が終わってから電源プラグをコンセントから抜く。
④ 完全に回転が止まってから（2 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす。
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています。）

本機は電源を切ったあと（スタンバイ状態）、HDD に変換・解析されていない録音データがある場合、2 分経過すると変換・解析処理を始めます。（電源ランプがオレンジ色に点滅）
変換・解析処理中は：
- **電源コードを抜かないでください。**
- **電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。**

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります）



上記ロゴマークのある、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクは正しく再生できない場合があります。

CD-R と CD-RW について

■ 本機での制限

● **使用できるフォーマットは**
ISO9660 level 1 および level 2、Joliet

● 本機はマルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかったり読み込めないことがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。

● 同一ディスクで WMA または MP3 と CD-DA の両形式が記録されている場合、最初のセッションに記録されている形式のみ再生します。

● パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

● JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり、再生できない場合があります。

WMA

● **著作権保護された曲は、“ 保護されている曲です ” と表示され再生できません。**くわしくは､曲を作成したソフトウェアの説明書をご覧ください。

● 情報部に JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり再生できない場合があります。

● Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応
ただし、Professional, Lossless, Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

MP3

● ID3 タグのバージョン 1 と 2 に対応しています。（曲名、アーティスト名、アルバム名のみ）

● 静止画の入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかったり、再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ 本機で再生できる WMA/MP3（CD-R/CD-RW）を作るには

使用できるフォーマット:ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）、Joliet

● WMA/MP3 ファイルの作成ソフトの説明書もご覧ください。記録状態により、再生できない場合があります。

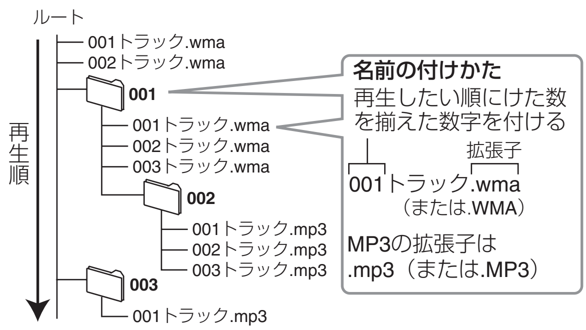
● MP3 の ID3 タグ（バージョン 1 と 2）に対応しています。（曲名、アーティスト名、アルバム名）

● 可変ビットレートに対応しています。

● 最大フォルダ数 399、トラック数 1000 まで再生を保証しています。階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。

再生する順番を指定するには

以下のように名前を付けます。（ただし順番通りに再生できないことがあります）



デジタル録音および再生の制限について

■ SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）

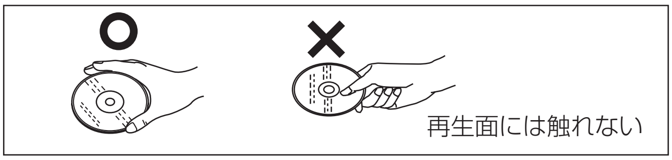
CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS という制限があります。
本機で CD（CD-DA）から HDD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音（WMA/MP3 から HDD への録音）にはこのような制限はありません。

■ 著作権保護による再生の制限

ディスクによっては著作権保護により、再生できないものがあります。この場合は録音もできません。

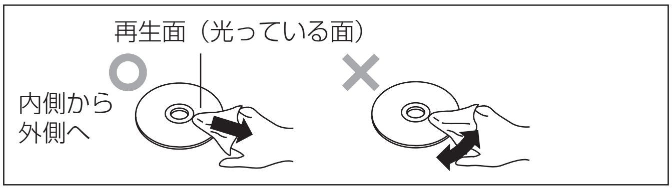
取扱上のお願い

■ 持ちかた



■ 汚れたときは

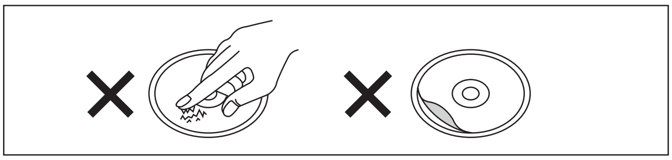
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

● 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
● レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
● 紙やシール、ラベルを貼らない
● 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
● 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない
● シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない



SD について

本機で使用できるカードについて

- 本機（SDHC対応機器）はSDメモリーカード/SDHCメモリーカード両方に対応しています。
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、および miniSD/microSD カード（専用アダプターが必要です）が使えます。
- SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（SDHC メモリーカードを他機（パソコンなど）でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください）
- 使用可能な SD メモリーカード
  SD メモリーカード容量
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
  SDHC メモリーカード容量
  4 GB まで

SD カードの本機での記録可能時間の目安

カード容量	転送時のデータ形式		
	AAC（XP）	AAC（SP）	AAC（LP）
32 MB	約 31 分	約 41 分	約 1 時間 2 分
64 MB	約 1 時間 4 分	約 1 時間 25 分	約 2 時間 8 分
128 MB	約 2 時間 10 分	約 2 時間 53 分	約 4 時間 20 分
256 MB	約 4 時間 14 分	約 5 時間 38 分	約 8 時間 28 分
512 MB	約 8 時間 23 分	約 11 時間 11 分	約 16 時間 47 分
1 GB	約 16 時間 47 分	約 22 時間 23 分	約 33 時間 34 分
2 GB	約 34 時間 8 分	約 45 時間 31 分	約 68 時間 17 分
4 GB	約 66 時間 29 分	約 88 時間 39 分	約 132 時間 59 分

- SD1 枚への記録は、収録時間内で最大 999 曲までです。ただし、1 曲の最大管理時間が約 8 分 30 秒であるため、それを越えて記録された場合、表示は 1 曲でも複数の管理領域を使用することになり、最大曲数が 999 よりも少なくなります。（管理領域も最大 999 のため）また、実際に記録できる時間が少なくなる場合があります。

最新情報は
http://panasonic.jp/support/audio/
で確認してください。

- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- 記録前に、本機で初期化することをおすすめします。（☞ 38 ページ）
- SD メモリーカード /SDHC メモリーカードを他機（パソコンなど）で初期化すると、本機での記録に時間がかかるようになったり、本機で使えないことがあります。このようなときは本機で初期化してください。（☞ 38 ページ）
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードおよび FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応
  ただし、Professional, Lossless, Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

SD オーディオフォーマットについて

「SD オーディオフォーマット」とは、音楽の著作権保護を目的として採用している暗号化技術のことです。

再生について

「SD オーディオフォーマット※」で記録された音楽データのみ再生できます。

※ SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。エンコード形式は、AAC、MP3 または WMA です。

転送・編集について

本機の SD への転送は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット」を採用しています。

■ 転送時のデータ形式について

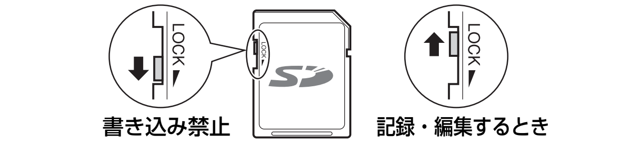
本機から転送した音楽データは、著作権保護付きの AAC または WMA/MP3 になります。

■ SD1 枚への記録できる曲数、プレイリスト数について

曲数：	収録時間内で最大999曲まで（実際に記録できる時間が少なくなる場合もあります。）
プレイリスト数：	最大99プレイリストまで
プレイリスト内の曲数：	最大99曲まで

■ 大切なデータを保護するために

書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに転送・編集するときは解除してください。



■ 転送・編集時のお願い

転送や編集を行っているときは、機器を振動させたり、SD を取り出したり、SD 挿入部のふたを開けたり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。
SD ランプの点滅中に電源が切れたり、SD が取り出されると、SD が使えなくなることがあります。

- 転送中に SD 挿入部のふたを開けると、転送が中止されます。このときは、転送内容を確認し、もう一度転送してください。
- 編集中に SD 挿入部のふたを開けると、編集が中止されます。このときは、編集内容を確認し、もう一度編集してください。

音楽の著作権保護のために

著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、SD をご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

- 本機は音楽データを暗号化して SD に転送します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には対応していません。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

取り扱い上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れない。

■ SD カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

Bluetooth® 使用上のお願い

■ **使用周波数帯**

本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ **周波数表示の見かた**（定格銘盤に記載）



Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：　松下電器産業株式会社
ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター
（☞ 87 ページ）

■ **機器認定**

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

● 分解 / 改造する
● 本機後面に貼ってある定格銘盤をはがす。

■ **使用制限**

● 日本国内でのみ使用できます。
● すべての Bluetooth® 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
● ワイヤレス通信する Bluetooth® 機器対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している携帯電話であれば、一部動作する場合がありますが、携帯電話の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法･表示･動作を保証するものではありません。
● Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
● ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ **使用可能距離**

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ **他機器からの影響**

● 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  - 電子レンジ / ワイヤレス LAN …… 約 5m 以上
  - 電気製品 /AV 機器 /OA 機器 / デジタルコードレス電話 / ファクスなど………………………… 約 2m 以上
● 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
● ワイヤレス LAN を約 5m の距離を保って使用していても、音が途切れたり雑音が入る場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■ **用途制限**

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計･製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ 以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命･身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例） 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

商標 / 著作権など

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：
www.gracenote.com
Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright© 2000-2007 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright 2000-2007 Gracenote.
この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用に Open Globe, Inc. から提供されました。Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：
www.gracenote.com/corporate

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。
本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は 、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

- この商品は以下のソフトウェアを含んでいます。
  Network Kanji Filter Version 2.0.5 (2005-04-10)
  Copyright (C) 1987, FUJITSU LTD. (I.Ichikawa),2000
  S. Kono, COW, 2002-2005 Kono, Furukawa, Naruse
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、「システムソフトの情報を見る」(☞ 62ページ) で "システムソフトの情報" を表示させた後、[決定] を押して確認できます。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

SDHC ロゴは商標です。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

Bluetooth® は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

「FOMA」および「FOMA」ロゴは NTT ドコモの商標または登録商標です。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した SD を売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）	参照ページ
■ 他の機器との接続		
有線放送をつなぎたい	「AUX」端子に接続します。	16
MD やテープの音を録音したい	「AUX」端子に接続します。	16
iPod を接続したい	別売の iPod 用ユニバーサルドック「SH-PD9」を使用することで、接続できます。	46
他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	–
インターネットがないが、使える？	使用できます。本機は Gracenote® データベースから抜粋した約 35 万アルバムのタイトルを内蔵していますので、タイトル検索も可能です。	–
■ HDD		
できるだけいい音で録音したい	録音モードを LPCM に設定してください。	17
できるだけたくさん録音したい	録音モードを AAC（LP）に設定してください。	17
録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を変更しても、録音される音には影響しません。	–
HDD の空き容量を調べたい	“**HDD 情報**”で使用容量と空き容量を確認できます。	61
録音したあとで、曲の録音モードを変えたい	LPCM で録音した場合は、AAC（XP/SP/LP）に変換できます。	40
好きな曲順で聴きたい	ユーザープレイリストを作成時に、好きな順序で曲を登録してください。	32
MD から録音した曲を探したい	選曲メニューの“**曲を探す**”→“**ラジオ 外部録音**”から探します。	22、23
同じ CD を何度も録音したらどうなる？	プレイリスト名に“**001**”などの数字が付き、区別されます。くわしくは録音前に、確認のメッセージが表示されます。 画面に従って動作を選んでください。	–
タイトル入力に使える文字の種類は？	かな、カナ、英数字と漢字（JIS 第二水準まで）が使えます。また、区点コードから文字を選ぶこともできます。アクセント記号付きの文字（é など）や外国語の文字（ハングルなど）は使えません。	36、81
曲名が、読み順どおりに並ばないのだがどうすれば？	タイトル編集で読みを訂正してください。	36
SD の曲を HDD に録音できますか？	SD から HDD に録音することはできません。	–
■ SD		
記録済みの SD に上書きで転送したい	テープと異なり、上書き録音はできません。不要な曲を消してから転送してください。	–
miniSD カードを使用できますか？	専用アダプターに取り付けてお使いいただけます。	9
microSD カードを使用できますか？	専用アダプターに取り付けてお使いいただけます。	9
MMC（マルチメディアカード）を使えますか？	本機では使えません。	–
SBR 形式で録音した SD は再生できますか？	本機は SBR 形式に対応していません。本機で再生した場合、音質が悪い、雑音が発生するなどの問題があります。	–
携帯電話で再生できますか？	再生できる機種をご確認ください。	31
アーティスト名などが、あいうえお順に並ばないのだが？	SD の場合、本機から転送した順に表示されます。	–
SD 内の曲データをパソコンに書き込み / 移動できますか？	本機から SD に転送した曲は、パソコンへの書き込み / 移動はできません。	–
■ その他		
長期間使用しないがどうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、再使用時には時計の設定が必要です。また、ネットワークの設定を行っていた場合は、再度設定が必要です。	–
待機電力が気になる	省電力モードに設定すると、電源「切」時の消費電力が節約できます。	63
再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのもひとつの方法です。	60

こんな表示が出たら

● 主なメッセージ表示を 50 音順に記載しています。

表示	意味と対処	参照ページ
新たな転送曲はありません	➡転送しようとした曲またはプレイリストと全く同じものが転送先の SD にあるため、転送をキャンセルします。プレイリスト情報のみ転送します。	–
以下の候補が見つかりました。選択してください。	➡タイトル候補の中から、正しいタイトルを選択してください。	10
オーディオ送信 接続に失敗しました。	Bluetooth® 送信先の接続機器が受信を待機していません。 ➡接続機器側を受信待機の状態にしてください。	–
オーディオ受信が切断されました。	Bluetooth® 受信中に接続機器側で接続状態を中止しました。 ➡再度接続してください。	43
オーディオ送信が切断されました。	Bluetooth 送信中に接続機器側で接続状態を中止しました。 ➡再度接続する場合は、次のどちらかを行ってください。 – 接続機器側で受信開始の操作をする。 – 接続機器側を Bluetooth®受信待機状態にして、本機の［▶/❚❚ Bluetooth］を押す。	43
オーディオブックがありません。 Podcast がありません。	➡ iPod にデータがないため、オーディオブックまたは Podcast のプレイリストは再生できません。	47
同じ読みのプレイリストがあります	➡プレイリストを一つにまとめるか、名前を変更して、新しいプレイリストとして登録してください。	32、33
同じ読みのプレイリストがありますが、曲数が超過するため 1 つにまとめられません。	すでに同じ名前のプレイリストがあり、ひとつにまとめるとプレイリスト内の曲数が 99 を超えてしまいます。 ➡他の名前を付けてください。	33
音楽 CD を入れてください。	音楽 CD 以外のディスクが入っています。 ➡音楽 CD を入れてください。	9
カードがありません。	SD カードが入っていません。 ➡ SD を入れてください。	9
カードに曲がありません。	再生できるデータが SD にありません。 ➡曲を転送してから再生してください。	12、26
曲数オーバーです。登録できません。	プレイリストに登録できる最大曲数（99）を超えようとしています。 ➡曲を削除するか、新しいプレイリストを作成してください。	32、37
現在接続されている D-snap では機能選択は使用できません。	➡非対応機種のため、機能選択（SD 転送や編集などの操作）ができません。	–
現在のセレクターでは予約設定できません。 別の音源を選んでください。	セレクターが Bluetooth、D.port、Option の場合、タイマー設定はできません。 ➡別のセレクターに切り換えてください。	–
現在の D-snap の動作モードでは機能選択は使用できません。	➡接続した機器側の設定を「SD オーディオ」モードにしてください。	–
このカードにはリメイク SD 設定が登録されていません。	SD カードにリメイク SD のテーマが設定されていません。 ➡ “**はい**” を選ぶと登録画面になります。	28
この曲の印象情報は変更できません。	➡選んだ曲は、印象選曲のどのプレイリストにも振り分けられていないので、この曲の印象情報設定は使用できません。	–
この名前は使えません。 名前を変更してください。	プレイリスト名の先頭に、本機が管理用に使用する語（予約語）が入っています。主な予約語 ; ART, ABM, IM1, IM2, … IM8, BST, USR, GNR ➡他の名前を付けてください。	33
この CD は○○○として録音されています。	以前に録音した CD を再度録音しようとしています。画面に従って、動作を選んでください。 **このアルバムに録音する：** 同じアルバムの続きとして録音する。（以前に録音したアルバムのアルバム名を変更しているときは、選択できません） **新規に録音する：** 別のアルバムとして録音する。 **録音しない：** 録音を止める。	–
これ以上 SD にプレイリストを作成できません。（最大 99）	SD 内のプレイリスト数が 99 を超えようとしています。 ➡不要になったプレイリストを解除するか、カードを取り替えてください。	33
これ以上 SD に曲を転送できません。（最大 999）	SD 内の曲数が 999 を超えようとしています。（SD の記録状態によっては、999 曲以下でも表示されることがあります） ➡不要な曲を消すか、カードを取り替えてください。	37
再生中は○○できません。	➡停止してから操作してください。	–
再生できない曲です。	WMA/MP3 ディスクで、ファイルが破損しているため再生できません。 ➡その曲をスキップして再生します。	–
再生できないカードです。 転送できないカードです。	本機では使用できないカードです。または、初期化が必要です。 ➡カードの内容をご確認のうえ、本機で初期化するか、カードを取り替えてください。	38
再生できないカードです。	他機でご使用されていた SD カードは、そのままでは使えない場合があります。本機でご使用の場合は、下記手順で初期化してください。初期化すると録音データだけでなく、SD カード内の全データが消去されます。リモコンのみの操作となります。 ① ［**サブメニュー**］を押す → “**カード初期化**” が表示 ② ［**決定**］を押す → “**SD カードの全てのデータを消去（初期化）します。実行しますか？**” が表示 ③ ［**◀◀、▶▶**］を押して “**はい**” を選び、［**決定**］を押す → “**本当にいいですか？**” が表示 ④ ［**◀◀、▶▶**］を押して “**はい**” を選び、［**決定**］を押す → “**初期化が完了しました**” が表示されると、初期化が完了します。	–
再生できないディスクです。	CD が汚れている、または本機では再生できない CD やその他のディスク（DVD ビデオなど）を再生しようとしました。 ➡ CD の汚れをふきとる、または音楽 CD を入れてください。	9、67
再生モードがシャッフル（リピート / シャッフルリピート）になっています。	iPod のシャッフル、リピート設定中に、リモコンの [● **HDD 録音**] で録音をしようとしました。 ➡シャッフル、リピート設定中は録音できません。	47

表示	意味と対処	参照ページ
再生モードがランダム（リピート / ランダムリピート)になっています。録音できません。	CD のランダム、リピート設定中に、リモコンの [● **HDD 録音**] で録音をしようとしました。 ➡ランダム、リピート設定中は録音できません。	14
接続には機器登録が必要です。	Bluetooth® 送受信に必要な機器登録が 1 台もされていません。 ➡機器登録してください。	41、42
全曲ランダム対象曲がありません	➡ HDD 内に全曲ランダムの対象曲がないため、再生できません。	22
選択した曲が 99 曲を超えています。転送できません。	曲を選んで転送するとき、選んだ曲数が 99 曲を超えています。 ➡ 99 曲以下にして転送してください。	26、27
対応機器が接続されていません。	D-snap port 対応プレーヤー、iPod が接続されていません。 ➡ D-snap port 対応プレーヤーまたは iPod を接続してください。	45、46
タイトルが見つかりませんでした。	Gracenote® データベースを検索しても、タイトルが見つかりませんでした。 ➡ネットワークに接続しているときは、後日、もう一度同じ CD を入れるとタイトルが検索できることがあります。	–
通信状態が不安定です。	➡通信品質設定で“ **通信品質重視** ”を選ぶと改善される場合があります。	44
ディスクがありません。	CD が入っていません。または本機では再生できないディスクが入っています。 ➡ CD を入れてください。またはディスクを取り替えてください。	9
バックアップ作業を中断中です。 バックアップを再開しますか？	➡メッセージに従って、バックアップ作業を再開するか、このまま本機の操作を行うかを選んでください。	56
一部のプレイリストが作成できませんでした。	SD 内のプレイリスト数やプレイリスト内の曲数が 99 に達したため、アーティストやアルバムのプレイリストの自動作成ができません。 ➡不要になったプレイリストを解除または曲を削除してください。	33、37
プレイリストを選んでください。	選曲メニューでプレイリストや曲を選んでいない状態でサブメニューを表示させようとしました。 ➡プレイリストや曲を選んだ状態で操作してください。	–
変換・解析対象が見つかりません。	➡ HDD（またはプレイリスト）内の曲は、すべて変換・解析が終了しています。	–
保護されている曲です。再生できません。	著作権保護された WMA の曲です。 ➡その曲をスキップして再生します。	–
モジュールエラー　F70	Bluetooth® のモジュール異常表示です。 ➡電源を切ったあと、再度電源を入れてください。それでも表示される場合は、販売店へご相談ください。	–
リモコン側のモードを「モード 1（または 2)」に設定してください。	リモコンモードの設定が本体側と合っていません。 ➡「リモコンモードを変更する」でリモコン側を切り換えてください。	61
録音できない曲です。 録音できない曲があります。スキップして録音します。	データトラックか、SCMS が記録された CD-R や CD-RW から録音しようとしました。 ➡全部または一部の録音ができません。	67
D.port にカードがありません。 転送先設定を SD 優先に変更しますか？	転送先設定は “**D.port 優先**” ですが、D-snap に SD カードがありません。 ➡転送先を本機の SD カードにする場合は “**はい**” を選び、決定したあと転送してください。	–
HDD に曲がありません。	HDD に再生する曲がありません。 ➡録音してから再生してください。	–
HDD の容量不足です。	HDD に空き容量がないため、一部または全部の録音または編集ができません。 ➡不要な曲を削除してください。 ➡ LPCM で録音した曲の容量を圧縮したり、変換・解析を行うと、空き容量が増える場合があります。	37、40
HDD の容量不足です。 録音を停止しました。	ラジオや外部機器からの録音時に、HDD の空き容量がなくなりました。これ以上録音できません。 ➡不要な曲を削除してください。 ➡ LPCM で録音した曲の容量を圧縮したり、変換・解析を行うと、空き容量が増える場合があります。	37、40
SD カードの容量不足です。	SD に空き容量がないため、一部または全部の転送ができません。 ➡不要な曲を削除するか、カードを取り替えてください。	37、38
SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	➡解除してから記録、編集してください。	68
SD スロットにカードがありません。 転送先設定を D.port 優先に変更しますか？	転送先設定は “**SD 優先**” ですが、SD 挿入部に SD カードがありません。 ➡転送先を D-snap にする場合は “**はい**” を選び、決定したあと転送してください。	–
U59	本体の内部温度が上昇しているので、安全のため動作を停止しました。 ➡表示が消えるまで約 30 分お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、通風口をふさがないでください。	–
○○中です。 しばらくお待ちください。	処理や準備に時間がかかっています。 ➡そのまま、しばらくお待ちください。	–
○○できません。再生を停止しますか？(再生中の曲を停止させますか？)	この操作は再生中には実行できません。 ➡ “**はい**” を選んで再生を止めてから、操作を続けてください。	–
ネットワーク接続時のメッセージ		
通信タイムアウトが発生しました。中止します。	➡ルーターやモデムなどの電源が入っているかを確認してください。 また、ルーターと本機の接続、設定を確認してください。	53
入力された PC 名が見つかりません。	➡相手先の電源が入っているかを確認してください。 入力した PC 名が間違っています。 ➡正しく入力してください。 ケーブルが接続されていません。 ➡相手先までの接続を確認してください。	–
ネットワークに接続できません。	➡ LANケーブルの接続を確認してください。また、ルーターやモデムの電源が入っているかを確認してください。	53
不明なエラーが発生しました。処理を中止します。	➡本機と接続した機器の電源を入れ直して、操作をやり直してください。	–
IP アドレスが取得できません。	➡ルーターと本機の接続、設定を確認してください。	53

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ

■ システム全体に共通

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
電源「切」時に表示部が変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」（解除）にしてください。	4
電源コードを抜き差ししたあと、自動的にデモ機能が働いてしまう。	―――	設定メニューで、デモ機能を“ **無効** ”に切り換えてください。	63
電源コードを接続すると、電源ランプが点滅する。	前回電源「切」後すぐ、または電源ランプ点滅中に電源コードを抜きましたか。	電源「切」時の変換・解析処理が中止されたため、再度処理を行っています。電源ランプ点滅中に電源を入れても問題ありません。	8
省電力モードにしても電源ランプが消灯しない。	―――	変換・解析されていない録音データがある場合、電源「切」時は「通常モード」でスタンバイ状態になります。変換・解析処理が終わったあと、省電力モードに切り換わります。	63
省電力モードに設定していたが、電源コードを接続すると電源ランプがオレンジ色に点灯する。	前回電源「切」後すぐ、または電源ランプ点滅中に電源コードを抜きましたか。		
省電力モードに設定したが、電源「切」時に電源ランプが赤色に点灯する。	D-snap または iPod を接続していませんか。	D-snap または iPod を接続している場合、電源「切」時も充電を続けます。	－
省電力モード時の起動が以前よりも時間がかかる。	―――	HDD への録音曲数が多くなると起動に時間がかかる場合があります。	－
通常モードに設定したのに、電源が入るまでに時間がかかる。	―――	本機の動作を安定させるためのシステム処理を、電源「切」（スタンバイ状態）中に数十秒間行う場合があります。この間に電源を入れると、起動するまで時間がかかります。（「起動中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。）また、このときに、電源ランプ（オレンジ色）が一瞬消えたり、“ カチッ ”と音がする場合があります。	－
電源が入っているのに音が出ない。 再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続してください。	5
音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	外部機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	外部機器のコードを正しく接続してください。	16
再生中に「ブーン」という音がする	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離してください。電源コードを逆に差し換えてみてください。	－
表示が暗い。	[**照明**] を使っていませんか。	押すたびに「明 / 暗」が切り換わります。	61
ネットワークに接続できない。	LAN ケーブルがはずれていませんか。	LAN ケーブルを正しく接続してください。	53
	本機の LAN 端子に、電話用のモジュラーケーブルを接続していませんか。	ストレートタイプの LAN ケーブルで接続してください。	－
	モデムやブロードバンドルーターの電源が入っていますか。	各機器の電源を入れてください。	－
	内蔵 CDDB だけを使う設定にしていませんか。	設定メニューの“ **CDDB 設定** ”で“ **インターネット上の CD データベース情報を使用する** ”に設定してください。	62
	ネットワークの設定が間違っていませんか。	契約しているプロバイダーや回線接続業者の指示に従って、設定してください。	－
	ブロードバンドルーターの設定が間違っていませんか。	ブロードバンドルーターの取扱説明書もご覧ください。	－
	ブロードバンドルーターやモデムなどが正しく接続されていますか。	各機器の取扱説明書をご確認のうえ、正しく接続してください。	－
	ブロードバンドルーターの交換など、ネットワークの接続構成を変更しませんでしたか。	変更後 10 分間はネットワークに接続できない場合があります。10 分間お待ちいただくか、または本体の [⏻/I **電源**] を約 10 秒間押したままにして再起動してください。	－
パソコンを使用中、ネットワークに接続できない。	複数の端末を同時に接続できない契約になっていませんか。	プロバイダーや回線接続業者との契約内容をご確認ください。	－

■ リモコン

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れてください。	4
	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換してください。	4
他の機器のリモコンで、本機が誤動作する。	当社製の AV アンプなどを同時に使っていませんか。	リモコン信号が干渉しあっている可能性があります。リモコンモードを変更してください。	61
リモコン使用時に“ リモコン側のモードを「モード□」に設定してください。”と表示される。	リモコンの設定が本体の設定と合っていません。	「リモコンモードを変更する」でリモコン側のモードを切り換えてください。	61

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ

■ ラジオ

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	5
放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 "ステレオ" が点滅する。 FM 放送録音時にノイズが入る。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみてください。	5
	送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。 屋外アンテナを使うのもひとつの方法です。	5
	テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切ってください。	–
	携帯電話の充電を近くでしていませんか。		
	アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線との距離を離してください。	–
AM 放送受信時にノイズが入る。	——	BP(ビートプルーフ機能)を切り換えてみてください。	15
オートチューニングが途中で止まる。	電波の弱い場所（山間部や鉄筋ビルの中など）ではありませんか。	周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入る場合には、屋外アンテナの設置をおすすめします。	5

■ CD

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
CD を入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD ではありませんか。	規格に適合した CD と取り替えてください。	9、67
	寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用してください。	–
特定の箇所が正常に再生しない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふいてください。	67
録音できない。	CD のランダム、リピート設定中ではありませんか。	ランダム、リピート設定を解除してください。	14
高速録音時に音飛びやノイズが記録される。 CD-R/RW から録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いているときは交換、指紋は柔らかい布でふいてください。CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	67
高速録音できない。	WMA/MP3 ディスクではありませんか。	WMA/MP3 ディスクは高速録音できません。	–
	連続して高速録音をしませんでしたか。	高速録音を連続して行うと、まれに作業領域が不足して録音できなくなります。この場合は、本体の [⏻/I **電源**] を約 10 秒間押したままにして、再起動させてから録音してください。	–
WMA/MP3 ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行った WMA/MP3 ディスクを使用してください。	–
	1 セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1 セッションのデータ量を約 5 MB（3 分程の曲で約 2 曲分）以上にしてください。	–
新しく発売された CD のタイトルが取得できない。	ネットワークに接続していますか。	新発売の CD タイトルは、内蔵の Gracenote データベースにタイトルが登録されていない場合があります。新しい CD のタイトルを検索する場合は、ネットワークに接続してください。	53
入れた CD とタイトルが異なる。	——	CD によっては、情報が似ている他の CD タイトル情報を取得することがあります。 CD タイトルを再取得するか、HDD への録音後、手動で訂正してください。	35、61
一時停止できない。	音楽 CD や WMA/MP3 の録音中ではありませんか。	録音中の一時停止はできません。	–
再生時間が再生時間表示と異なる。	——	WMA/MP3 ディスクでは、再生時間表示と実際の再生時間に誤差がある場合があります。	–
ディスクの読み込みに時間がかかる。	——	WMA/MP3 ディスクの場合、読み込みに時間がかかる場合があります。	–
録音が始まるまで時間がかかる。	WMA/MP3 を録音しようとしていませんか。	WMA/MP3 ディスクでは、ファイル数が多いと、録音が始まるまで数分かかる場合があります。	–
前の曲へスキップできない。	ランダム再生中ではありませんか。	ランダム再生中は、再生済みの曲へのスキップはできません。	–

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ

■ HDD

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
高速録音できない。	WMA/MP3 ディスクを録音しようとしていませんか。	WMA/MP3 ディスクは高速録音できません。	–
録音できない。	セレクターが SD や D.port になっていませんか。	SD や D.port から HDD への録音はできません。	–
録音した曲が表示されない。見つからない。	HDD 内の曲はプレイリストごとに表示 / 再生されます。	選曲メニューから“**曲を探す**”→“**曲名**”を選ぶと、HDD 内のすべての曲が曲名順に表示されます。	22
HDD に録音しようとした曲が録音できていない。	―――	録音しようとした曲の中に、SCMS で記録された曲がある場合、その曲をスキップします。	67
印象選曲に曲が登録されない。	録音後すぐに印象選曲を再生していませんか。	印象選曲への登録は、AAC 変換処理と同時に行われます。	8
	特定の曲だけの現象ですか。	曲によっては、どの印象にも登録されない場合があります。	–
前に聴いたのと音の感じが違う。	録音モードを AAC に設定して、HDD に録音していませんか。	本機は一度 LPCM で録音したあと AAC に変換します。そのため録音直後と、AAC への変換後とでは再生したときの音質が異なります。	8
曲と曲の間で音が途切れる。	AAC(LP) で録音した曲ですか。	AAC(LP) の場合、まれに曲間で音が途切れることがあります。	–
	ラジオ、外部機器、Bluetooth® から録音した曲ですか。	HDD に録音した曲を再生すると、トラック間で音が途切れる場合があります。	–
	聴きながら録音中ですか。	ライブ盤などでは曲の切り換わりで途切れることがありますが、録音に影響ありません。	–
ランダムや再生エリアの設定変更ができない。	HDD で全曲ランダムのプレイリストを再生していませんか。	HDD で全曲ランダムのプレイリストを再生中は、ランダムや再生エリアの設定変更はできません。	24
曲を分割できない。	連続して分割しようとしませんでしたか。	2 秒以下では分割できません。約 2 秒以上の間隔をあけて分割してください。	39
HDD のプレイリストで曲名が探せない。	漢字を含むタイトルではありませんか。	漢字を含むタイトルが、本来の読み通りにならないことがあります。 このときは読みを手動で訂正してください。	33
分割・結合の処理に時間がかかる。	―――	長い曲を分割・結合すると処理に時間がかかることがあります。	–
曲を結合できない。	―――	つなぐ 2 曲の合計が 202 分 53 秒を超える場合は、結合できません。	–

■ SD

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
SD に転送するのに時間がかかる。	「高速録音＋SD 転送」を選びましたか。	変換・解析が終了した後に転送を開始しますので、時間がかかります。	18
	変換・解析が終了していない曲を転送しようとしましたか。		
操作ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	9
	SD 挿入部のふたが開いていませんか。	ふたを閉めていないと操作できません。	9
	本機で使用できないカードではありませんか。	本機は SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、および miniSD/microSD カード以外のカードには対応していません。	9、68
SD に転送しようとした曲が転送できていない。	―――	転送しようとした曲の中に、著作権保護されている曲がある場合、その曲をスキップします。	–
再生できない。	SD に、本機で再生できる音楽データが記録されていますか。	本機では「SD オーディオフォーマット」で記録された音楽データ（AAC/MP3/WMA）のみ再生できます。	–
記録・編集ができない。 タイトルが入力できない。	SD の書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	解除してください。	68
SD を他のプレーヤーや携帯電話で再生できない。	再生機器は「SD オーディオフォーマット」に対応していますか。	再生できる機器をご確認ください。	31
他の機器に SDHC メモリーカードを入れても認識しない。	再生機器は SDHC メモリーカードに対応していますか。	再生できる機器をご確認ください。	–
パソコンに SD を入れたのに動かない。	パソコンの SD カードスロットは「著作権保護機能」対応ですか。	対応していない場合は、別売のセキュア対応 SD リーダーライターなどを準備してください。	68、86
読み込みに時間がかかる。	SD に多数のプレイリストを記録していませんか。	多数のプレイリストが記録された SD では、読み込みに時間がかかることがあります。	–
転送を始めると途中で止まってしまう。	―――	SD 内の曲数管理上、転送開始後に曲数オーバーのため転送ができなくなる場合があります。 このときは、SD 内の不要な曲を消すか、カードを取り換えてください。	9、37、38
“自動作成するプレイリスト”の設定が働かない。	リメイク SD 機能で転送しませんでしたか。	リメイク SD 機能による SD 転送時は、“**自動作成するプレイリスト**”の設定は働きません。	–
リメイク SD 機能を使った転送ができない。	テーマとして設定したプレイリストを、HDD 上で解除しませんでしたか。	テーマとして設定したプレイリストを HDD 上で解除すると転送できません。	–

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ

■ Bluetooth®/D-snap/iPod

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
D-snap「SV-SD950N」を接続したが、自動で機器登録されていない。	――	正しく接続されていない場合があります。再度接続してください。それでも登録できない場合は、手動で登録してください。	42
D-snap「SV-SD950N」を接続したが、ドッキング転送も SD 編集もできない。 再生画面が表示されず "D-snap" ロゴが表示されている。	SV-SD950N の設定を「録音ファイル再生」モードにして接続していませんか？	SV-SD950N の設定を「録音ファイル再生」モードにすると、ドッキング転送や SD 編集ができません。本機から SV-SD950N を取り外し、「SD オーディオ」モードに設定したあと、再度接続して試してください。	45
iPod を接続したが、"対応機器が接続されていません。" と表示される。	Option port 差し込み部に接続していますか。	D-snap port 側（本機上面の手前側）に接続しているかもしれません。その場合は、Option port 側（本機上面の奥側）に接続してください。	46

■ その他

こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
機能選択ボタンが働かない。	高速録音中ではありませんか。	録音終了後に 1 曲表示画面で操作してください。	–
同じ名前を入力してもプレイリストが 1 つにまとまらない。	「読み」は入力しましたか。	プレイリストを 1 つにまとめる場合は、読みも同じにしてください。	33
音質 / 音場を変えても効果が出ない。	いろいろな音質 / 音場効果を同時に使っていませんか。	音質 / 音場の組み合わせによっては、十分な効果が得られないことがあります。	60
操作ができない。	バックアップ、復元や録音データの移動などを行っていませんか。	バックアップ、復元や録音データの移動などには時間がかかる場合があります。	–
	――	本体の [⏻/I **電源**] を約 10 秒間押したままにして、再起動させてください。	–
MD などの外部機器から録音した曲のタイトルを自動取得すると「該当なし」と表示される。	――	本機の設定で入力レベルを "＋" 方向に調整したり、外部機器側の音量を上げて録音すると、曲タイトルが取得できる場合があります。	52
曲の一部を再生して、次の曲へ飛ぶ。	表示部に[ザッピング]マークが表示されていませんか？	再生モードが "**ザッピング**" になっています。"**しない**" に設定してください。	25、30
録音しようとしたら、リピートやランダムが解除された。	本機側で操作して録音を始めませんでしたか。	本機側の[● **CD** ▶ **HDD**]で録音を始めた場合、リピートやランダム設定は自動的に解除されます。	–
曲の分割・結合ができない。 "この曲は分割・結合できません。" などのメッセージが表示される。	AAC で録音した曲や、パソコンから取り込んだ WMA/MP3 の曲を分割・結合しようとしていませんか。	曲の分割・結合ができるのは、LPCM で録音した曲だけです。	–
おやすみタイマーが働かない。	パソコンからの音楽データの取り込み、HDD の録音データのバックアップ / 復元、HDD の録音データを移動中ではありませんか。	パソコンからの音楽データの取り込み、HDD の録音データのバックアップ / 復元、HDD 録音データ移動時は、おやすみタイマーは働きません。	–
プレイリストの編集ができない。 "変更できません" などと表示される。	――	編集できないプレイリストから操作を行ったときは、編集可能なプレイリストに切り換えてから、操作をやり直してください。	32、33
1 曲しか録音できない。	機能選択で "**曲を録音**" を選んでいませんか。	[**機能選択**] を押して "**アルバムを録音**"、"**フォルダを録音**" または "**ディスクを録音**" を選んでください。	20
	再生エリアを "**1 曲**" にしていませんか。	再生エリアを "**1 曲**" 以外にしてください。	14
録音ができない。	"ディスクモード" や "フォルダモード" で録音していませんか。	"ディスクモード" や "フォルダモード" では、1000 曲目以降は録音できない場合があります。	–
録音までに時間がかかる。 "録音準備中です" と表示される。	――	曲数が多いと、録音開始までに時間がかかることがあります。	–
前の曲へスキップできない。	ランダム / シャッフル再生中ではありませんか。	ランダム / シャッフル再生中は、再生済みの曲へのスキップはできません。	–
Gracenote® データベースで取得したタイトルや WMA/MP3、iPod のタイトル表示がおかしい。 タイトルが全部表示されない。	本機で対応していない文字を使ったタイトルの可能性があります。	表示できるのは、かな、カナ、英数字と漢字（JIS 第二水準まで）です。アクセント記号付きの文字（é など）や外国語の文字（ハングルなど）は空白になったり、正しく表示されないことがあります。	–
	長いタイトルではありませんか。	本機のタイトル表示は、曲名最大 59 文字、アルバム名最大 53 文字、アーティスト名最大 39 文字です。	36
音質・音場効果が働かない。	――	ディスクや音源によっては、音質・音場効果の働かないものもあります。	–

仕様

アンプ部

実用最大出力 (6 Ω、JEITA)	36 W (18 W + 18 W)
入出力端子	
LINE OUT	ピン端子
HP 端子	ステレオミニ（ø 3.5 mm)
AUX	ステレオミニ（ø 3.5 mm)
D-snap port 端子	24 pin 専用端子（Ver.2）
Option port 端子	24 pin 専用端子

FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
アンテナ端子	75 Ω (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

CD 部

光源	半導体レーザー
波長	780 nm
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	測定限界以下
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA、WMA、MP3 ※
対応ビットレート	WMA：32 kbps ～ 320 kbps MP3：32 kbps ～ 320 kbps

※ 対応規格
MPEG-1 Audio Layer Ⅲ
MPEG-2 Audio Layer Ⅲ (Low Sampling Frequency)

HDD 部

搭載 HDD 容量	80 GB
録音フォーマット	AAC ／ LINEAR PCM 方式 MP3 ／ WMA 方式（LAN 接続時、パソコンからの転送）
ビットレート（AAC）	128 kbps (XP) ／ 96 kbps (SP) ／ 64 kbps (LP)
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
録音時間	
AAC	約 2,460 時間（LP モード）
LINEAR PCM	約 104 時間

SD 部

サンプリング周波数（AAC）	44.1 kHz (SP、XP) ／ 32 kHz (LP)
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
圧縮／伸張方式	
SD オーディオ再生	AAC ／ MP3 ／ WMA 方式
SD オーディオ録音	AAC ／ MP3 ／ WMA 方式

Bluetooth 部

バージョン	Bluetooth Ver.2.0+EDR 準拠
出力	Class2 (2.5 mW)
通信距離	見通し距離約 10 m※
通信方式	2.4 GHz 帯 FH-SS （周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
対応プロファイル	A2DP（送受信） AVRCP（送受信）
認証 QDID	B012963

※見通し通信距離は、SV-SD950N を使用し、気温 25℃、高さ 1.2 m、SC-SX950 と SV-SD950N を見通し状態で測定したものであり間に人が入る、他機器からの妨害がある、などの使用条件で異なる場合があります。

スピーカー部

形式	2 ウェイ 2 スピーカーシステム、バスレフ型
ウーハ	10 cm コーン型
ツィータ	6 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	40 W（MAX）
防磁設計	防磁無し
再生周波数帯域	50 Hz ～ 25 kHz (－ 16 dB) 70 Hz ～ 22 kHz (－ 10 dB)
寸法（幅 × 高さ × 奥行）	138 mm × 248 mm × 187 mm
質量	約 1.9 kg/pc

総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	34 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）	195 mm × 161 mm × 334 mm
質量（重さ）	約 4.0 kg

電源切（スタンバイ）時の消費電力

省電力モード時	約 0.1 W
通常モード時	約 7 W
エンコード処理時	約 14 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

HDD や SD の容量表示には 2 種類の計算方法があります。
製品パッケージやこの「仕様」で表示される容量は、
1 MB = 1,000,000 バイト、1 GB = 1,000 メガバイト（10 進法）で計算しています。
一方パソコンなどでは、容量を 1MB = 1,048,576 バイト（2 進法）で計算する場合があります。
この計算方法の違いにより、容量表示に差が生じることがあります。

保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

―このマークがある場合は―

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

「故障かな !?」に従ってご確認のあと、修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます。）や交換が必要な場合があります。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号（保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□有り　□無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り（有償修理時のみ）	□不要　□＿＿＿万円以上必要　□必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください。） □電源コード　□スピーカー　□リモコン □CD　□SD　□その他＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、タイマーの設定などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。あらかじめご了承ください。		
HDDの初期化（記録内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容は全て失われます。） HDDの初期化に同意されますか。 □同意する □同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります。）	ご署名	印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生状況をなるべく詳しく、具体的にご記入ください。）　例：CDからHDDへの録音時、途中で止まった。	
発生状況	＜発生条件＞ 1. □HDD　□SD　□CD（下欄※に詳細をご記入ください） 2. □録音時　□再生時　□転送時（HDD→SD） 　□CDからの録音 　□ラジオからの録音 　□外部機器からの録音（MD、テープ、SDオーディオプレーヤーなどからの録音）	＜エラー表示＞ □有り 表示内容 □無し
発生頻度	□無し　□時々　□＿＿＿回に＿＿＿回くらい	

＜※CDについて＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したCDの添付をお願いします。

発生したCD	□CD-RW	メーカー名：	品番：
	□CD-R	メーカー名：	品番：
	□音楽CD	メーカー名：	ディスクNo.：
	□その他		
発生箇所	□最初から再生できない	□＿分＿秒くらいの部分から症状が発生	□曲名：

きりとり線

区点コード一覧表

区点コードの見かた

文字の左側の 3 桁の数字に、文字の上側の 1 桁の数字を組み合わせた 4 桁が、その文字の区点コード番号です。
例えば、「★」の区点コード番号は、「019」のあとに、「0」を付けて「0190」となります。

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		スペース	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
	【	あ	】							
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【	い	】							
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【	う	】							
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【	え	】							
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【	お	】							
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【	か	】							
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【	き	】							
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【	く	】							
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【	け	】							
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【	こ	】							
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【	さ	】							
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【	し	】							
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【	す	】							
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【	せ	】							
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【	そ	】							
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素

区点コード一覧表（つづき）

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	【	た	】							
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【	ち	】							
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【	つ	】							
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【	て	】							
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【	と	】							
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【	な	】							
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【	に	】							
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【	ぬ	】							
390									濡	
	【	ね	】							
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【	の	】							
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【	は	】							
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【	ひ	】							
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【	ふ	】							
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【	へ	】							
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【	ほ	】							
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【	ま	】							
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【	み	】							
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【	む	】							
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【	め	】							
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【	も	】							
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【	や	】							
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【	ゆ	】							
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【	よ	】							
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【	ら	】							
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【	り	】							
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【	る	】							
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【	れ	】							
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【	ろ	】							
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【	わ	】							
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

お知らせ

- 区点コード一覧表の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
- 文字が割り当てられていない番号では、「・」またはスペースが入力されるか、「該当する文字がありません。」と表示されます。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠**警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠**注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は、絵表示の一例です。）

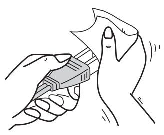
（注意記号）	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
（禁止記号）	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
（強制記号）	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

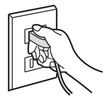
異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

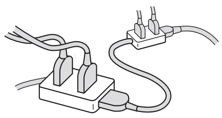
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

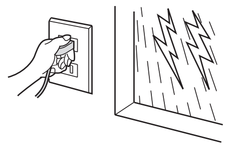
感電の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止



感電の恐れがあります。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

分解、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠ 警告

電池は誤った使い方をしない

- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 乾電池は充電しない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- 被覆のはがれた電池は使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

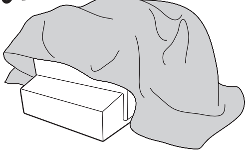
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 後面の排気孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

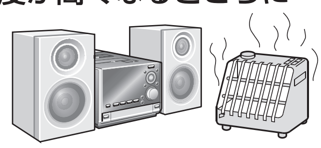
強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に設置しない

- 上に大きなもの、重いものを載せない
- 壁や天井に取り付けない

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。

指に注意

- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクやカードは、保護のため取り出しておいてください。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

別売品のご紹介

■ 外部機器とつないで楽しむには

オーディオコード（ステレオミニプラグ～ピンプラグ）
- RP-CAPM3G15（1.5 m）

オーディオコード（ステレオミニプラグ～ミニプラグ）
- RP-CAM3G15（1.5 m）

ステレオピンコード
- RP-CAP3G10（1 m）

■ iPod を接続して楽しむには

iPod 用ユニバーサルドック
- SH-PD9（2007 年 9 月発売予定）

■ パソコンで SD を再生するには
- **SD オーディオ PC レコーディングキット**
  （SD-Jukebox Ver.5、USB リーダーライター付属）
  SH-SSK40

SD リーダーライター（著作権保護機能付き）
- USB2.0 リーダーライター
  BN-SDCJP3（SDHC メモリーカード対応）
  BN-SDCGP3
- CardBus PC カードアダプター
  BN-SDDBP3（SDHC メモリーカード対応）
  BN-SDDAP3

■ SD で楽しむには

SDHC メモリーカード
- RP-SDV04GJ1K（4 GB）
- RP-SDM04GJ1K（4 GB）
- RP-SDR04GJ1K（4 GB）

SD メモリーカード
- RP-SDV02GJ1A（2 GB）
- RP-SDM02GJ1A（2 GB）
- RP-SDV01GJ1A（1 GB）
- RP-SDM01GJ1A（1 GB）
- RP-SDV512J1A（512 MB）
- RP-SDR512J1A（512 MB）
- RP-SDH256N1A（256 MB）
- RP-SD256BJ1A（256 MB）
- RP-SD128BL1A（128 MB）
- RP-SD128BJ1A（128 MB）
- RP-SD064BJ1A（64 MB）

miniSD カード（アダプター付き）
- RP-SS02GBJ1K（2 GB）
- RP-SS01GBJ1K（1 GB）
- RP-SS512BJ1K（512 MB）
- RP-SS256BJ1K（256 MB）
- RP-SS128BJ1K（128 MB）
- RP-SS064BJ1K（64 MB）
- RP-SS032BJ1K（32 MB）

microSD カード（アダプター付き）
- RP-SM02GBJ1K（2 GB）
- RP-SM01GBJ1K（1 GB）
- RP-SM512BJ1K（512 MB）
- RP-SM256BJ1K（256 MB）
- RP-SM128BJ1K（128 MB）
- RP-SM064BJ1K（64 MB）

別売品の品番は、2007 年 7 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

SH-PD9 を取り付けて使用できる iPod の種類

名前	容量
iPod nano 第 2 世代（アルミニウム）	2 GB、4 GB、8 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	60 GB、80 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB、2 GB、4 GB
iPod 第 4 世代（カラーディスプレイ）	40 GB、60 GB
iPod 第 4 世代（カラーディスプレイ）	20 GB、30 GB
iPod 第 4 世代	40 GB
iPod 第 4 世代	20 GB
iPod mini	4 GB、6 GB

2007 年 7 月現在

- ご使用の iPod のソフトウェアのバージョンにより、対応していないものもあります。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ **保証書（別添付）**

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ **補修用性能部品の保有期間**

当社は、このSDステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注） 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ **修理を依頼されるとき**

74 ～ 77 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● **保証期間中は**

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD ステレオシステム
品　番	SC-SX950
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ナショナル パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/japan

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0507

さくいん

愛情点検　長年ご使用のSDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）	販売店名	電話（　　）　−	品　番	SC-SX950
	お客様ご相談窓口	電話（　　）　−	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9008-4S
H0707RF4107